USB Data Adapter Cable
for DDI-Pocket

USB-H64L 取扱説明書

98710-01

【本書での呼び方】

呼び方	意味
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional Operating Systemおよび Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating Systemの総称
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating Systemおよび Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating Systemの総称
Windows Me/98	Windows MeおよびWindows 98の総称
Windows	Windows XP, Windows 2000, Windows MeおよびWindows 98の総称

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各１部だけ複写できるものとします。
7) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
8) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
9) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
10) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に１台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
13) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
14) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

- I-O DATA、PLANT は、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft, Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
- Apple, Macintosh, Power Macintosh, Mac, Mac OS は米国 Apple Computer, Inc. の登録商標です。
- DDI POCKET は、DDI ポケット株式会社の登録商標です。
- NTT DoCoMo, NTT ドコモは、株式会社 NTT ドコモの登録商標です。
- アステル, ASTEL は、東京通信ネットワーク株式会社の登録商標です。
- その他、一般にシステム名、サービス名、ソフト名、会社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。

もくじ

もくじ ····· i
本製品を使用すれば ····· v
本書の見方 ····· vi
本製品のご紹介 ····· vii
注意していただきたいこと ····· viii

1 ご使用になる前に

箱を開けたら ····· 2
対応している機種と OS ····· 4

2 Windows XP で使うには

準備編

本製品で通信できるまでの流れ ····· 8
ステップ1 インストールする ····· 9
ステップ2 インストールは正常ですか？ ····· 19
ステップ3 端末速度を設定する ····· 21
ステップ4 発信情報を設定する ····· 29
ステップ5 接続/取り外しについて ····· 34

インターネット接続編

Windows XP でインターネットに接続するには ····· 35
ステップ1 接続前の準備 ····· 36
ステップ2 接続に必要なソフトウェア ····· 39
ステップ3 通信方式を設定する ····· 51
ステップ4 インターネットを楽しもう ····· 55
ステップ5 通信方式を変更する場合 ····· 60

3 Windows 2000 で使うには

準備編

本製品で通信できるまでの流れ ····· 64
ステップ1 インストールする ····· 65
ステップ2 インストールは正常ですか？ ····· 76
ステップ3 端末速度を設定する ····· 78
ステップ4 発信情報を設定する ····· 82
ステップ5 接続/取り外しについて ····· 84

インターネット接続編

Windows 2000 でインターネットに接続するには ····· 85
ステップ1 接続前の準備 ····· 86
ステップ2 接続に必要なソフトウェア ····· 89
ステップ3 通信方式を設定する ····· 103
ステップ4 インターネットを楽しもう ····· 107
ステップ5 通信方式を変更する場合 ····· 114

4 Windows Me で使うには

準備編

本製品で通信できるまでの流れ ····· 118
ステップ1 インストールする ····· 119
ステップ2 インストールは正常ですか？ ····· 126
ステップ3 端末速度を設定する ····· 128
ステップ4 発信情報を設定する ····· 132
ステップ5 接続/取り外しについて ····· 135

インターネット接続編

Windows Me でインターネットに接続するには ····· 136
ステップ1 接続前の準備 ····· 137
ステップ2 接続に必要なソフトウェア ····· 140
ステップ3 通信方式を設定する ····· 150
ステップ4 インターネットを楽しもう ····· 154
ステップ5 通信方式を変更する場合 ····· 159

5 Windows 98 で使うには

準備編

本製品で通信できるまでの流れ ……162
ステップ1 インストールする ……163
ステップ2 インストールは正常ですか？ ……171
ステップ3 端末速度を設定する……173
ステップ4 発信情報を設定する……177
ステップ5 接続/取り外しについて ……180

インターネット接続編

Windows 98 でインターネットに接続するには ……181
ステップ1 接続前の準備……182
ステップ2 接続に必要なソフトウェア ……185
ステップ3 通信方式を設定する……195
ステップ4 インターネットを楽しもう ……199
ステップ5 通信方式を変更する場合 ……204

6 Mac OS で使うには

準備編

本製品で通信できるまでの流れ ……208
ステップ1 Mac OS のバージョンを確認する……209
ステップ2 設定ファイルをコピーする ……210
ステップ3 パソコンに接続する……212
ステップ4 接続が正しいかを確認する……214

インターネット接続編

Mac OS でインターネットに接続するには ……215
ステップ1 接続前の準備……216
ステップ2 接続に必要なソフトウェア ……219
ステップ3 インターネットを楽しもう ……234
ステップ4 通信方式を変更する場合 ……239

付録1　困ったときには ・・・・・・・ 241

付録2　サービス品について ・・ 265

付録3　インストールしたソフトを削除するには・・・・・・267

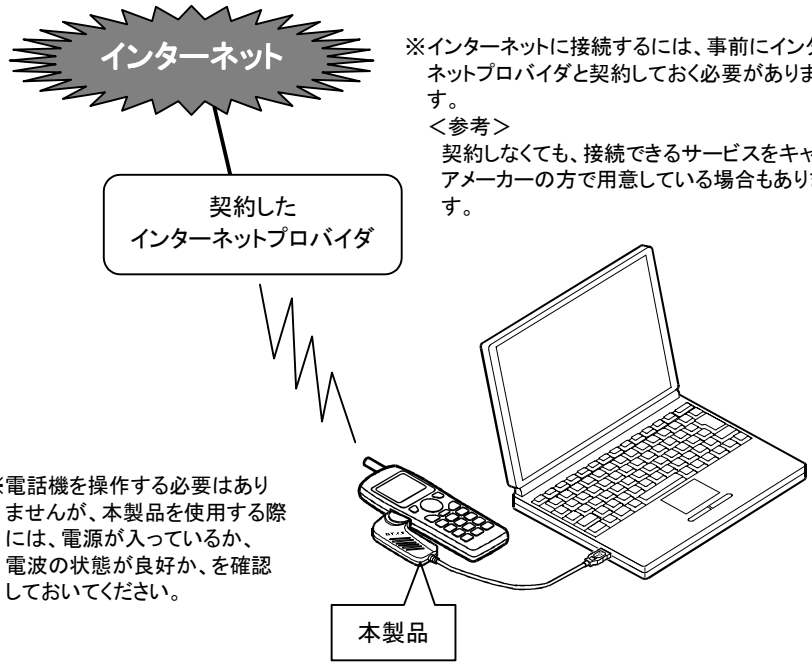
付録4　仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 272

付録5　用語解説 ・・・・・・・・・・・・ 273

PLANT コールセンターへのお問い合わせ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・275
サポートソフトのバージョンアップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・276
保証について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・277
修理について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・278

本製品を使用すれば

本製品を使用すれば、パソコン上から、電話機を利用してインターネット接続ができます。



※インターネットに接続するには、事前にインターネットプロバイダと契約しておく必要があります。
＜参考＞
契約しなくても、接続できるサービスをキャリアメーカーの方で用意している場合もあります。

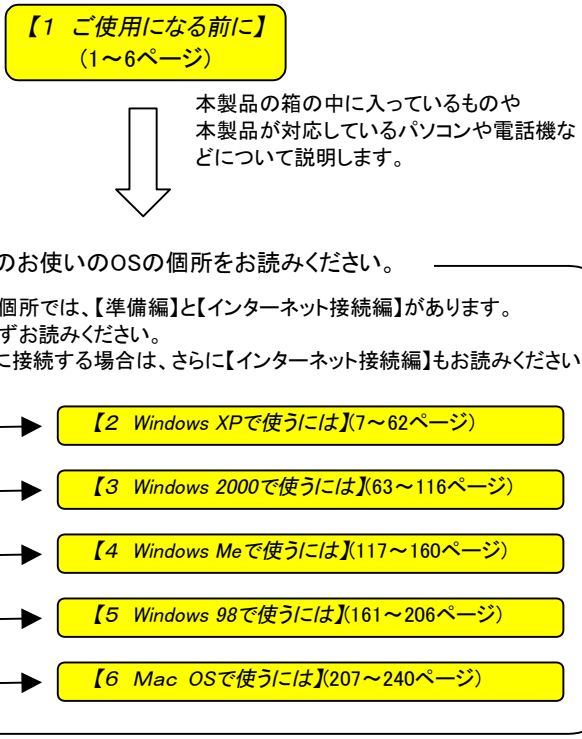
※電話機を操作する必要はありませんが、本製品を使用する際には、電源が入っているか、電波の状態が良好か、を確認しておいてください。

参考

「キャリア」とは
→「コモンキャリア」と呼ばれる自前の通信設備(特に回線網)を所有している通信事業者(第一種電気通信事業者)のこと。日本では NTT、KDDI、日本テレコムなどがこれにあたります。

本書の見方

本書は以下の流れに沿って、必要な個所をお読みください。



本製品のご紹介

● *feel H″*(フィールエッジ)、*H″*(エッジ)、α-DATA32およびα-DATA対応電話機を使って、手軽に高速モバイル通信

feel H″(フィールエッジ)、*H″*(エッジ)ではベストエフォート方式に対応し、最高64kbpsの高速通信が可能です。α-DATA32対応電話機では最高32kbpsでの通信、α-DATA対応電話機では最高14.4kbpsでの通信となります。

● USBポート採用で、接続簡単、外部電源不要

パソコンに差し込むだけの簡単接続。バスパワー駆動だから外部電源も不要です。

● モバイルに最適な低消費電流設計

パソコン本体のバッテリに負荷をかけない低消費電流設計です。

● "軽い＆小さい"コンパクト設計

使い勝手を最優先し、コネクタを可能な限り小さくし、軽量化を図りました。外出や出張などの携帯に最適です。スケルトン仕様のスマートデザインです。

● 通信を楽しくするソフトウェアを多数添付

・*feel H″*(フィールエッジ)、*H″*(エッジ)の使用が楽しく便利になるツール「*H″*(エッジ)向けアプリケーションソフト」

H″ LINKのEメール、DXメール（直送メール、チャットメール）、コンテンツサービスがパソコン上で利用できます。また、アドレス帳の編集や*feel H″*(フィールエッジ)、*H″*(エッジ)の通信履歴※をパソコンへ転送して編集ができたりと、パソコンと本ソフトを使用し、*feel H″*(フィールエッジ)、*H″*(エッジ)をより快適にお使いいただけます。

※一部機種のみ対応

・DIONオンラインサインアップ用CD-ROM／PRINセットアップCD-ROM

KDDIのインターネットサービス「DION」、*feel H″*(フィールエッジ)、*H″*(エッジ)で簡単インターネット「PRIN」の加入が即時＆簡単に行えます。

注意していただきたいこと

本製品は非常に精密にできておりますので、お取り扱いに際しては、本製品に同梱されている小冊子「安全で快適にお使いいただくために」を必ずお読みください。
ここでは、その小冊子の記載以外の注意点について説明します。

1）以下の注意事項を守ってお使いください。

- 本製品は次のような場所で使用しないでください。
  - ・腐食性ガス（Cl_2, H_2S, NH_3, SO_2, NO_x など）の多い場所
  - ・静電気の影響が強い場所
  - ・「安全で快適にお使いいただくために」に記載されている使用禁止場所
- 接続するときは電波の強い状態を確認してから行ってください。
  電話機の電波が弱い地域では正常にデータ通信できない場合があります。
- 本製品は DDI ポケット *feel H″*(フィールエッジ)、*H″*(エッジ)、α-DATA32 対応電話機、α-DATA 対応電話機専用です。NTT ドコモ社製やアステル社製の端末（電話機）ではご使用になれません。
- 本製品は１台のパソコンに複数個を接続して使用することはできません。
- 本製品と他の USB 機器（USB スピーカーや USB モデム[弊社製 USB-PM560]など）を同時に使用すると、処理速度が遅くなったり、送受信時にデータ抜けが発生する可能性があります。通信中にはそれらの USB 機器と併用しないでください。
- 本製品は、サスペンド/スタンバイ/休止/スリープモードに対応しておりません。本製品を接続中にサスペンド/スタンバイ/休止/スリープモードになってしまった場合は、必ずスタンバイ復帰後に本製品を USB スロットから取り出し、もう１度差し込んでください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

2）本製品の内部の修理は弊社修理係にご依頼ください。（278 ページ参照）

改造などを行って、電気的および機械的特性を変えて使用することは絶対にお止めください。

MEMO

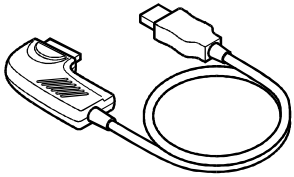
1 ご使用になる前に

箱を開けたら ····· 2ページ
対応している機種と OS ····· 4ページ

箱を開けたら

箱を開けたら、以下のものが入っているか確認してください。

☐ 本製品(1 本)
［ケーブル長:約 34cm］



☐ サポートソフト CD-ROM(1 枚)



☐ ハードウェアシリアル No.シール
(1 枚)



※ハードウェアシリアル No.シールをハードウェア保証書とユーザー登録カードに貼ってください。
※バージョンアップした「サポートソフト」を弊社ホームページよりダウンロードする際には、ハードウェアシリアル No を入入力する必要があります。

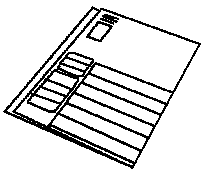
☐ ハードウェア保証書(1 枚)



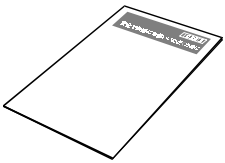
☑ 取扱説明書(1 冊)



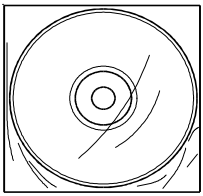
☐ ユーザー登録カード(1 枚)



☐ 『安全で快適にお使い
いただくために』(1 冊)



☐ DION オンラインサインアップ用
CD-ROM（1 枚）



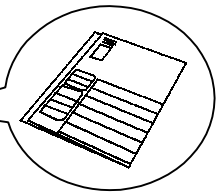
☐ PRIN セットアップ CD-ROM（1 枚）



注意

・箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご使用ください。
・本製品には、Macintosh 用としてモデム設定ファイル（Apple Remote Access CCL ファイル）およびドライバソフトのみ添付しております。通信ソフトウェアなどのアプリケーションは添付しておりませんので、別途お買い求めください。

ユーザー登録は済ませましたか？
「ユーザー登録カード」に登録方法が記載されています。
登録してから次ページへ進みましょう。



対応している機種と OS

本製品を使用できるパソコンおよび環境は以下の通りです。ご使用の機種や環境を再度ご確認ください。

■ Windows ■

対応機種	USB ポートがあり、MMX Pentium 200MHz 以上の CPU をもつ、以下の機種 ・DOS/V マシン （弊社では、OADG 加盟メーカーの DOS/V マシンで動作確認を行っています。） ・NEC PC98-NX シリーズ
対応 OS （日本語版）	Windows XP Windows 2000 Windows Me Windows 98（Second Edition 含む）
CD-ROM ドライブ※	サポートソフトのインストール時に必要
USB コネクタ	本製品接続時に1つ必要（A タイプ）

※USB ポートが1つのみのパソコンで、CD-ROM ドライブを USB ポートでお使いの場合は、次ページを参照してください。

■ Macintosh ■

対応機種	USB ポートを搭載した以下の機種 Power Macintosh G3/G4/G4 Cube、 iMac、PowerBook G3/G4、iBook
対応 OS	Mac OS 8.6/9.0/9.0.4/9.1/9.2/9.2.1
CD-ROM ドライブ	サポートソフトのインストール時に必要
USB コネクタ	本製品接続時に1つ必要（A タイプ）

■ 対応電話機 ■

対応電話機	DDI ポケット「*feel H″*（フィールエッジ）」、「*H″*（エッジ）」、 α-DATA64 対応電話機（一部機種は除く）、 α-DATA32 対応電話機（一部機種は除く）、 α-DATA 対応電話機（一部機種は除く）



NTT ドコモ社製、アステル社製の電話機ではご使用いただけません。

Windows で USB 接続 CD-ROM ドライブをお使いの場合

本製品を使用するには、「サポートソフト」CD-ROM ディスクをインストールするための CD-ROM ドライブが必要です。
Windows パソコンに USB ポートが1つのみで、かつ CD-ROM ドライブを USB ポートでお使いの場合、インストール時に CD-ROM ドライブが使えません。
以下の方法で「サポートソフト」CD-ROM の内容をハードディスクにコピーしておいてください。

1 エクスプローラを起動します。
[スタート]→[プログラム]→[エクスプローラ]を順にクリックします。
（Windows XPは[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[エクスプローラ]、Windows 2000は[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[エクスプローラ]）

2 [すべてのファイルを表示する]に設定します。
①[ツール]メニューの[フォルダ オプション]を選びます。
②[すべてのファイルとフォルダを表示する]をチェックします。
③[OK]ボタンをクリックします。



参考

[ツール]メニューの[フォルダ オプション]が無い場合、以下の手順で設定します。
→①[表示]メニューの[フォルダ オプション]を選びます。
②[表示]タブの[すべてのファイルを表示する]をチェックします。
③[OK]ボタンをクリックします。

3 ハードディスクドライブ（Windowsがインストールされているドライブ）に、任意のフォルダを作成します。

4 USBポートにCD-ROMドライブを接続し、
「サポートソフト」CD-ROMディスクをセットします。

5 「サポートソフト」CD-ROMディスクの内容をすべて***3*** の手順で作成したフォルダにコピーします。

MEMO

2 Windows XP で使うには

～ *準備編* ～

本製品で通信できるまでの流れ…… 8ページ
ステップ1 インストールする …… 9ページ
ステップ2 インストールは正常ですか？ 19ページ
ステップ3 端末速度を設定する…… 21ページ
ステップ4 発信情報を設定する…… 29ページ
ステップ5 接続/取り外しについて …… 34ページ

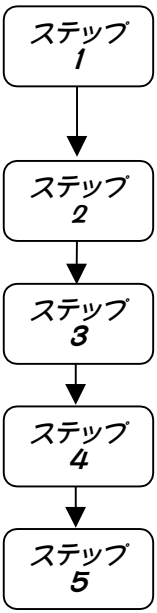
～ *インターネット接続編* ～

Windows XP でインターネットに
接続するには … 35ページ
ステップ1 接続前の準備…… 36ページ
ステップ2 接続に必要なソフトウェア … 39ページ
ステップ3 通信方式を設定する…… 51ページ
ステップ4 インターネットを楽しもう …… 55ページ
ステップ5 通信方式を変更する場合 … 60ページ

準備編

本製品で通信できるまでの流れ

本製品を利用して、インターネットをはじめ通信ソフトなどを使用するには、最初に本製品を使用できるようにする設定、またパソコン側での設定が必要です。
ここでは、本製品を使用して、パソコンから通信できるようにするまでの手順について説明します。
以下の流れに沿ってお進みください。



インストールする ····· 9ページ
本製品を使用するにはサポートソフトのインストールが必要です。ここではそのインストール手順について説明します。

インストールは正常ですか？ ····· 19ページ
【ステップ1】でのインストールが正常にできたかの確認方法について説明します。

端末速度を設定する ····· 21ページ
本製品とパソコン間の速度の設定手順について説明します。

発信情報を設定する ····· 29ページ
パソコンから発信するための情報の設定手順について説明します。

接続/取り外しについて ····· 34ページ
本製品をUSBポートに接続する場合、取り外す場合の注意について説明します。

ステップ 1

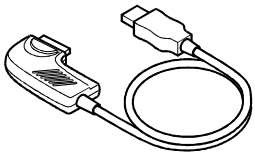
準備編

インストールする

本製品を使用するには、まず、「サポートソフト」CD-ROM ディスクのインストールが必要です。
次ページの手順でインストールしてください。

用意するもの

・本製品



・添付の「サポートソフト」CD-ROM



・電話機



※本書で説明している電話機のイラストは一例です。
お使いの機種により、異なります。
また、本製品との接続用コネクタの場所も機種により異なります。

注意

USB ポートが 1 つのみのパソコンで、CD-ROM ドライブを USB ポートでお使いの方は、インストール時に CD-ROM ドライブが使えません。
本製品を接続する前に、5 ページの手順で「サポートソフト」CD-ROM の内容をハードディスクにコピーしてください。次ページ以降では、「サポートソフト」CD-ROM の挿入は不要となります。また、13 ページ 8 の手順で指定するフォルダは、コピーしたフォルダの[WINXP]フォルダを指定してください。

「サポートソフト」をインストールする

本製品を使用するには、「サポートソフト」CD-ROM 内のドライバソフトを
パソコンにインストールする必要があります。
ここでは、そのインストール手順について説明します。
インストール作業は、はじめて本製品を接続したときだけ行います。
次回からは、パソコンを起動すれば本製品を使用できます。

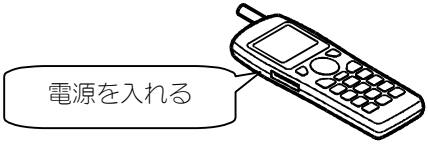
注意

インストールする際は、パソコンの電源を入れ、Windows が起動してから本製品を接続します。

1 本製品を差し込まずに、パソコンの電源を入れ
Windows XPを起動します。



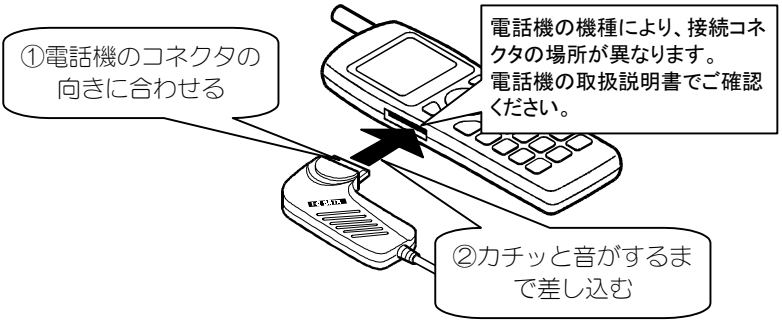
2 電話機の電源を入れます。



参考

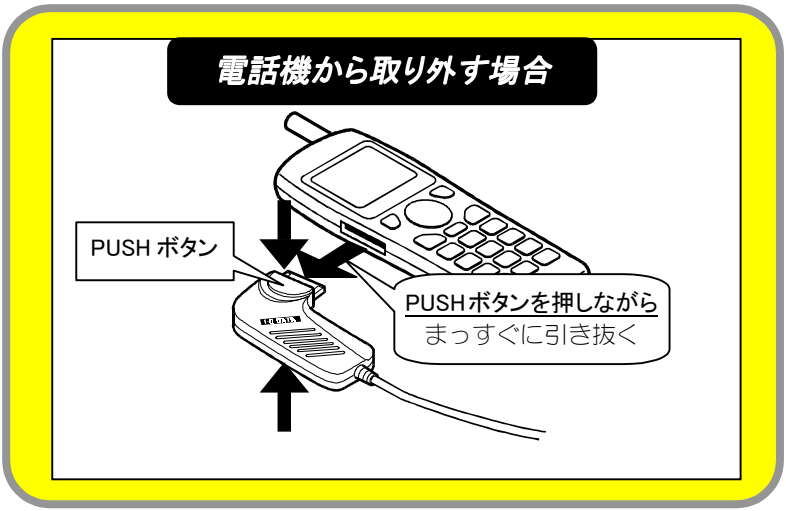
次ページ3 の手順で電話機と本製品を接続しますが、電話機の電源が入っている状態でも問題ありません。（接続後に電話機の電源を入れることもできます。）

3 電話機の接続コネクタに付いているカバーを取り外し、本製品を接続します。



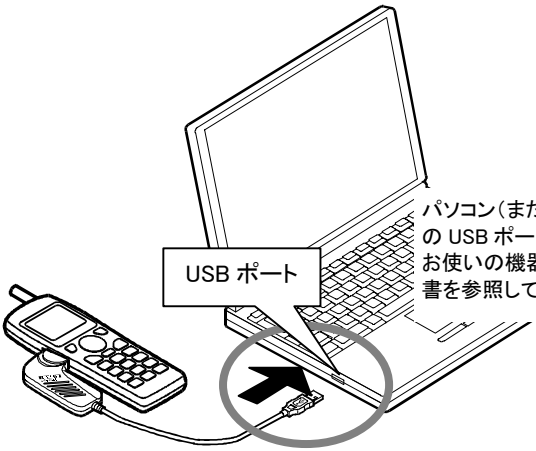
注意

・本製品と電話機を接続する場合は、コネクタの向きに注意してください。向きが違ったまま無理に差し込むと故障の原因になります。電話機によってコネクタの場所や向きが異なりますので、電話機の取扱説明書で必ず確認してください。
・本製品を取り外す場合は、PUSH ボタンを上下でつまんで（押しながら）まっすぐ引き抜いてください。（以下の図参照）PUSH ボタンを押さずに無理に引き抜くと、ケーブルやコネクタが破損する原因になります。



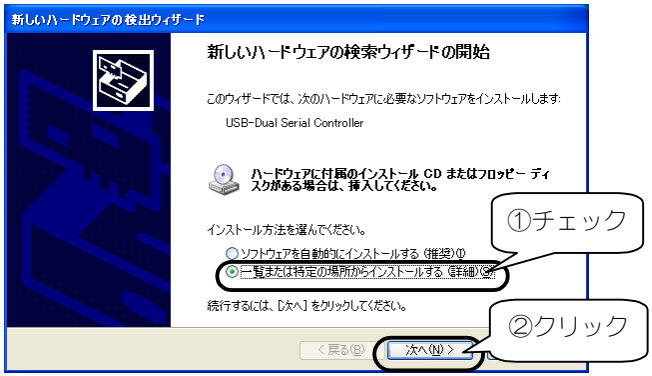
4 Windows XP のデスクトップ画面が表示されていることを確認後、パソコン（または USB ハブ）の USB ポートに、本製品の USB コネクタを差し込みます。

USBコネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。



5 しばらくすると、パソコンのディスプレイ上に以下の画面が表示されます。

[一覧または特定の場所からインストールする]をチェック後、[次へ]ボタンをクリックします。



このインストール画面が表示されない場合は…

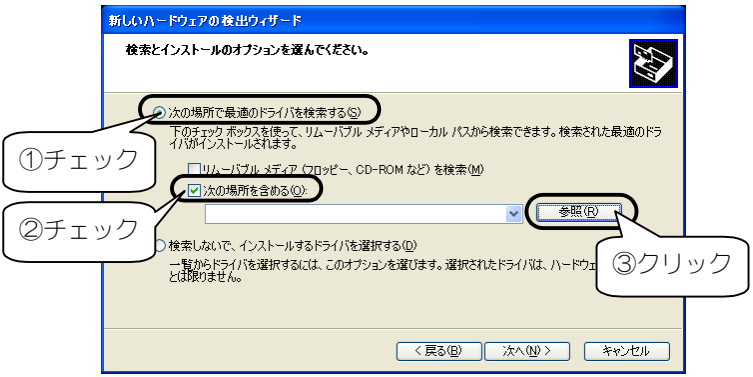
【困ったときには】の 243 ページをご参照ください。

6 「サポートソフト」CD-ROM を CD-ROMドライブにセットします。



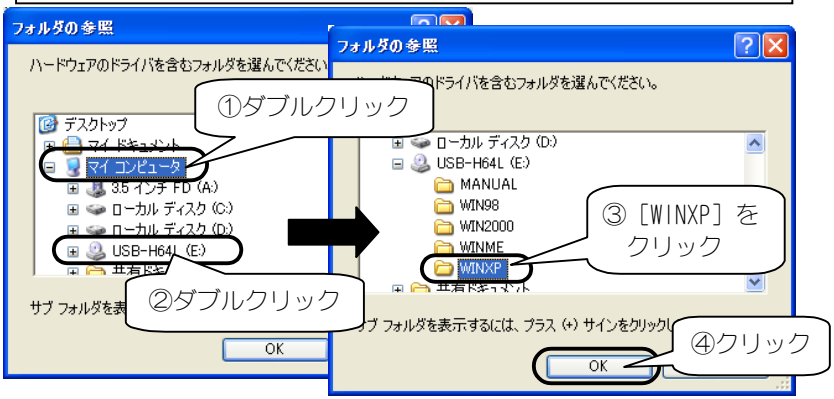
「サポートソフト」CD-ROM

7 [次の場所で最適のドライバを検索する]をチェック後、[次の場所を含める]のみをチェックして(その他の項目のチェックは外してください)、[参照]ボタンをクリックします。

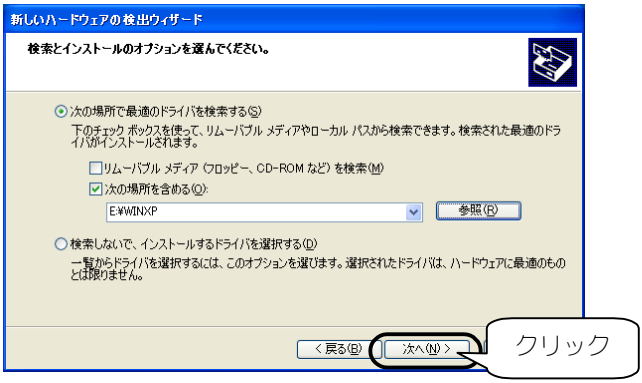


8 [マイコンピュータ]→CD-ROMドライブ(USB-H64L)を順にダブルクリック後、[WINXP]をクリックし、[OK]ボタンをクリックします。

「サポートソフト」を、お使いのパソコンのハードディスクにコピーした場合は →以下の手順①でコピー先のハードディスクを選択し、[WINXP]フォルダを指定します。

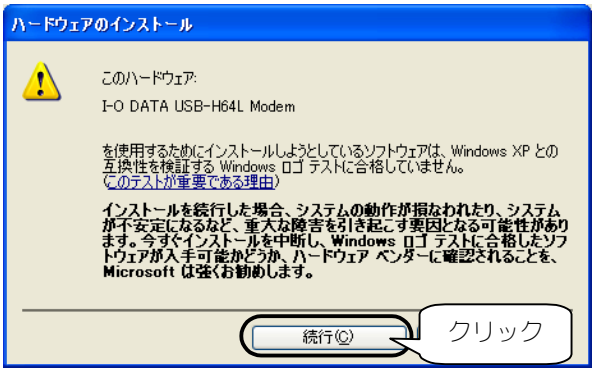


9　[次へ]ボタンをクリックします。



10　[続行]ボタンをクリックします。

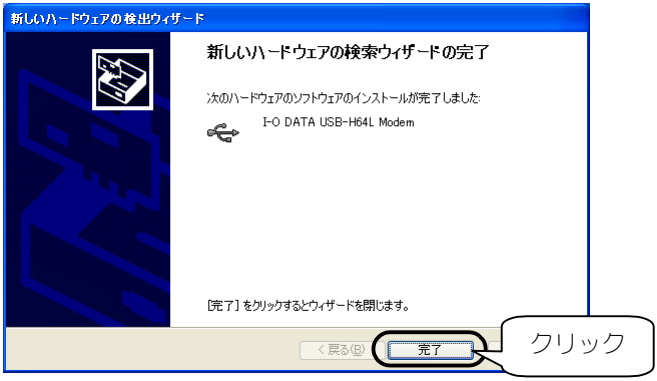
ボタンをクリック後、ファイルのコピーを開始します。



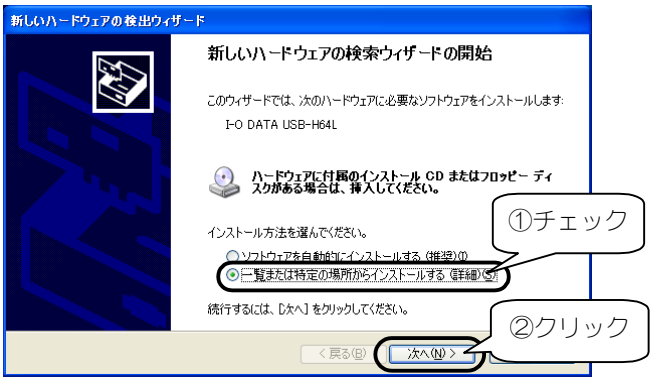
参考

弊社製ソフトウェアが確認された時点で、マイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いというメッセージが表示されますが、そのまま続行します。(特に問題ありません。)
→マイクロソフト社は WHQL という組織において、パソコン本体や周辺機器などを対象とした認定手続きを実施しております。
このたびお買い上げ頂いた製品は現時点では認定を受けておりません。

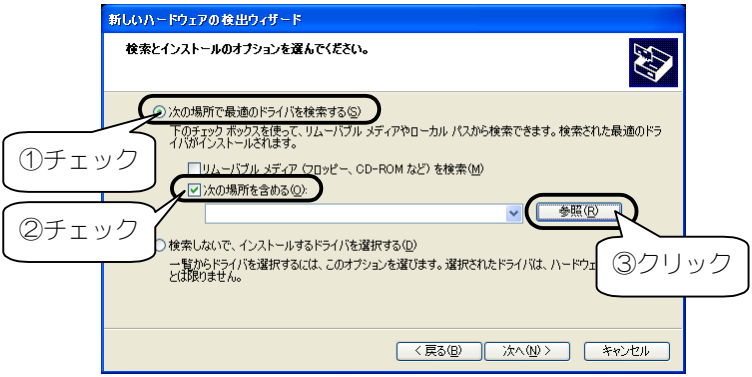
11 しばらくして以下の画面が表示されたら、
[完了]ボタンをクリックします。



12 しばらくすると、パソコンのディスプレイ上に以下の画面が表示されます。
[一覧または特定の場所からインストールする]をチェック後、
[次へ]ボタンをクリックします。

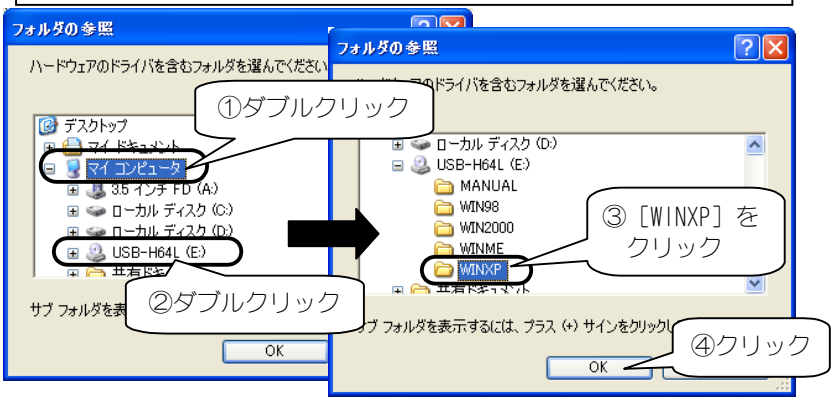


13 [次の場所で最適のドライバを検索する]をチェック後、[次の場所を含める]のみをチェックして（その他の項目のチェックは外してください）、[参照]ボタンをクリックします。

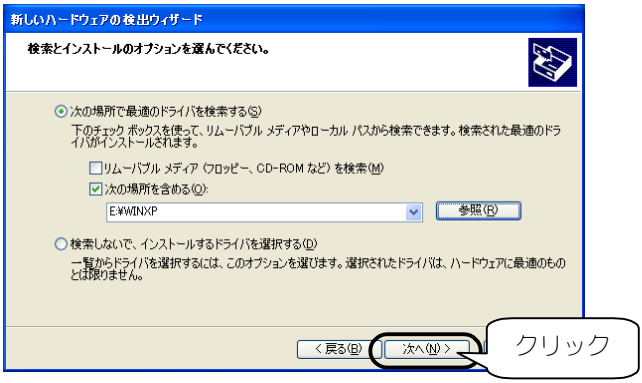


14 [マイコンピュータ]→CD-ROMドライブ（ USB-H64L）を順にダブルクリック後、[WINXP]をクリックし、[OK]ボタンをクリックします。

「サポートソフト」を、お使いのパソコンのハードディスクにコピーした場合は→以下の手順①でコピー先のハードディスクを選択し、[WINXP]フォルダを指定します。

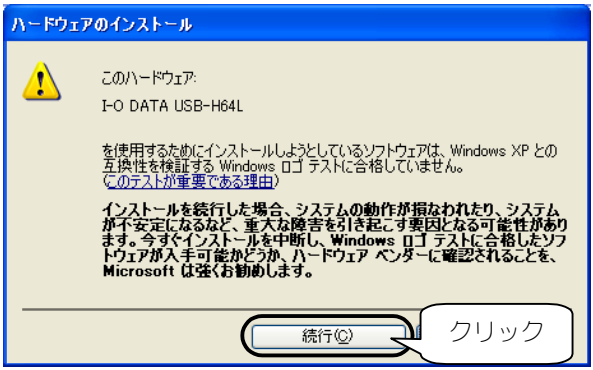


15 [次へ]ボタンをクリックします。



16 [続行]ボタンをクリックします。

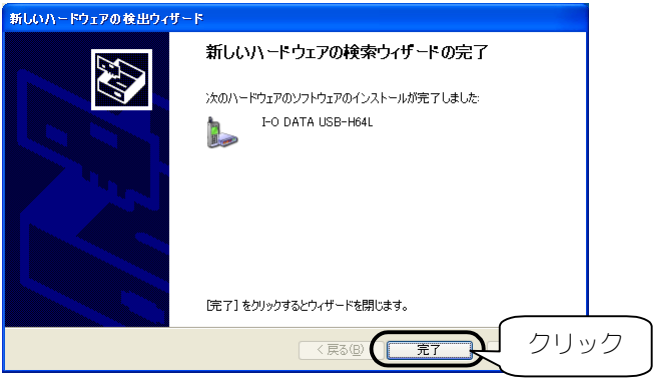
ボタンをクリック後、ファイルのコピーを開始します。



参考

弊社製ソフトウェアが確認された時点で、マイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いというメッセージが表示されますが、そのまま続行します。(特に問題ありません。)
→マイクロソフト社は WHQL という組織において、パソコン本体や周辺機器などを対象とした認定手続きを実施しております。
このたびお買い上げ頂いた製品は現時点では認定を受けておりません。

17 しばらくして以下の画面が表示されたら、
［完了］ボタンをクリックします。



18 しばらくして、*17* の手順の画面が消えたら
「サポートソフト」CD-ROMを取り出します。

19 すべての画面を閉じて、本製品を接続したまま、
パソコンを再起動してください。

以上でインストールは終了です。
次は正しくインストールできたかを確認します。
次ページ【インストールは正常ですか？】へお進みください。

ステップ
2

準備編

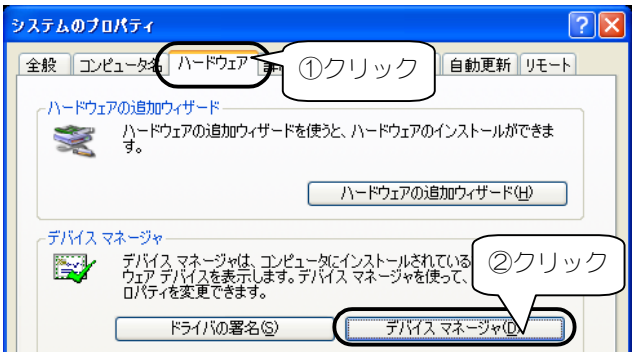
インストールは正常ですか？

【ステップ１】でのインストールが正常に終了すると、パソコンが本製品を正しく認識します。
ここでは、「***パソコンが本製品を正しく認識しているか***」を Windows 上で確認します。
本製品を USB ポートに差し込んだままで確認してください。

1 [スタート]をクリック後、
[マイコンピュータ]を右クリックし、表示された[プロパティ]をクリックします。



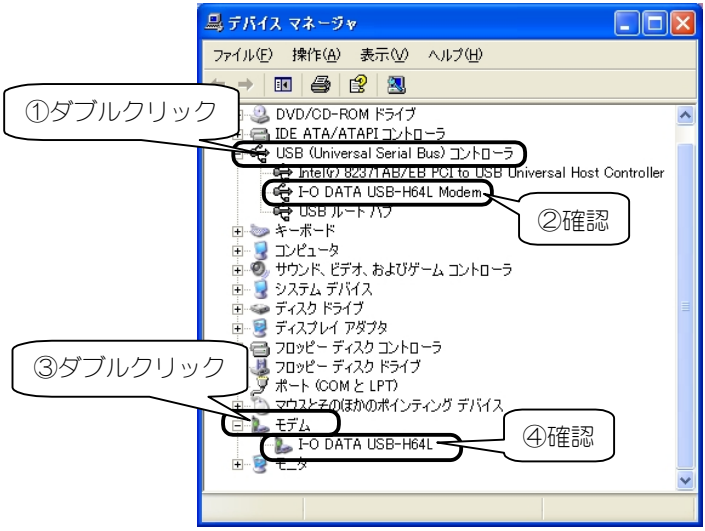
2 [ハードウェア]タブをクリック後、
[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。



3 以下が表示されていれば正常です。

・[USB (Universal Serial Bus) コントローラ]をダブルクリックして
[I-O DATA USB-H64L Modem]を確認します。

・[モデム]をダブルクリックして[I-O DATA USB-H64L]を確認します。



「I-O DATA USB-H64L Modem」が
表示されない場合は…

【困ったときには】の
246 ページ
をご参照ください。

「I-O DATA USB-H64L」が
表示されない場合は…

【困ったときには】の
247 ページ
をご参照ください。

「I-O DATA USB-H64L Modem」や
「I-O DATA USB-H64L」の頭に
[！]マークがある場合は…

【困ったときには】の
247 ページ
をご参照ください。

4 画面右上の ✕ ボタンをクリックして、画面を閉じます。
前ページ**2**の手順の画面に戻りますので、[OK]ボタンをクリックして画面を閉じます。

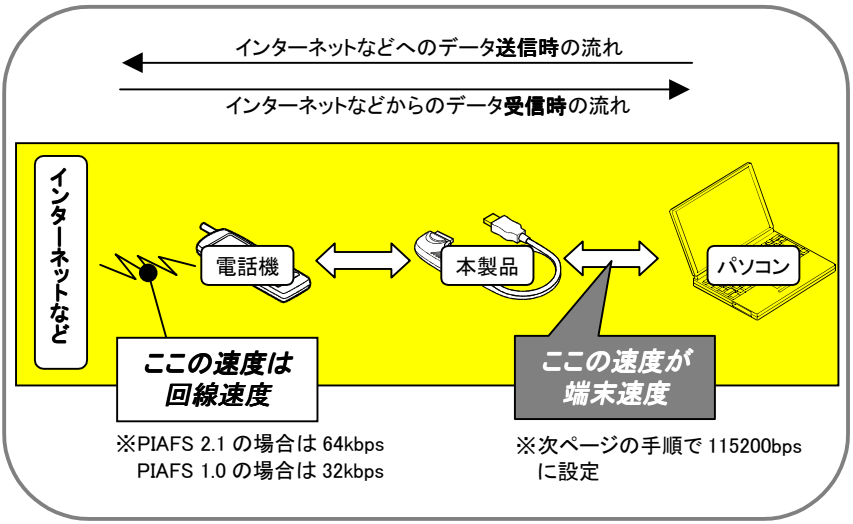
これでサポートソフトが正しくインストールされていることが確認できました。
次に端末速度の設定を行います。次ページへお進みください。

ステップ 3

準備編

端末速度を設定する

インストールが正常なことを確認したら、次に本製品とパソコン間の速度（**端末速度**）を設定します。
設定後、正常に本製品とパソコンが通信できるかを確認します。
設定と確認は、Windows の［電話とモデムのオプション］アイコンで行います。
本製品を USB ポートに差し込んだままで設定および確認してください。



1 [スタート]→[コントロールパネル]を順にクリックします。

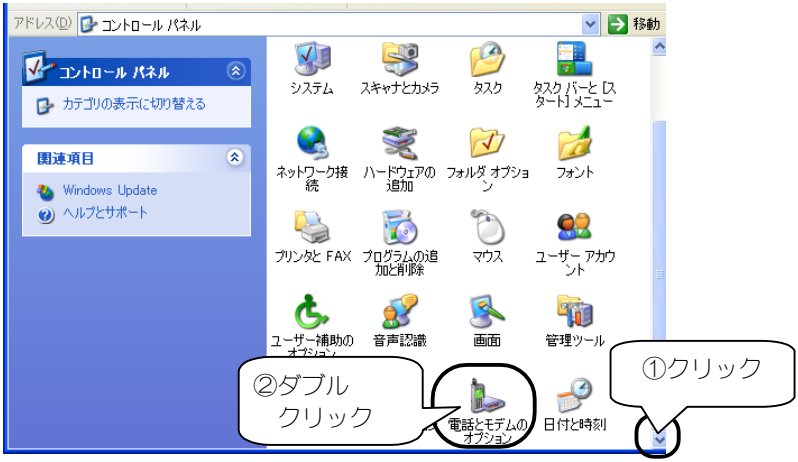


2 [コントロールパネル]が“カテゴリ表示”になっている場合は、[クラシック表示に切り替える]をクリックします。



3 [電話とモデムのオプション]アイコンを
ダブルクリックします。



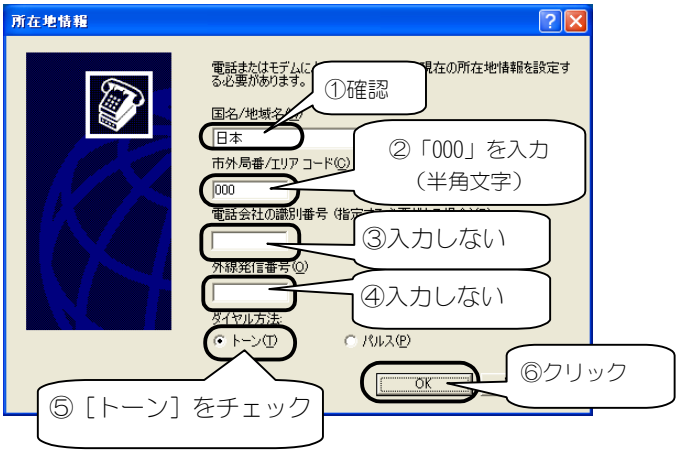


参考

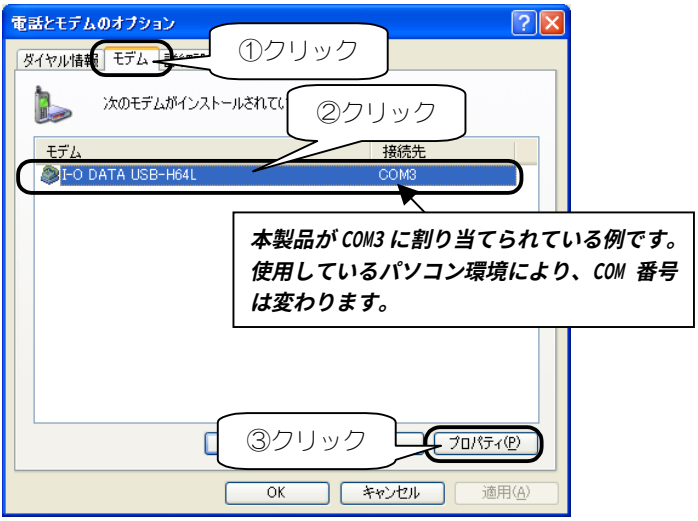
[電話とモデムのオプション]は[カテゴリ表示]からでも選択できます。
[カテゴリ表示]の場合は、[プリンタとその他のハードウェア]をクリック後、「コントロールパネルを選択します」の文字の下に[電話とモデムのオプション]があります。

4 以下の画面が表示された場合は、必要な情報を設定し、[OK]ボタンをクリックします。

No.	項目	設定内容
①	国名／地域名	「日本」であることを確認
②	市外局番/エリアコード	「000」などの存在しない数値を入力（半角文字） ※PHS は市外局番から発信するので、このような仮の値を設定しておきます。 （設定しないと市外局番から発信できません。）
③	電話会社の識別番号	入力しないでください。
④	外線発信番号	入力しないでください。
⑤	ダイヤル方法	[トーン]を選択



5 [電話とモデムのオプション]画面で[モデム]タブをクリック後、
[I-O DATA USB-H64L]をクリックし、
[プロパティ]ボタンをクリックします。



[I-O DATA USB-H64L]が
表示されない場合は…

【困ったときには】の
248 ページ
をご参照ください。

6 端末速度を設定します。

[モデム]タブで、[ポートの最高速度]を選択肢中で一番速い速度に設定します。

最高速度には、選択できる速度のうち、最高の速度（115200bpsが望ましい）を設定しておくと、最大パフォーマンスが引き出せます。

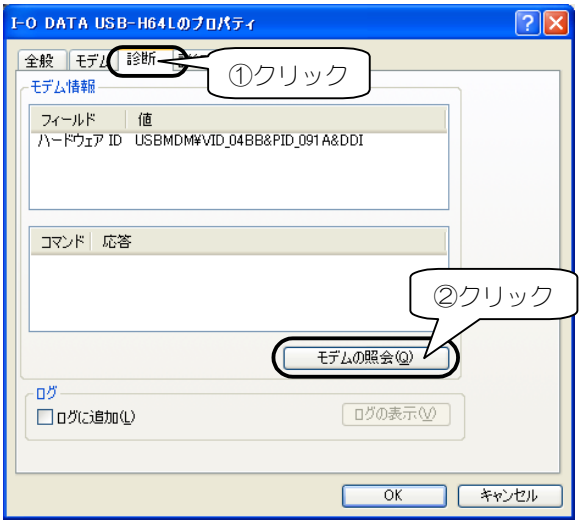


参考

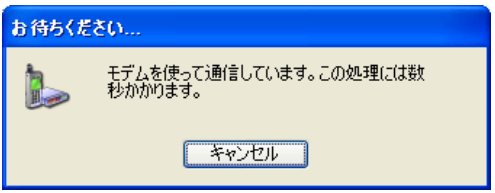
1. **ご使用になるパソコンの種類によっては設定した速度で通信できない場合があります。その場合は自動的に通信速度が落ちますので、あらかじめご了承ください。**
2. **ここで設定する速度は、端末速度(パソコンとモデム間の速度)です。**

7 端末速度を設定したら、次に本製品とパソコンが正常に通信できるかを確認します。

[診断]タブをクリックして、
[モデムの照会]ボタンをクリックします。



8 「お待ちください」と表示されます。
次ページの**9** の手順の画面が表示されるまで、そのままでお待ちください。



9 しばらくすると以下のように表示されます。
確認後、[OK]ボタンをクリックします。
※[コマンド][応答]の部分が真っ白でなく、[AT・・・・・]と英数字が表示されたら正常です。



「ポートが開けません」などと
表示された場合は…

【困ったときには】の
248 ページ
をご参照ください。

注意

・この通信テストはパソコンと本製品間の通信テストであり、電話機を介して通信するテストではありません。
・[応答]欄に[コマンドはサポートされていません]と表示される場合がありますが、動作上問題ありません。

10 [OK]ボタンをクリックし、
[電話とモデムのオプション]画面を閉じます。

ここまでで、本製品とパソコンが正しく通信できることが確認できました。
次に次ページで発信情報を設定してください。

ステップ 4

準備編

発信情報を設定する

インターネットをはじめ通信ソフトなどを利用するには、パソコンから発信するための情報（発信情報）を設定しておく必要があります。
設定は、Windows の［電話とモデムのオプション］アイコンで行います。
本製品を USB ポートに差し込んだままで設定してください。

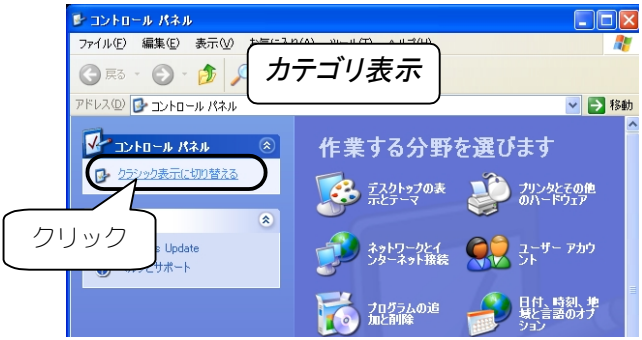
参考

【ステップ3】で[コントロールパネル]をすでに表示させている場合は、次ページ*3*の手順から行ってください。

1 [スタート]→[コントロールパネル]を順にクリックします。



2 [コントロールパネル]が“カテゴリ表示”になっている場合は、[クラシック表示に切り替える]をクリックします。

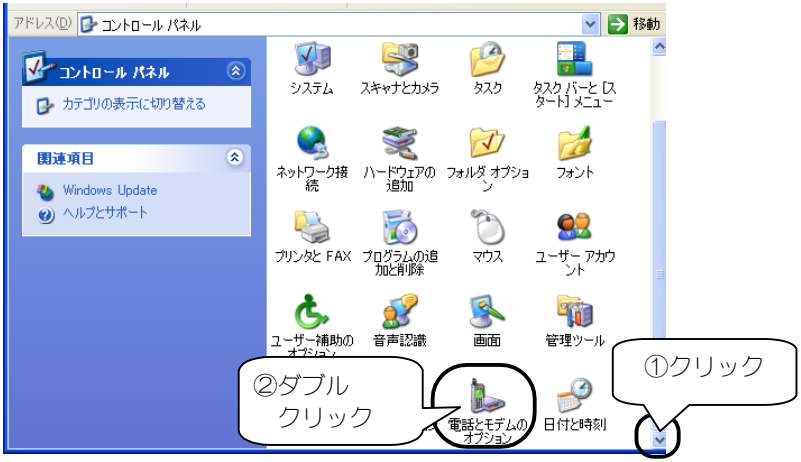


参考

[電話とモデムのオプション]は[カテゴリ表示]からでも選択できます。
[カテゴリ表示]の場合は、[プリンタとその他のハードウェア]をクリック後、「コントロールパネルを選択します」の文字の下に[電話とモデムのオプション]があります。

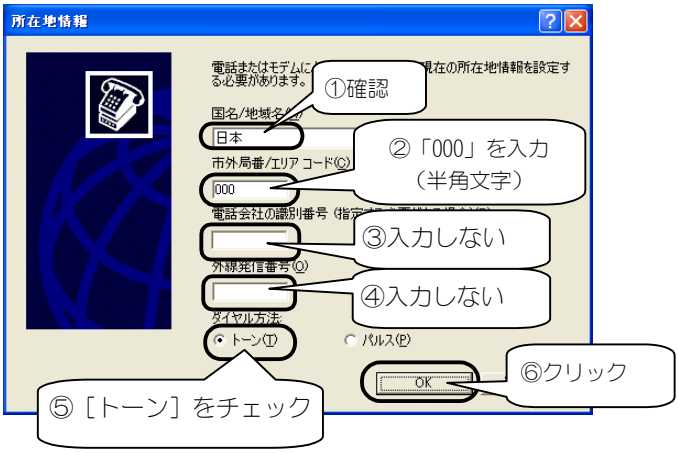
3 [電話とモデムのオプション]アイコンをダブルクリックします。





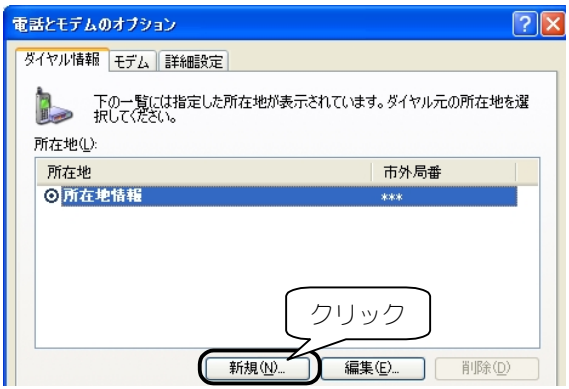
4 次ページの画面が表示された場合は、
以下の表を参照し、必要な情報を設定後、[OK]ボタンをクリックします。

No.	項目	設定内容
①	国名／地域名	「日本」であることを確認
②	市外局番／エリアコード	「000」などの存在しない数値を入力（半角文字） ※PHS は市外局番から発信するので、このような仮の値を設定しておきます。 （設定しないと市外局番から発信できません。）
③	電話会社の識別番号	入力しないでください。
④	外線発信番号	入力しないでください。
⑤	ダイヤル方法	[トーン]を選択



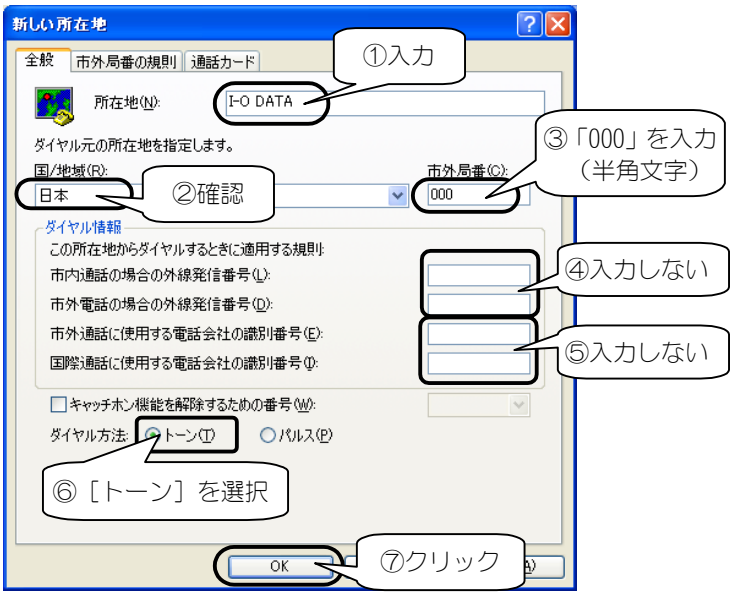
5　[新規]ボタンをクリックします。

以前に発信するための設定（所在地）を登録したことがある場合は、
次ページ**6**の手順へ進んでください。
（一般公衆回線やISDN回線用の所在地とは設定内容が異なります。
この場合は新しく所在地を追加してください。）



6 [全般]タブで必要な情報を設定して、
[OK]ボタンをクリックします。

No.	項目	設定内容
①	所在地	任意の名称(お好きな名称)を入力
②	国／地域	「日本」であることを確認
③	市外局番	「000」などの存在しない数値を入力(半角文字) ※PHS は市外局番から発信するので、このような仮の値を設定しておきます。 (設定しないと市外局番から発信できません。)
④	外線発信番号	入力しないでください。
⑤	識別番号	入力しないでください。
⑥	ダイヤル方法	[トーン]を選択



7 [OK]ボタンをクリックし、
[電話とモデムのオプション]画面を閉じます。

ここまでで、本製品がパソコンに正しく認識され、使用できることが確認できました。
1度これらのインストールや設定を行えば、今後はパソコンを起動するだけで使えるようになります。
実際に本製品を使う前に、【ステップ5】(次ページ)を参照して、本製品の接続や取り外し方を確認しておいてください。

本製品を使って…

インターネットを楽しみたい	→【Windows XP でインターネットに接続するには】(35 ページ)へ
Lotus NOTES でモバイル通信したい	→【Lotus NOTES でモバイル通信したい】(266 ページ)へ

ステップ 5

準備編

接続/取り外しについて

本製品のパソコンへの接続および取り外しは、以下のいずれでも構いません。

・パソコンの電源を切っている状態で接続する、取り外す

・パソコンの電源が入っている状態で接続する、取り外す

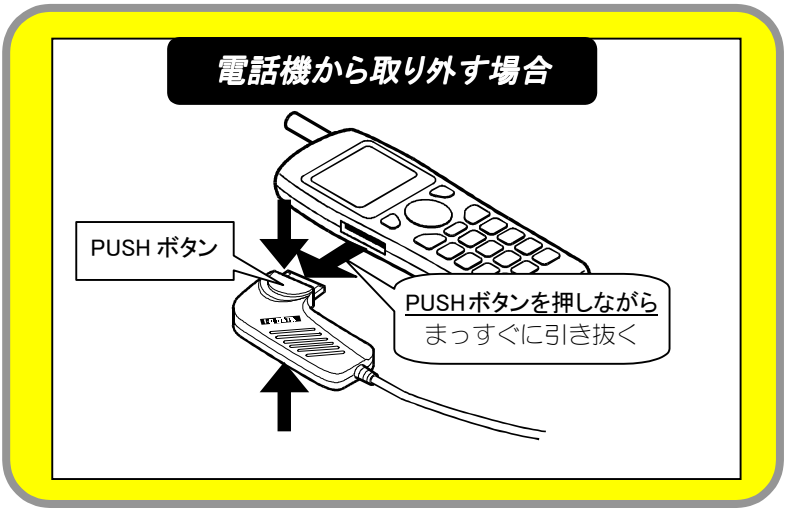
パソコンの電源が入っている時に取り外す場合は、本製品を使用していない（回線切断中である）事を確認してから行ってください。

電話機から本製品を取り外す場合

電話機から本製品を取り外す際は、以下のように行ってください。

注意

本製品を取り外す場合は、PUSH ボタンを上下でつまんで（押しながら）まっすぐ引き抜いてください。（以下の図参照）
PUSH ボタンを押さずに無理に引き抜くと、ケーブルやコネクタが破損する原因になります。



インターネット接続編

Windows XP で インターネットに接続するには

【準備編】（【ステップ１】（9 ページ）～【ステップ5】（34 ページ））が終了したら、いよいよインターネットに接続してみましょう。

ステップ 1

接続前の準備 ……36ページ

インターネットに接続する上で必要な確認事項について説明します。

- プロバイダとの契約
- 通信方式の確認
- パソコン、本製品、電話機の準備

ステップ 2

接続に必要なソフトウェア ……39ページ

インターネットに接続するために必要なソフトウェアについて説明します。

- ダイヤルアップ接続

ステップ 3

通信方式を設定する ……51ページ

通信方式に応じた設定について説明します。

ステップ 4

インターネットを楽しもう ……55ページ

【ステップ2】で設定した［ダイヤルアップ接続］で実際にインターネットに接続してみましょう。

ステップ 5

通信方式を変更する場合 ……60ページ

通信方式を変更する場合の手順について説明します。

ステップ 1

インターネット接続編

接続前の準備

インターネットに接続するには、以下をまず準備しておく必要があります。順にチェックしておいてください。

準備1:プロバイダとの契約

インターネット・サービスを受けるために、プロバイダとダイヤルアップ IP 接続の契約を行ってください。

契約時に入手した資料について

プロバイダとの契約後、パソコンからインターネット接続するために以下が記載されている資料を受け取ります。

パソコンにインターネット接続するための設定をする際（39 ページ【ステップ２】）、また、インターネットに接続する際（55 ページ【ステップ４】）に必要となりますので、準備しておいてください。

・ユーザー名
・パスワード
・接続先の電話番号
・ネームサーバーアドレス※
　プライマリ DNS サーバー
　セカンダリ DNS サーバー

※ネームサーバーアドレス（プライマリ DNS サーバー、セカンダリ DNS サーバー）は、プロバイダによっては指定がない場合もあります。
指定がない場合は特に設定する必要はありません。

準備2:通信方式の確認

本製品は、以下の通信方式に対応しています。

・PIAFS 対応通信方式

DDI ポケットの通信方式	通信方式	最大速度
PIAFS 2.1 方式（初期設定）	回線交換	64kbps
PIAFS 1.0 方式		32kbps

・ISDN 同期 64kPPP 通信方式

DDI ポケットの通信方式	通信方式	最大速度
無線インターネット方式	回線交換	32kbps

・*アナログモデム用通信方式*

DDI ポケットの通信方式	通信方式	最大速度
無線モデム/FAX 方式	回線交換	14.4kbps



「PIAFS」とは
→「ピアフ」と読みます。PHS の端末を使ったデジタルデータ通信規格のことです。

本製品の初期設定時には、前ページの［PIAFS 2.1 方式］の設定になっていますが、［PIAFS 2.1 方式］でご利用になる場合は、以下のすべての条件を満たしていないと 64kbps での通信ができません。

・*プロバイダ(接続先の電話番号)が PIAFS 2.1 に対応している*
・*電話機が PIAFS 2.1 に対応している*
・*ご利用の場所が 64K サービスエリアである*

事前に確認しておいてください。
（通常、PIAFS 2.1 に対応している場合は、PIAFS 1.0 にも対応しています。）

※同じプロバイダであっても、PHS で接続する場合と、電話回線でつないだモデムや TA で接続する場合では、通信方式が違うため、アクセスポイント（電話番号）も異なる（別になっている）場合があります。
※複数のプロバイダに接続する場合にもそれぞれすべてのプロバイダの通信方式を確認しておいてください。



・プロバイダが PIAFS 2.1 に対応しているか、また、ご利用場所が 64k サービスエリアかは、プロバイダにご確認ください。
・電話機が PIAFS 2.1 に対応しているかは、電話機の取扱説明書、あるいは、電話機器メーカーにご確認ください。

準備3：パソコン、本製品、電話機の準備

パソコン、本製品、電話機があればインターネットに接続できます。
ただし、以下の確認を行っておいてください。

チェック1：電話機の電源

電話機の電源が入っていることを確認してください。

チェック2：電話機と本製品の接続

電話機と本製品が接続されていることを確認してください。

チェック3：電話機の電波の状態

電話機の電波の状態が良好なことを確認してください。

※電話機でその場から正常に通話できることを確認しておいてください。



電話機の電波が弱い場合は、正常にインターネットなどに接続できなかったり、通信中に切れる場合があります。アンテナレベルが最高になっていることを、電話機の液晶画面などで確認してから、インターネットなどに接続してください。

ステップ 2

インターネット接続編

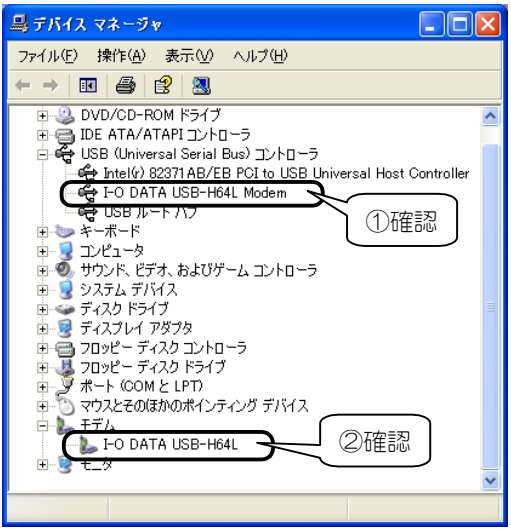
接続に必要なソフトウェア

インターネットに接続するには、以下および次ページのソフトウェアがインストールおよび設定されている必要があります。

①本製品のドライバソフトウェア

【インストールする】(9 ページ)でインストールした本製品を使用するためのソフトウェアです。
【インストールは正常ですか？】(19 ページ)で正常にインストールされているか確認しておきましょう。

[デバイスマネージャ]画面での以下の表示の確認
①[USB (Universal Serial Bus) コントローラ]の下の
[I-O DATA USB-H64L Modem]の表示
②[モデム]の下の[I-O DATA USB-H64L]の表示



次ページ以降で
説明します。

②ダイヤルアップを行うためのソフトウェア

ダイヤルアップを行ってプロバイダに接続するためのソフトウェアです。
詳細な設定は、次ページ以降を参照してください。

③Web ブラウザやメールソフトウェア

インターネットに接続する際に特に必要ではありませんが、接続後に、
ホームページなどを見るためのソフトウェアです。
Windows XP には、Web ブラウザとして Internet Explorer が標準で
インストールされています。

ここでは、次ページ以降で[ダイヤルアップ接続]の設定について説明します。
はじめてインターネットに接続する場合、また、以前の設定はそのまま残して新しい設定を作る場合にも、次ページ以降を参照してください。

[ダイヤルアップ接続]を設定する

インターネットに接続するには、パソコンからプロバイダなどにダイヤルアップするためのソフトウェア[ダイヤルアップ接続]を設定する必要があります。
本製品を USB ポートに接続したままで設定してください。

はじめて［ダイヤルアップ接続］の設定を行う場合、または、以前の設定はそのまま残して新しい設定を作る場合は、次ページの【新しい設定を作るとき】を行います。



参考 1

ダイヤルアップとは

→電話回線などの公衆網を利用して、インターネットに接続できる通信業者（プロバイダ）に接続すること。



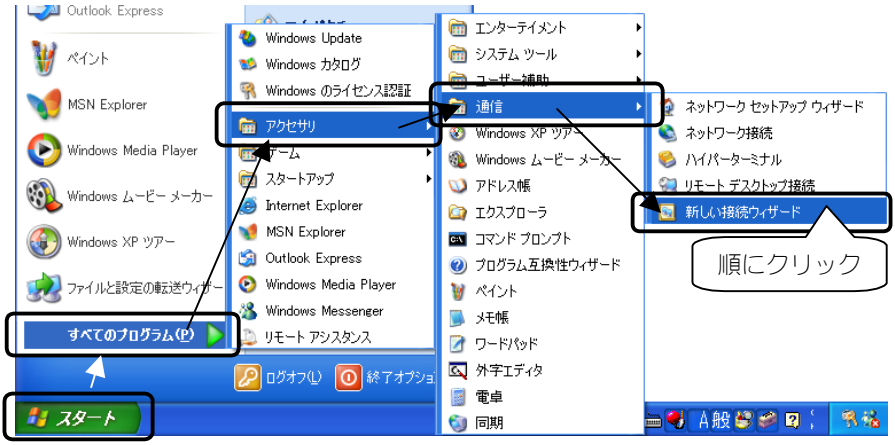
参考 2

すでにダイヤルアップ接続（インターネット）の設定を行っていて、設定内容を変更する場合は 47 ページ【設定を変更するとき】をご覧ください。

新しい設定を作るとき

1 インターネットプロバイダから入手した[ユーザー名]や[パスワード]などが記載されている資料をご用意ください。

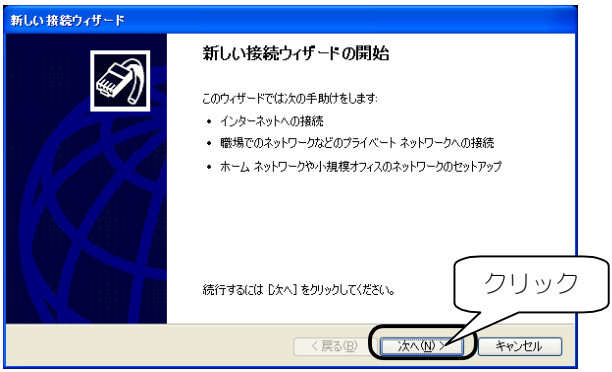
2 [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[新しい接続ウィザード]を順にクリックします。



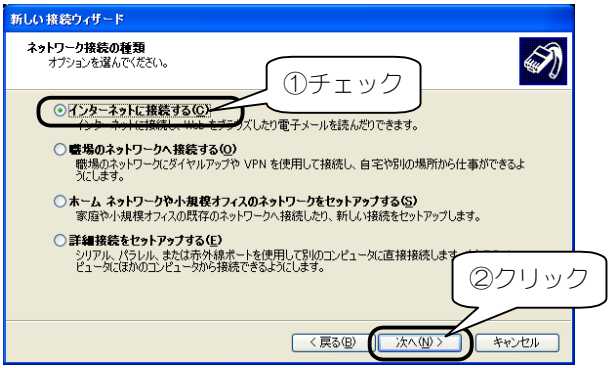
参考

[新しい接続ウィザード]と表示されず、[インターネット接続ウィザード]が表示されている場合は、[インターネット接続ウィザード]をクリックしてください。

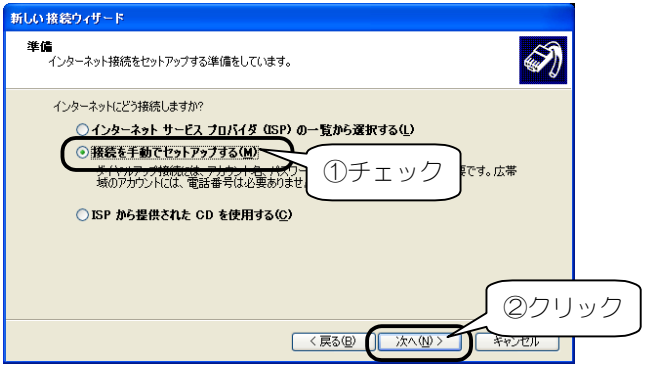
3 [次へ]ボタンをクリックします。



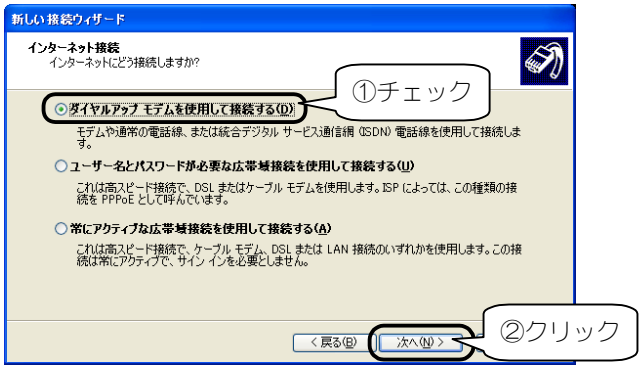
4 [インターネットに接続する]をチェックし、
[次へ]ボタンをクリックします。



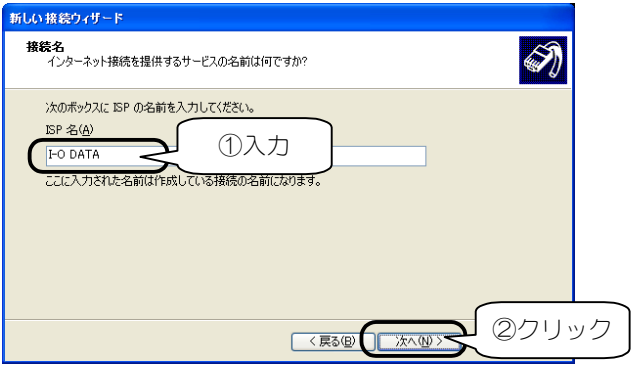
5 [接続を手動でセットアップする]をチェックし、
[次へ]ボタンをクリックします。



6 [ダイヤルアップモデムを使用して接続する]をチェックし、
[次へ]ボタンをクリックします。

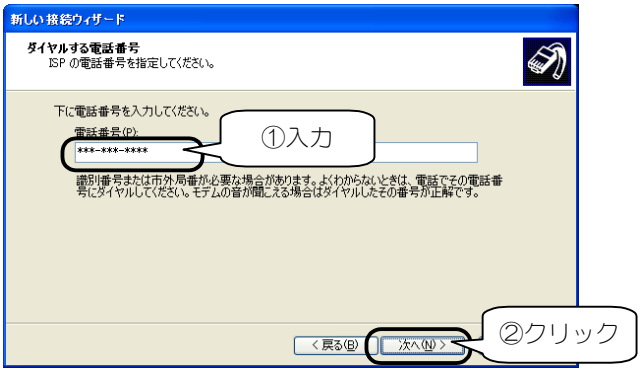


7 任意の名前（プロバイダの名前など、お好きな名前）を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。



8 モデムが複数ある場合、モデムを選択する画面が表示されます。
[I-O DATA USB-H64L]を選択してください。

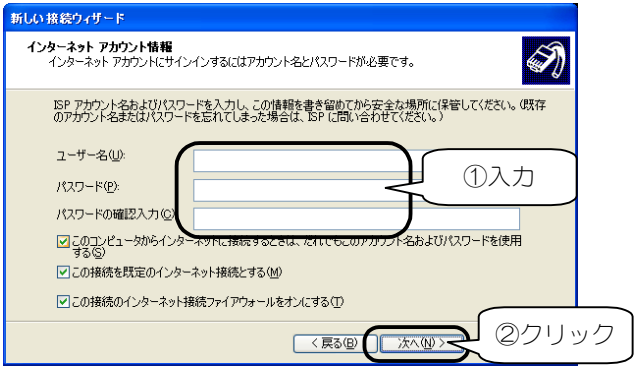
9 接続先（プロバイダ）の電話番号を市外局番から入力し、[次へ]ボタンをクリックします。



注意

[電話番号]欄の「*-***-****」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号を市外局番から半角文字で入力してください。**

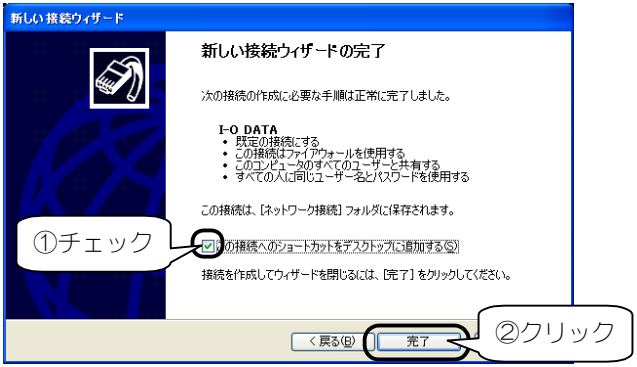
10 プロバイダから案内された[ユーザー名]や[パスワード]を入力します。
[パスワードの確認入力]にも[パスワード]で入力したものと同じものを入力後、[次へ]ボタンをクリックします。



注意

[パスワード]や[パスワードの確認入力]は[*****]と表示され、入力内容が確認できませんので、アルファベットの大文字小文字などを間違えないように注意してください。

11 [この接続へのショートカット…]をチェック後、
[完了]ボタンをクリックします。



12 デスクトップ上に新しく作成された接続アイコンのショートカット（**7**の手順で入力した名前のアイコン）が表示されていることを確認します。



参考

デスクトップ上に接続のアイコンのショートカットを作成していない場合は、[スタート]→[接続]→[すべての接続の表示]を順にクリックし、表示されている接続のアイコンをご確認ください。

● *プロバイダから[DNS サーバー]を案内されている場合*

次ページ【設定を変更するとき】を参照して[DNS サーバー]を設定してください。

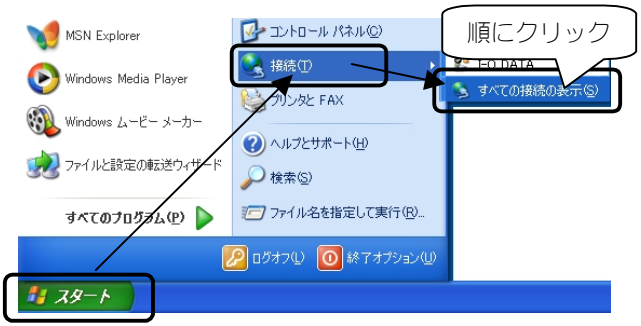
● *プロバイダから[DNS サーバー]の案内がない場合*

以上で[ダイヤルアップ接続]の設定は終了です。

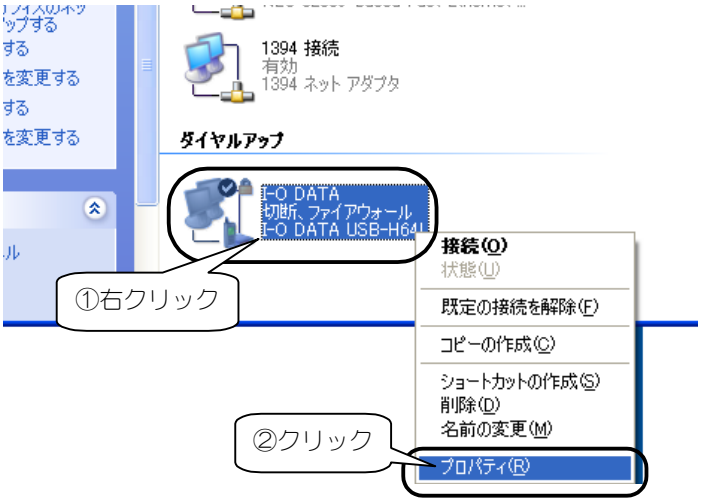
51 ページからの【通信方式を設定する】を参照して、通信方式を設定してください。

設定を変更するとき

1 [スタート]→[接続]→[すべての接続の表示]を順にクリックします。



2 [ダイヤルアップ]欄の変更したい接続のアイコンを右クリック後、表示された[プロパティ]をクリックします。



3 以下のようにプロバイダの電話番号などを設定します。

①[ダイヤル情報を使う]をチェックします。
②[市外局番]欄には、接続先の市外局番を入力します。
③[電話番号]欄には、接続先の電話番号を入力します。
④[国番号/地域番号]欄は、「日本」であることを確認します。

設定後、[OK]ボタンをクリックします。



注意

[市外局番][電話番号]欄の「*」「***-****」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号を入力してください。**
（[ダイヤル情報を使う]をチェック後、今一度[市外局番][電話番号]をご確認ください。）

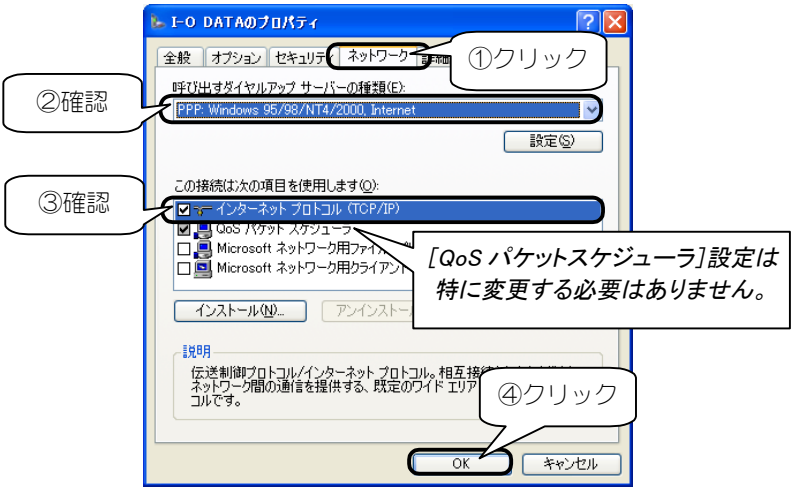
4 [ネットワーク]タブをクリックして、以下を確認します。

・[呼び出すダイヤルアップサーバーの種類]:
[PPP:Windows 95/98/NT4/2000, Internet]

・[インターネットプロトコル(TCP/IP)]のチェック

プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合は次ページを参照し、設定してください。

確認・設定後、[OK]ボタンをクリックします。

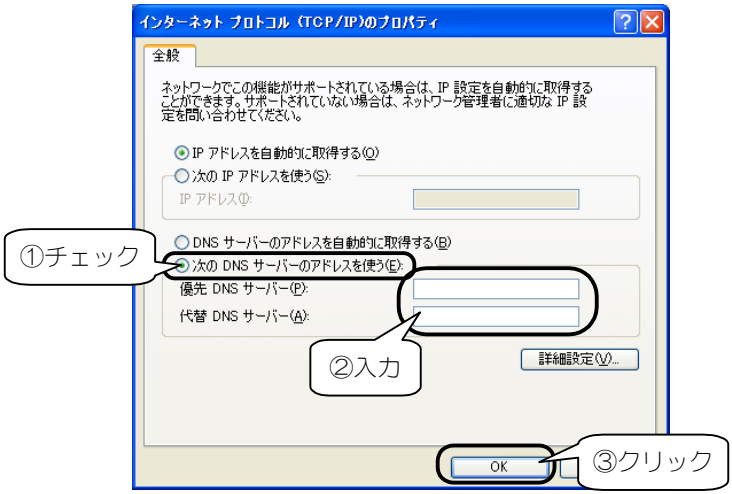


これでダイヤルアップ接続の設定は終了です。
55 ページ【インターネットを楽しもう】を参照して、さっそくインターネットに接続してみましょう。

●プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合

1　前ページ**4** の手順の画面で、[インターネットプロトコル(TCP/IP)]が選択されている状態で、[プロパティ]ボタンをクリックします。

2　以下の画面が表示されますので、以下の手順で設定します。
①[次の DNS サーバーのアドレスを使う]をチェックします。
②[優先 DNS サーバー]欄にプライマリ DNS を、[代替 DNS サーバー]欄にセカンダリ DNS の値を入力します。
設定後、[OK]ボタンをクリックします。



3　前ページ**4** の手順の画面に戻りますので、[OK]ボタンをクリックして画面を閉じてください。

注意
・ネームサーバーアドレスの入力内容がわからない場合は、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。
・プロバイダによっては、IP アドレスの設定が必要な場合もあります。必要な設定内容については、ご契約のプロバイダに確認してください。

ステップ 3

インターネット接続編

通信方式を設定する

本製品は、以下の通信方式に対応しています。

・*PIAFS 対応通信方式*

DDI ポケットの通信方式	通信方式	最大速度
PIAFS 2.1 方式（初期設定）	回線交換	64kbps
PIAFS 1.0 方式		32kbps

・*ISDN 同期 64kPPP 通信方式*

DDI ポケットの通信方式	通信方式	最大速度
無線インターネット方式	回線交換	32kbps

・*アナログモデム用通信方式*

DDI ポケットの通信方式	通信方式	最大速度
無線モデム/FAX 方式	回線交換	14.4kbps

【ステップ２】までの手順では、本製品は、上記の[PIAFS 2.1 方式]で使用する設定になっていますが、[PIAFS 2.1 方式]でご利用になる場合は、以下のすべての条件を満たしていないと 64kbps での通信ができません。

・*プロバイダ(接続先の電話番号)が PIAFS 2.1 に対応している*
・*電話機が PIAFS 2.1 に対応している*
・*ご利用の場所が 64k サービスエリアである*

上記を満たしている場合は、【ステップ４】55 ページへお進みください。
上記を満たしていない場合は、次ページを参照して、設定し直してください。

※同じプロバイダであっても、PHS で接続する場合と、電話回線でつないだモデムや TA で接続する場合では、通信方式が違うため、アクセスポイント（電話番号）も異なる（別になっている）場合があります。
※複数のプロバイダに接続する場合にもそれぞれすべてのプロバイダの通信方式を確認しておいてください。

注意

・プロバイダが PIAFS 2.1 に対応しているか、また、ご利用場所が 64k サービスエリアかは、プロバイダにご確認ください。
・電話機が PIAFS 2.1 に対応しているかは、電話機の取扱説明書、あるいは、電話機器メーカーにご確認ください。

参考

ここでの設定は、1つのプロバイダのみに接続する場合（1つの通信方式しか使用しない場合）の設定です。
複数のプロバイダに接続する場合など、プロバイダ毎に通信方式を変更したい場合は、接続する際に設定し直すこともできます。手順については、【ステップ5　通信方式を変更する場合】（60 ページ）を参照してください。

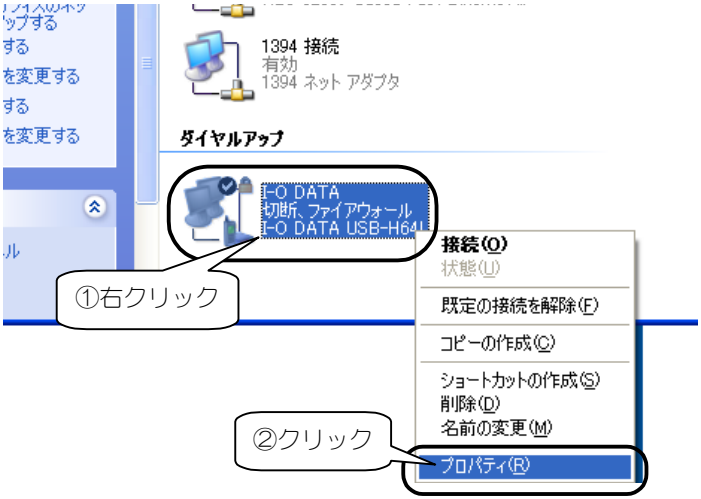
通信方式に応じて設定する

通信方式に応じた設定をします。
設定は、【ステップ2】で作成した［ダイヤルアップ接続］アイコンで行います。本製品を USB ポートに接続したままで設定してください。

1 ［スタート］→［接続］→［すべての接続の表示］を順にクリックします。



2 [ダイヤルアップ]欄の変更したい接続のアイコンを右クリック後、表示された[プロパティ]をクリックします。



3 [市外局番][電話番号]欄に次ページの【通信方式に応じた設定】を行います。
設定後、[OK]ボタンをクリックして画面を閉じてください。



注意

[市外局番][電話番号]欄の「*」「***-****」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号を入力してください。**

●通信方式に応じた設定

通信方式に応じた設定は、前ページ画面の［市外局番］［電話番号］欄を以下のお使いの通信方式に応じた電話番号に変更後、さらに電話番号の末尾に以下の**【追加する文字】(すべて半角)**を追加すれば設定できます。

・PIAFS 対応の電話番号の場合

	追加する文字
PIAFS 2.1 方式(初期設定)の場合→	追加なし （電話番号のみ）
PIAFS 1.0 方式の場合　→	##3

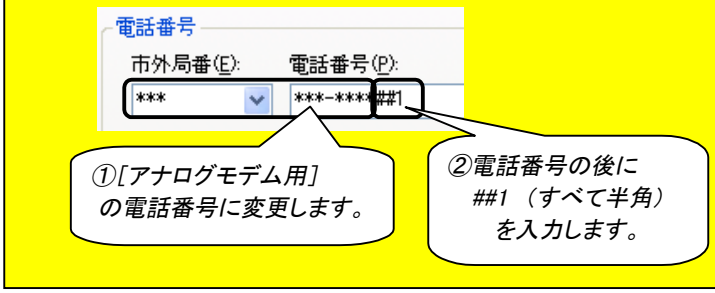
・ISDN 用の電話番号の場合

	追加する文字
無線インターネット方式の場合　→	##2

・アナログモデム用の電話番号の場合

	追加する文字
無線モデム/FAX 方式の場合　→	##1

入力例)上記[アナログモデム用の電話番号]の場合



以上で通信方式に応じた設定は終了です。
次ページ【インターネットを楽しもう】を参照して、さっそくインターネットに接続してみましょう。

ステップ
4

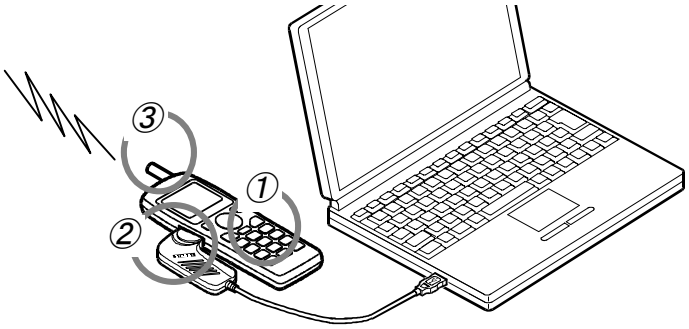
インターネット接続編

インターネットを楽しもう

ここまでの設定がすべて終了すれば、いよいよインターネットへの接続です。

接続する際のチェック項目

インターネットに接続する際は、電話機を操作する必要は特にありませんが、毎回以下を確認してから、本製品をパソコンに取り付け、インターネットに接続してください。



チェック①：電話機の電源

電話機の電源が入っていることを確認してください。

チェック②：電話機と本製品の接続

電話機と本製品が接続されていることを確認してください。

※電話機の電源が入っている状態でも問題ありません。

チェック③：電話機の電波の状態

電話機の電波の状態が良好なことを確認してください。

※電話機でその場から正常に通話できることを確認しておいてください。

注意

電話機の電波が弱い場合は、正常にインターネットなどに接続できなかったり、通信中に切れる場合があります。アンテナレベルが最高になっていることを、電話機の液晶画面などで確認してから、インターネットなどに接続してください。

インターネットに接続する

インターネットへの接続は、【[ダイヤルアップ接続] を設定する】(41 ページ) で作成した[ダイヤルアップ接続]で行います。

1 デスクトップ上に作成した接続のアイコンをダブルクリックします。



参考

デスクトップ上に接続のアイコンのショートカットを作成していない場合は、[スタート]→[接続]→[すべての接続の表示]を順にクリックし、作成した接続のアイコンをダブルクリックしてください。

2 プロバイダから通知された[ユーザー名]と[パスワード]を入力し、[ダイヤル]ボタンをクリックします。

[ダイヤル]ボタンをクリックすると、指定した電話番号にかかりプロバイダと通信を開始します。



注意

・[ダイヤル]欄の「*-***-****」は、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号が市外局番から表示されていることを確認してください。**
・ [次のユーザーが接続するとき……]をチェックすると、ユーザー単位での設定ができます。
セキュリティの必要に応じて設定してください。

参考

接続先の電話番号を確認したい、または変更したい場合は
【設定を変更するとき】(47 ページ)を参照してください。

3 しばらくしてディスプレイ画面右下のタスクトレイに[ダイヤルアップ接続モニタ]アイコンが表示されたら、接続完了です。



「回線が使用中です」などと表示された場合は… → 【困ったときには】の 249 ページをご参照ください。

[ダイヤルアップ接続モニタ]アイコンが表示されない場合は… → 【困ったときには】の 251 ページをご参照ください。

4 接続状況は、[ダイヤルアップ接続モニタ]アイコンを
ダブルクリックすれば確認できます。



5 ブラウザや電子メールソフトを起動してお楽しみください。
接続中は、ずっと[ダイヤルアップ接続モニタ]が表示されています。

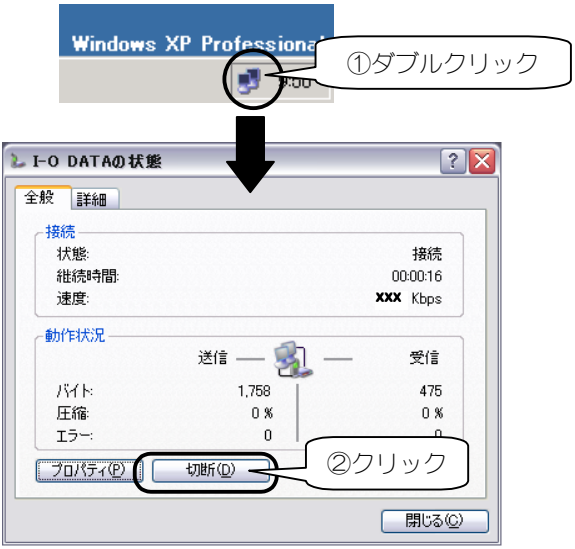
インターネットを終了する

インターネットを終了する場合は、ブラウザや電子メールを終了するだけでなく、必ず以下の手順を行ってください。

注意

ブラウザや電子メールを終わっただけでは電話回線は切断されません。
必ず以下の[切断]ボタンをクリックしてください。
クリック後、[ダイヤルアップ接続モニタ]が消えることを必ず確認してください。

1 インターネット利用が終わったら、画面右下の[ダイヤルアップ接続モニタ]をダブルクリックし、[切断]ボタンをクリックします。
これでインターネットが切断され、[ダイヤルアップ接続モニタ]が消えます。



以上で、インターネットは終了できました。

ステップ 5

インターネット接続編

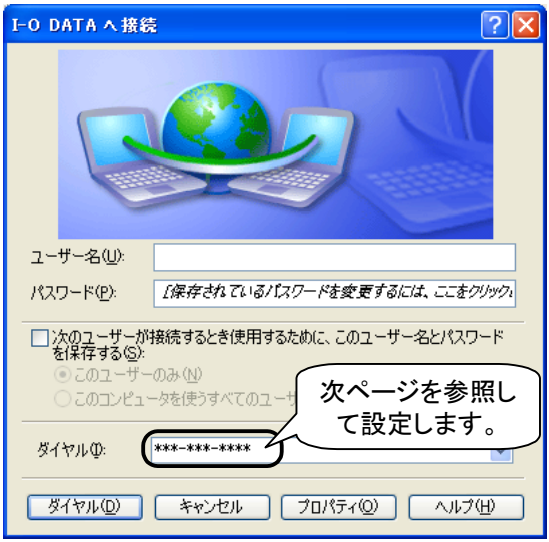
通信方式を変更する場合

通信方式（PIAFS 2.1、PIAFS 1.0）は、【ステップ３】（51 ページ）で設定することができますが、複数の通信方式でご利用になる場合などに、接続する際に通信方式を設定することもできます。

注意

この設定は、1 回限りなので、インターネットへの接続が終了すると元の設定に戻ります。

1 以下の接続画面（56ページの２ の手順の画面）で［ダイヤル］欄に次ページの【通信方式に応じた設定】を行います。



注意

［ダイヤル］欄の「*-***-****」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号が市外局番から表示されていることを確認してください。**

●通信方式に応じた設定

通信方式に応じた設定は、前ページ画面の［ダイヤル］欄を以下のお使いの通信方式に応じた電話番号に変更後、さらに電話番号の末尾に以下の**【追加する文字】(すべて半角)**を追加すれば設定できます。

・PIAFS 対応の電話番号の場合

	追加する文字
PIAFS 2.1 方式(初期設定)の場合→	追加なし （電話番号のみ）
PIAFS 1.0 方式の場合　→	##3

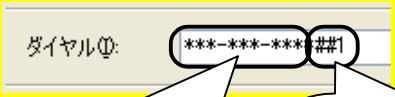
・ISDN 用の電話番号の場合

	追加する文字
無線インターネット方式の場合　→	##2

・アナログモデム用の電話番号の場合

	追加する文字
無線モデム/FAX 方式の場合　→	##1

入力例)上記[アナログモデム用の電話番号]の場合



①[アナログモデム用]の電話番号に変更します。

②電話番号の後に##1 （すべて半角）を入力します。

2　[ユーザー名][パスワード]を設定後、
[ダイヤル]ボタンをクリックすれば、設定した通信方式で
インターネットに接続します。

MEMO

3 Windows 2000 で使うには

～ 準備編 ～

本製品で通信できるまでの流れ……64ページ
ステップ1 インストールする ……65ページ
ステップ2 インストールは正常ですか？ 76ページ
ステップ3 端末速度を設定する……78ページ
ステップ4 発信情報を設定する……82ページ
ステップ5 接続/取り外しについて ……84ページ

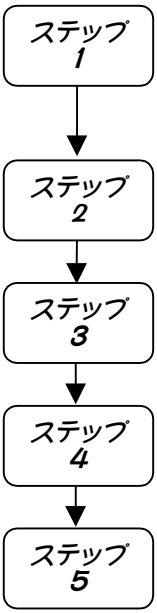
～ インターネット接続編 ～

Windows 2000 でインターネットに
接続するには …85ページ
ステップ1 接続前の準備……86ページ
ステップ2 接続に必要なソフトウェア …89ページ
ステップ3 通信方式を設定する…… 103ページ
ステップ4 インターネットを楽しもう … 107ページ
ステップ5 通信方式を変更する場合 · 114ページ

準備編

本製品で通信できるまでの流れ

本製品を利用して、インターネットをはじめ通信ソフトなどを使用するには、最初に本製品を使用できるようにする設定、またパソコン側での設定が必要です。
ここでは、本製品を使用して、パソコンから通信できるようにするまでの手順について説明します。
以下の流れに沿ってお進みください。



インストールする ····· 65ページ
本製品を使用するにはサポートソフトのインストールが必要です。ここではそのインストール手順について説明します。

インストールは正常ですか？ ····· 76ページ
【ステップ1】でのインストールが正常にできたかの確認方法について説明します。

端末速度を設定する ····· 78ページ
本製品とパソコン間の速度の設定手順について説明します。

発信情報を設定する ····· 82ページ
パソコンから発信するための情報の設定手順について説明します。

接続/取り外しについて ····· 84ページ
本製品を USB ポートに接続する場合、取り外す場合の注意について説明します。

ステップ 1

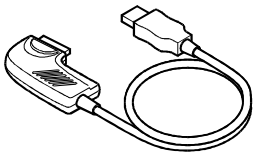
準備編

インストールする

本製品を使用するには、まず、「サポートソフト」CD-ROM ディスクのインストールが必要です。
次ページの手順でインストールしてください。

用意するもの

・本製品



・添付の「サポートソフト」CD-ROM



・電話機



※本書で説明している電話機のイラストは一例です。
お使いの機種により、異なります。
また、本製品との接続用コネクタの場所も機種により異なります。

注意

USB ポートが1つのみのパソコンで、CD-ROM ドライブを USB ポートでお使いの方は、インストール時に CD-ROM ドライブが使えません。
本製品を接続する前に、5ページの手順で「サポートソフト」CD-ROM の内容をハードディスクにコピーしてください。次ページ以降では、「サポートソフト」CD-ROM の挿入は不要となります。また、70 ページ *10* の手順で指定するフォルダは、コピーしたフォルダの[WIN2000]フォルダを指定してください。

「サポートソフト」をインストールする

本製品を使用するには、「サポートソフト」CD-ROM 内のドライバソフトを
パソコンにインストールする必要があります。
ここでは、そのインストール手順について説明します。
インストール作業は、はじめて本製品を接続したときだけ行います。
次回からは、パソコンを起動すれば本製品を使用できます。

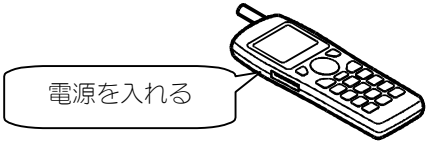
注意

インストールする際は、パソコンの電源を入れ、Windows が起動してから本製品を接続します。

1 本製品を差し込まずに、パソコンの電源を入れ
Windows 2000を起動します。



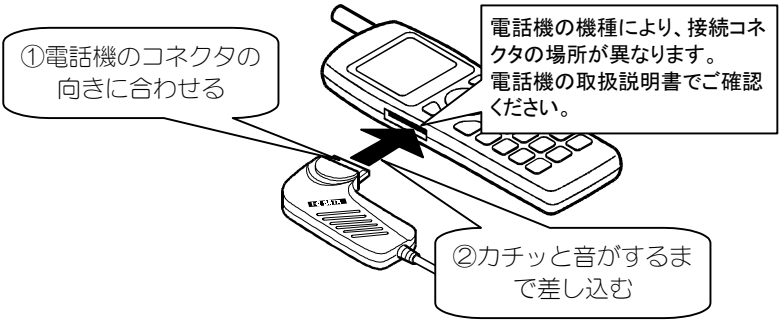
2 電話機の電源を入れます。



参考

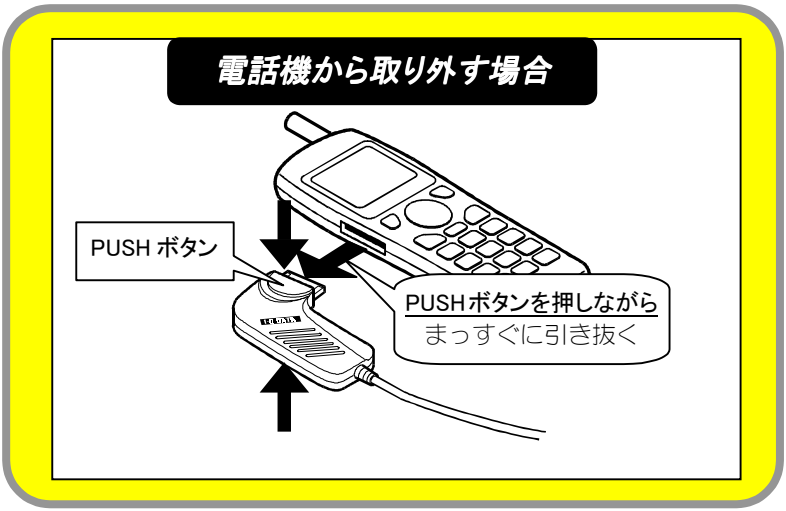
次ページ3 の手順で電話機と本製品を接続しますが、電話機の電源が入っている状態でも問題ありません。（接続後に電話機の電源を入れることもできます。）

3 電話機の接続コネクタに付いているカバーを取り外し、本製品を接続します。



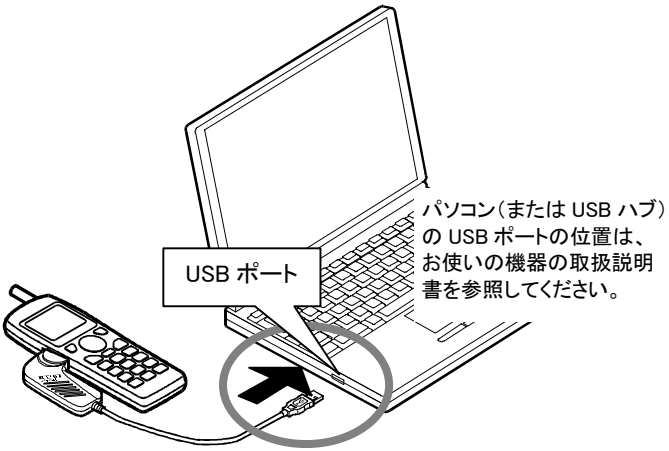
注意

・本製品と電話機を接続する場合は、コネクタの向きに注意してください。向きが違ったまま無理に差し込むと故障の原因になります。電話機によってコネクタの場所や向きが異なりますので、電話機の取扱説明書で必ず確認してください。
・本製品を取り外す場合は、PUSH ボタンを上下でつまんで（押しながら）まっすぐ引き抜いてください。（以下の図参照）PUSH ボタンを押さずに無理に引き抜くと、ケーブルやコネクタが破損する原因になります。



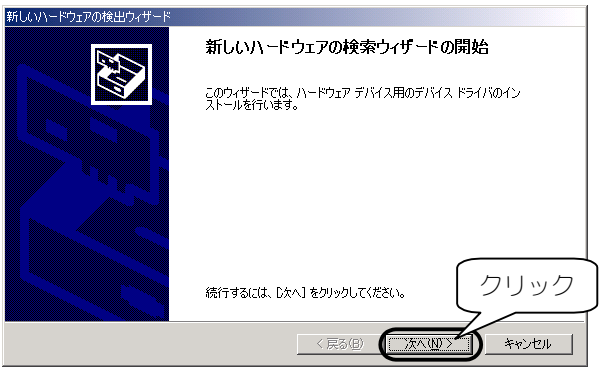
4 Windows 2000 のデスクトップ画面が表示されていることを確認後、パソコン（または USB ハブ）の USB ポートに、本製品の USB コネクタを差し込みます。

USBコネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。



5 しばらくすると、パソコンのディスプレイ上に以下の画面が表示されます。

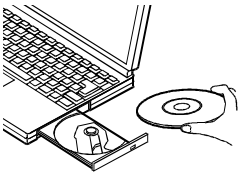
[次へ]ボタンをクリックします。



このインストール画面が表示されない場合は…

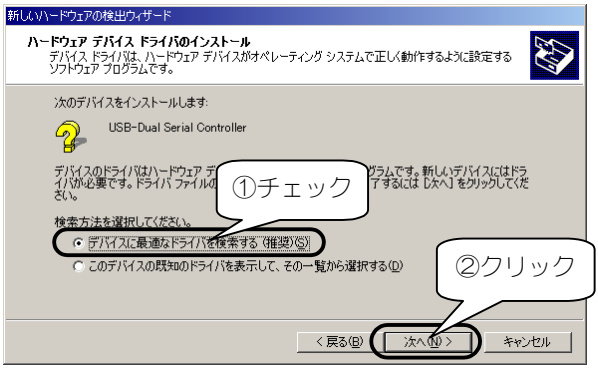
【困ったときには】の 243 ページをご参照ください。

6 「サポートソフト」CD-ROM を CD-ROMドライブにセットします。

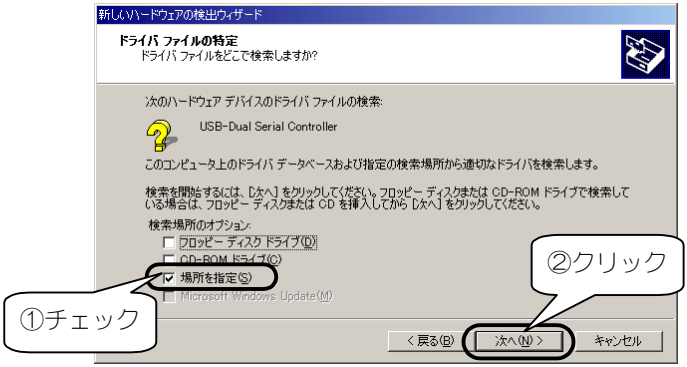


「サポートソフト」CD-ROM

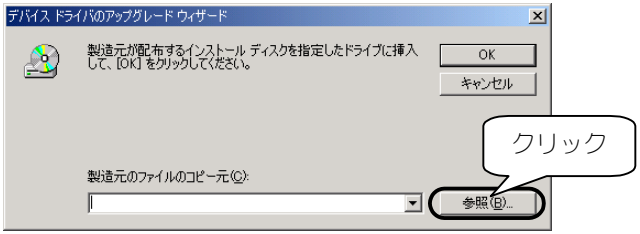
7 [デバイスに最適なドライバを検索する]にチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。



8 [場所を指定]のみをチェックして（その他の項目のチェックは外してください）、[次へ]ボタンをクリックします。

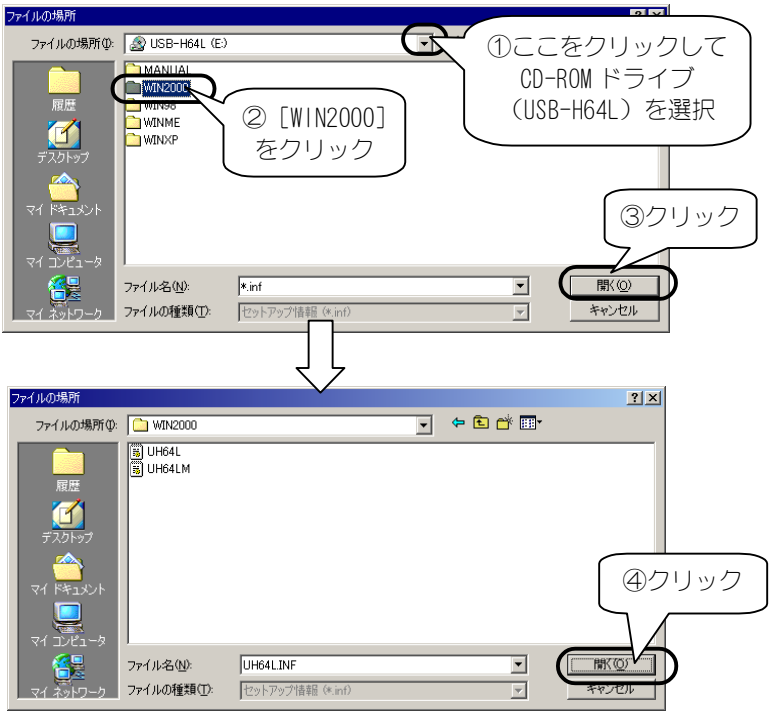


9 [参照]ボタンをクリックします。

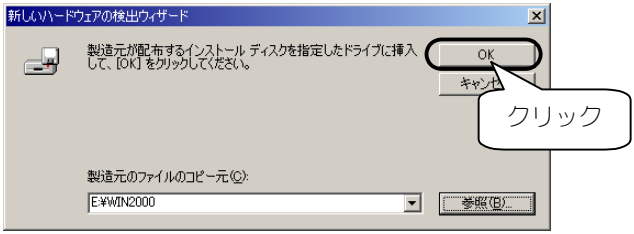


10 インストールするファイルの場所を指定します。

「サポートソフト」をお使いのパソコンのハードディスクにコピーした場合は
→[参照]ボタンをクリック後、以下の手順①でコピー先のハードディスクを選択し、
[WIN2000]フォルダを指定します。



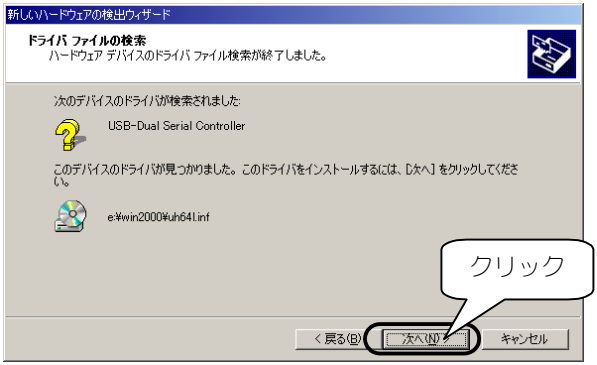
11 [OK]ボタンをクリックします。



「*関数ドライバがこのデバイスインスタンスに指定されなかったためインストールが失敗しました*」と表示された場合は…

【困ったときには】の 245 ページ をご参照ください。

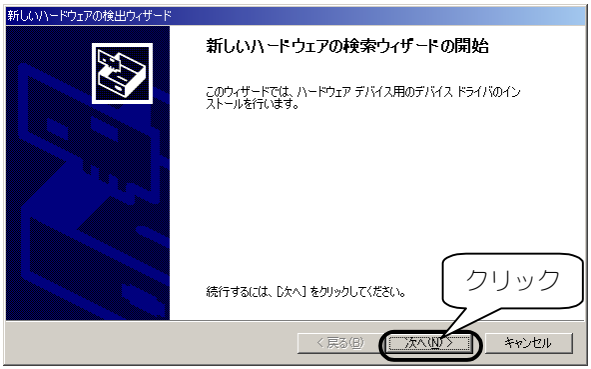
12 [次へ]ボタンをクリックします。



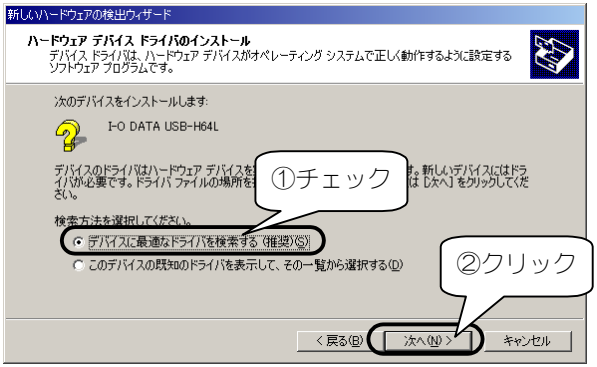
13 [完了]ボタンをクリックします。



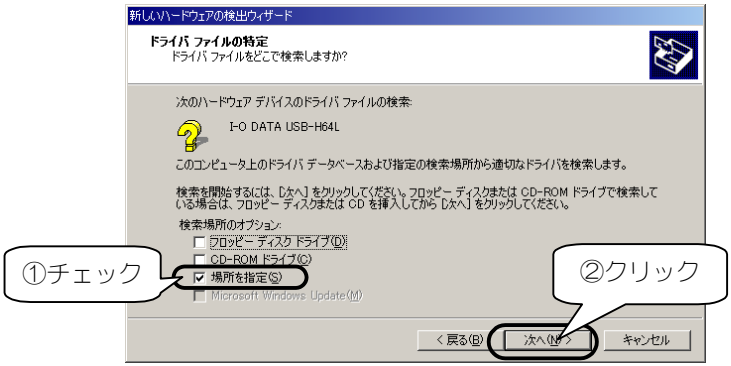
14 しばらくすると以下の画面が表示されますので、
[次へ]ボタンをクリックします。



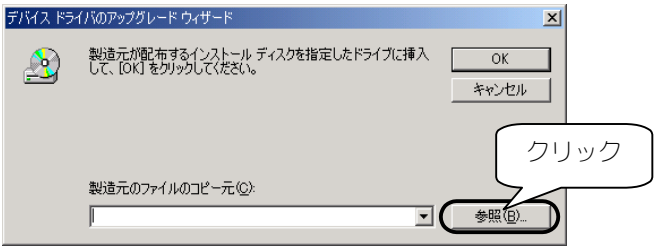
15 [デバイスに最適なドライバを検索する]をチェックして、
[次へ]ボタンをクリックします。



16 [場所を指定]のみをチェックして（その他の項目のチェックは外してください）、[次へ]ボタンをクリックします。

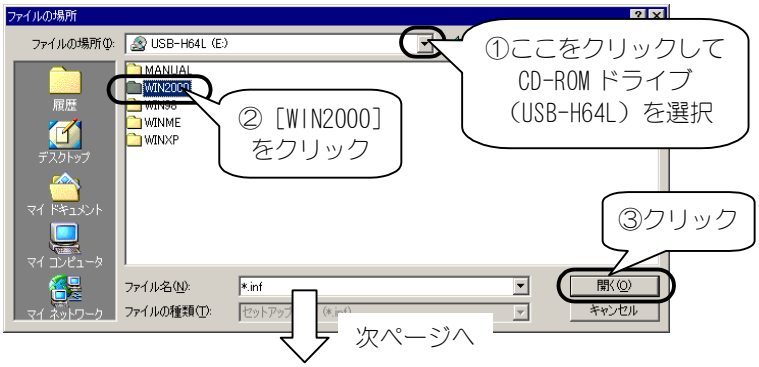


17 [参照]ボタンをクリックします。



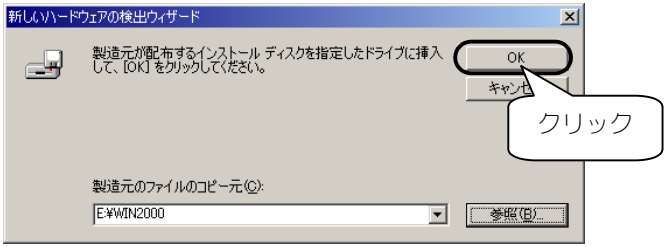
18 インストールするファイルの場所を指定します。

「サポートソフト」を、お使いのパソコンのハードディスクにコピーした場合は
→[参照]ボタンをクリック後、以下の手順①でコピー先のハードディスクを選択し、
[WIN2000]フォルダを指定します。

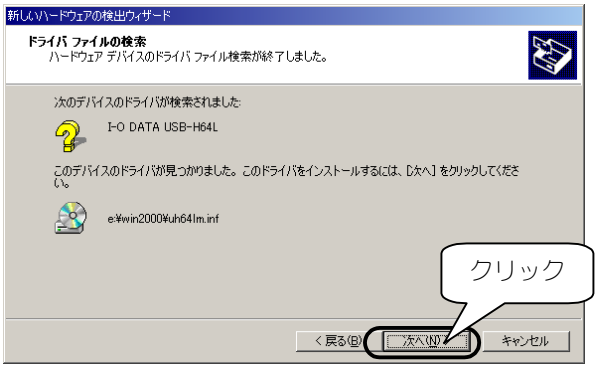




19　[OK]ボタンをクリックします。



20　[次へ]ボタンをクリックします。



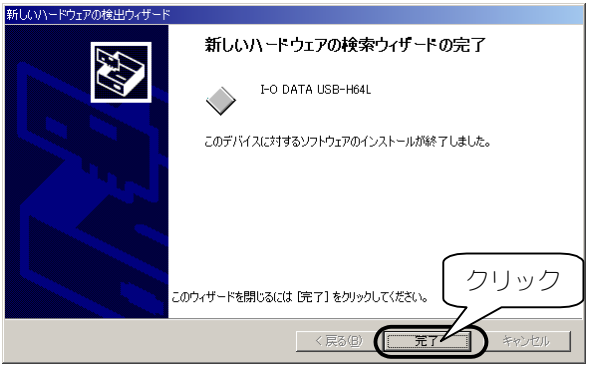
21 [はい]ボタンをクリックします。



参考

弊社製ソフトウェアが確認された時点で、マイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いというメッセージが表示されますが、そのまま続行します。（特に問題ありません。）
→マイクロソフト社は WHQL という組織において、パソコン本体や周辺機器などを対象とした認定手続きを実施しております。
このたびお買い上げ頂いた製品は現時点では認定を受けておりません。

22 [完了]ボタンをクリックします。



23 しばらくして、*22* の手順の画面が消えたら
「サポートソフト」CD-ROMを取り出してください。

以上でインストールは終了です。
次は正しくインストールできたかを確認します。
次ページ【インストールは正常ですか？】へお進みください。

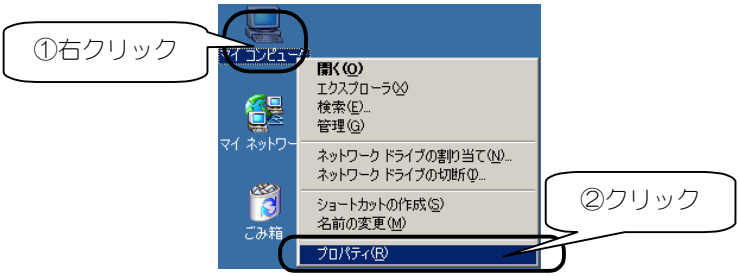
ステップ 2

準備編

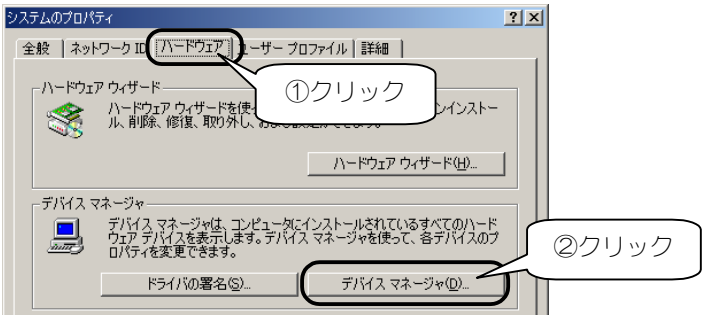
インストールは正常ですか？

【ステップ1】でのインストールが正常に終了すると、パソコンが本製品を正しく認識します。
ここでは、「***パソコンが本製品を正しく認識しているか***」を Windows 上で確認します。
本製品を USB ポートに差し込んだままで確認してください。

1 [マイコンピュータ]を右クリックして、
[プロパティ]をクリックします。



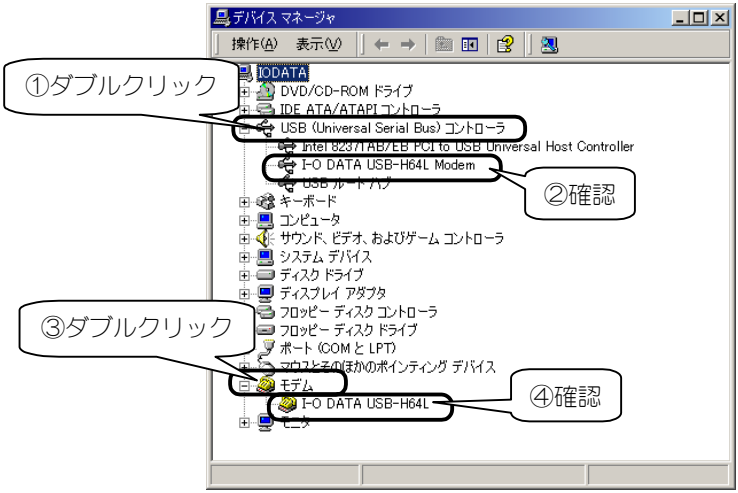
2 [ハードウェア]タブをクリックし、
[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。



3 以下が表示されていれば正常です。

・[USB (Universal Serial Bus) コントローラ]をダブルクリックして
[I-O DATA USB-H64L Modem]を確認します。

・[モデム]をダブルクリックして[I-O DATA USB-H64L]を確認します。



「I-O DATA USB-H64L Modem」が
表示されない場合は…
【困ったときには】の
246 ページ
をご参照ください。

「I-O DATA USB-H64L」が
表示されない場合は…
【困ったときには】の
247 ページ
をご参照ください。

「I-O DATA USB-H64L Modem」や
「I-O DATA USB-H64L」の頭に
[！]マークがある場合は…
【困ったときには】の
247 ページ
をご参照ください。

4 画面右上の ✕ ボタンをクリックして、画面を閉じます。
前ページ**2**の手順の画面に戻りますので、[OK]ボタンをクリックして画面を閉じます。

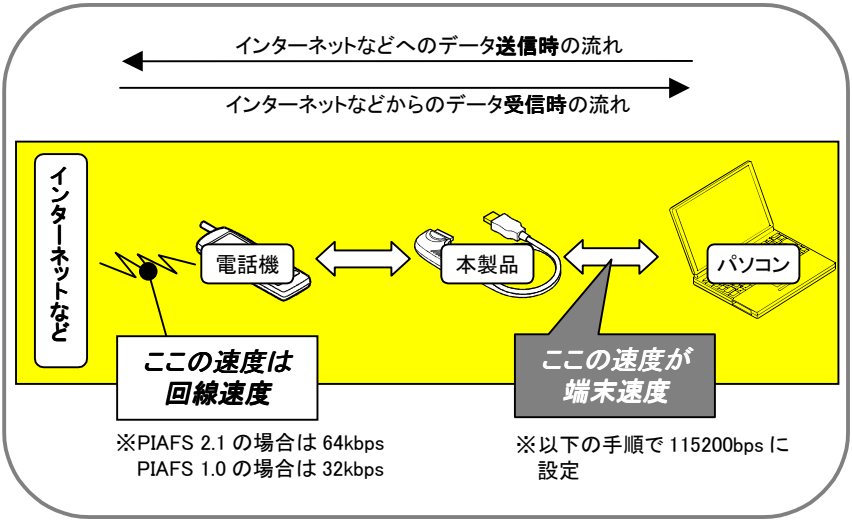
これでサポートソフトが正しくインストールされていることが確認できました。
次に端末速度の設定を行います。次ページへお進みください。

ステップ 3

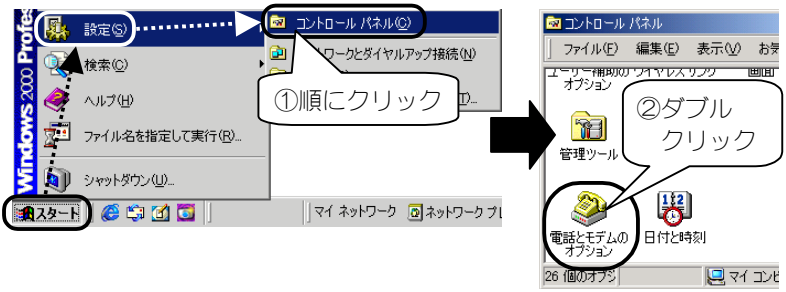
準備編

端末速度を設定する

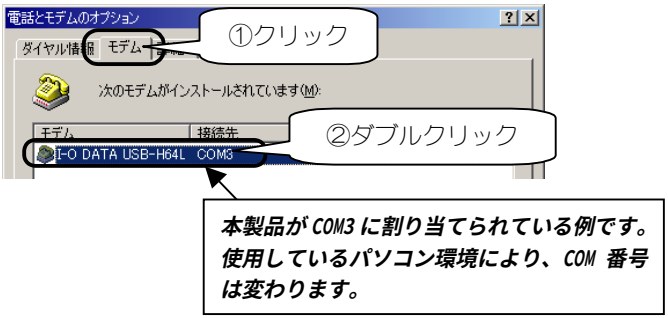
インストールが正常なことを確認したら、次に本製品とパソコン間の速度（**端末速度**）を設定します。
設定後、正常に本製品とパソコンが通信できるかを確認します。
設定と確認は、Windows の［電話とモデムのオプション］アイコンで行います。
本製品を USB ポートに差し込んだままで設定および確認してください。



1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックし、[電話とモデムのオプション]アイコンをダブルクリックします。



2 「電話とモデムのオプション」画面で[モデム]タブをクリック後、[I-O DATA USB-H64L]をダブルクリックします。



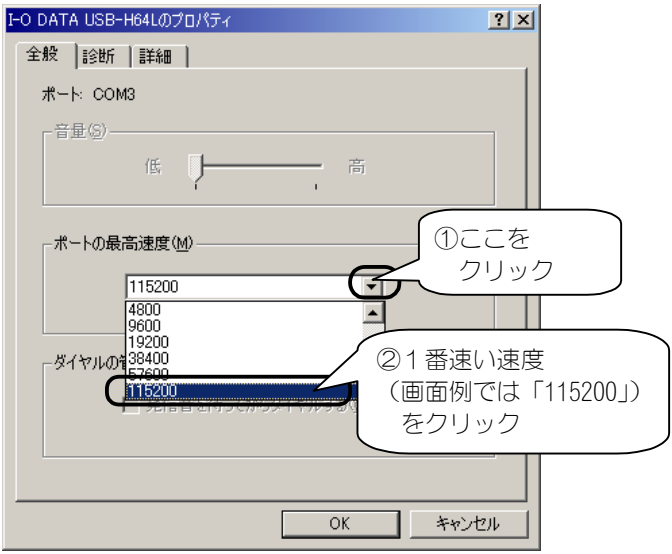
「I-O DATA USB-H64L」が表示されない場合は…

【困ったときには】の 248 ページをご参照ください。

3 端末速度を設定します。

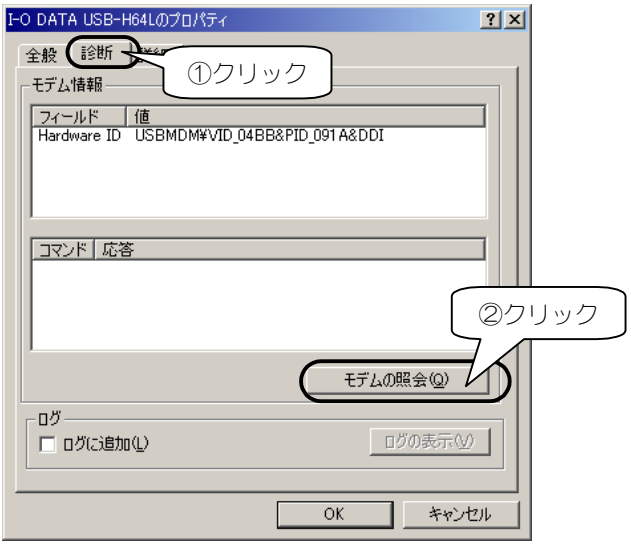
[全般]タブで、[ポートの最高速度]を選択肢中で一番速い速度に設定します。

最高速度には、選択できる速度のうち、最高の速度（115200bpsが望ましい）を設定しておくと、最大パフォーマンスが引き出せます。

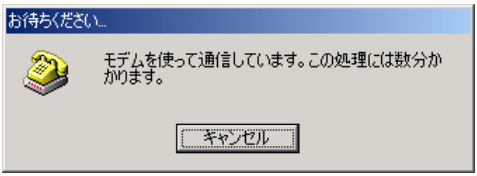


4 端末速度を設定したら、次に本製品とパソコンが正常に通信できるかを確認します。

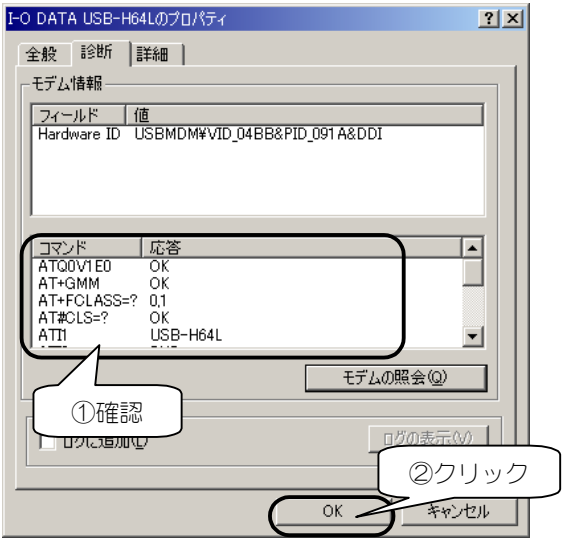
[診断]タブをクリックし、
[モデムの照会]ボタンをクリックします。



5 「お待ちください」と表示されます。
次ページの**6** の手順の画面が表示されるまで、そのままでお待ちください。



6 しばらくすると以下のように表示されます。
確認後、[OK]ボタンをクリックします。
※[コマンド][応答]の部分が真っ白でなく、[AT・・・・・]と英数字が表示されたら正常です。



「ポートが開けません」などと
表示された場合は…

【困ったときには】の
248 ページ
をご参照ください。

注意

・この通信テストはパソコンと本製品間の通信テストであり、電話機を介して通信するテストではありません。
・[応答]欄に[コマンドはサポートされていません]と表示される場合がありますが、、動作上は問題ありません。

7 [OK]ボタンをクリックし、
[電話とモデムのオプション]画面を閉じます。

ここまでで、本製品とパソコンが正しく通信できることが確認できました。
次に次ページで発信情報を設定してください。

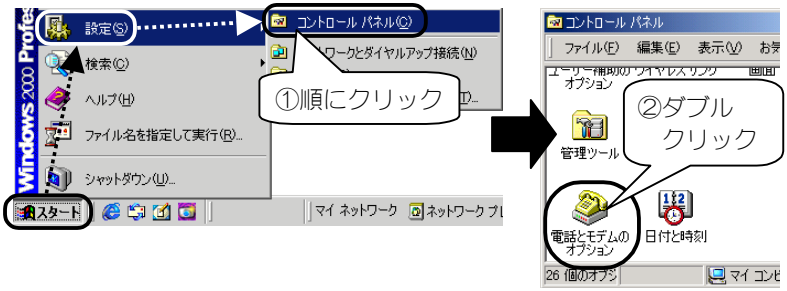
ステップ 4

準備編

発信情報を設定する

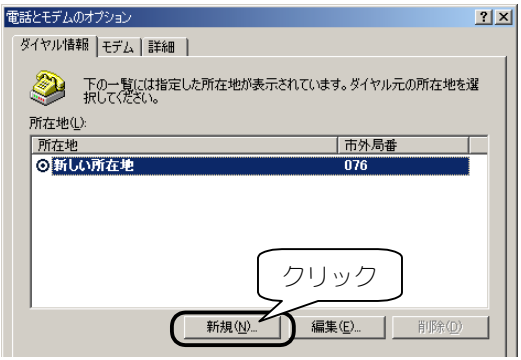
インターネットをはじめ通信ソフトなどを利用するには、パソコンから発信するための情報（発信情報）を設定しておく必要があります。
設定は、Windows の［電話とモデムのオプション］アイコンで行います。
本製品を USB ポートに差し込んだままで設定してください。

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックし、[電話とモデムのオプション]アイコンをダブルクリックします。



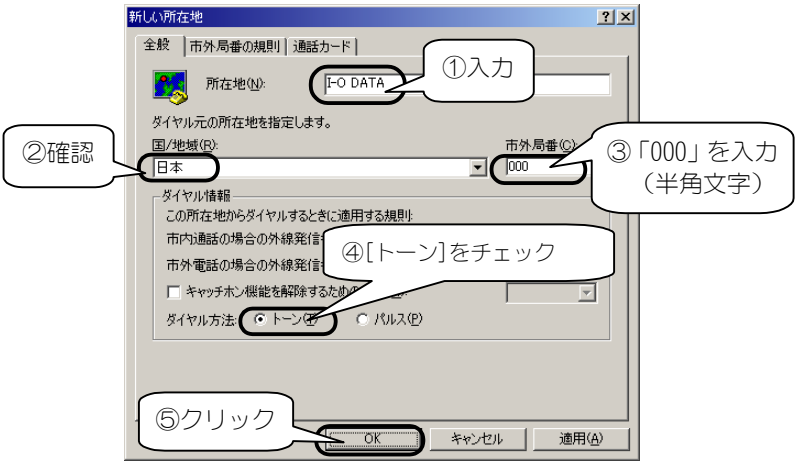
2 はじめて以下の[所在地]を設定する場合は、[新規]ボタンをクリックします。

以前に電話機で発信するための設定（所在地）を登録したことがある場合は、[新規]ボタンをクリックせずに、次ページ**4** の手順へ進んでください。
（一般公衆回線やISDN回線用の所在地とは設定内容が異なります。
この場合は新しく所在地を追加してください。）



3 [全般]タブで必要な情報を設定して、[OK]ボタンをクリックします。

No.	項目	設定内容
①	所在地	任意の名称(お好きな名称)を入力
②	国／地域	「日本」であることを確認
③	市外局番	「000」などの存在しない数値を入力(半角文字) ※PHS は市外局番から発信するので、このような仮の値を設定しておきます。 (設定しないと市外局番から発信できません。)
④	ダイヤル方法	[トーン]を選択



4 [OK]ボタンをクリックし、[電話とモデムのオプション]画面を閉じます。

ここまでで、本製品がパソコンに正しく認識され、使用できることが確認できました。
1度これらのインストールや設定を行えば、今後はパソコンを起動するだけで使えるようになります。
実際に本製品を使う前に、【ステップ5】(次ページ)を参照して、本製品の接続や取り外し方を確認しておいてください。

本製品を使って…

インターネットを楽しみたい	→【Windows 2000 でインターネットに接続するには】(85 ページ)へ
Lotus NOTES でモバイル通信したい	→【Lotus NOTES でモバイル通信したい】(266 ページ)へ

ステップ 5

準備編

接続/取り外しについて

本製品のパソコンへの接続および取り外しは、以下のいずれでも構いません。

・パソコンの電源を切っている状態で接続する、取り外す

・パソコンの電源が入っている状態で接続する、取り外す

パソコンの電源が入っている時に取り外す場合は、本製品を使用していない（回線切断中である）事を確認してから行ってください。

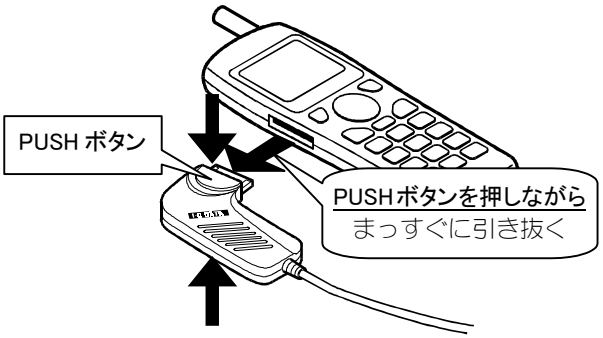
電話機から本製品を取り外す場合

電話機から本製品を取り外す際は、以下のように行ってください。

注意

本製品を取り外す場合は、PUSH ボタンを上下でつまんで（押しながら）まっすぐ引き抜いてください。（以下の図参照）
PUSH ボタンを押さずに無理に引き抜くと、ケーブルやコネクタが破損する原因になります。

電話機から取り外す場合



インターネット接続編

Windows 2000 で インターネットに接続するには

【準備編】（【ステップ１】(65 ページ)～【ステップ５】(84 ページ)）が終了したら、いよいよインターネットに接続してみましょう。

ステップ 1

接続前の準備 ……86ページ

インターネットに接続する上で必要な確認事項について説明します。

- プロバイダとの契約
- 通信方式の確認
- パソコン、本製品、電話機の準備

ステップ 2

接続に必要なソフトウェア……89ページ

インターネットに接続するために必要なソフトウェアについて説明します。

- ダイヤルアップ接続

ステップ 3

通信方式を設定する …… 103ページ

通信方式に応じた設定について説明します。

ステップ 4

インターネットを楽しもう…… 107ページ

【ステップ２】で設定した［ダイヤルアップ接続］で実際にインターネットに接続してみましょう。

ステップ 5

通信方式を変更する場合…… 114ページ

通信方式を変更する場合の手順について説明します。

ステップ 1

インターネット接続編

接続前の準備

インターネットに接続するには、以下をまず準備しておく必要があります。順にチェックしておいてください。

準備1：プロバイダとの契約

インターネット・サービスを受けるために、プロバイダとダイヤルアップ IP 接続の契約を行ってください。

契約時に入手した資料について

プロバイダとの契約後、パソコンからインターネット接続するために以下が記載されている資料を受け取ります。

パソコンにインターネット接続するための設定をする際（89 ページ【ステップ２】）、また、インターネットに接続する際（107 ページ【ステップ４】）に必要となりますので、準備しておいてください。

- ユーザー名
- パスワード
- 接続先の電話番号
- ネームサーバーアドレス※
  - プライマリ DNS サーバー
  - セカンダリ DNS サーバー

※ネームサーバーアドレス（プライマリ DNS サーバー、セカンダリ DNS サーバー）は、プロバイダによっては指定がない場合もあります。
指定がない場合は特に設定する必要はありません。

準備2：通信方式の確認

本製品は、以下の通信方式に対応しています。

・PIAFS 対応通信方式

DDI ポケットの通信方式	通信方式	最大速度
PIAFS 2.1 方式（初期設定）	回線交換	64kbps
PIAFS 1.0 方式		32kbps

・ISDN 同期 64kPPP 通信方式

DDI ポケットの通信方式	通信方式	最大速度
無線インターネット方式	回線交換	32kbps

・*アナログモデム用通信方式*

DDI ポケットの通信方式	通信方式	最大速度
無線モデム/FAX 方式	回線交換	14.4kbps



「PIAFS」とは
→「ピアフ」と読みます。PHS の端末を使ったデジタルデータ通信規格のことです。

本製品の初期設定時には、前ページの［PIAFS 2.1 方式］の設定になっていますが、［PIAFS 2.1 方式］でご利用になる場合は、以下のすべての条件を満たしていないと 64kbps での通信ができません。

・*プロバイダ(接続先の電話番号)が PIAFS 2.1 に対応している*
・*電話機が PIAFS 2.1 に対応している*
・*ご利用の場所が 64K サービスエリアである*

事前に確認しておいてください。
（通常、PIAFS 2.1 に対応している場合は、PIAFS 1.0 にも対応しています。）

※同じプロバイダであっても、PHS で接続する場合と、電話回線でつないだモデムや TA で接続する場合では、通信方式が違うため、アクセスポイント（電話番号）も異なる（別になっている）場合があります。
※複数のプロバイダに接続する場合にもそれぞれすべてのプロバイダの通信方式を確認しておいてください。



・プロバイダが PIAFS 2.1 に対応しているか、また、ご利用場所が 64k サービスエリアかは、プロバイダにご確認ください。
・電話機が PIAFS 2.1 に対応しているかは、電話機の取扱説明書、あるいは、電話機器メーカーにご確認ください。

準備3：パソコン、本製品、電話機の準備

パソコン、本製品、電話機があればインターネットに接続できます。
ただし、以下の確認を行っておいてください。

チェック1：電話機の電源

電話機の電源が入っていることを確認してください。

チェック2：電話機と本製品の接続

電話機と本製品が接続されていることを確認してください。

チェック3：電話機の電波の状態

電話機の電波の状態が良好なことを確認してください。

※電話機でその場から正常に通話できることを確認しておいてください。



電話機の電波が弱い場合は、正常にインターネットなどに接続できなかったり、通信中に切れる場合があります。アンテナレベルが最高になっていることを、電話機の液晶画面などで確認してから、インターネットなどに接続してください。

ステップ 2

インターネット接続編

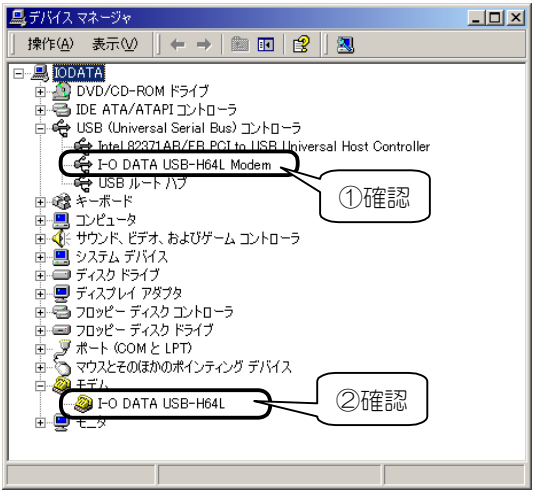
接続に必要なソフトウェア

インターネットに接続するには、以下および次ページのソフトウェアがインストールおよび設定されている必要があります。

①本製品のドライバソフトウェア

【インストールする】(65 ページ)でインストールした本製品を使用するためのソフトウェアです。
【インストールは正常ですか？】(76 ページ)で正常にインストールされているか確認しておきましょう。

[デバイスマネージャ]画面での以下の表示の確認
①[USB (Universal Serial Bus) コントローラ]の下の
[I-O DATA USB-H64L Modem]の表示
②[モデム]の下の[I-O DATA USB-H64L]の表示



次ページ以降で
説明します。

②ダイヤルアップを行うためのソフトウェア

ダイヤルアップを行ってプロバイダに接続するためのソフトウェアです。
詳細な設定は、次ページ以降を参照してください。

③Web ブラウザやメールソフトウェア

インターネットに接続する際に特に必要ではありませんが、接続後に、ホームページなどを見るためのソフトウェアです。
Windows 2000 には、Web ブラウザとして Internet Explorer が標準でインストールされています。

ここでは、次ページ以降で[ダイヤルアップ接続]の設定について説明します。
はじめてインターネットに接続する場合、また、以前の設定はそのまま残して新しい設定を作る場合にも、次ページ以降を参照してください。

[ダイヤルアップ接続]を設定する

インターネットに接続するには、パソコンからプロバイダなどにダイヤルアップするためのソフトウェア[ダイヤルアップ接続]を設定する必要があります。
本製品を USB ポートに接続したままで設定してください。

はじめて［ダイヤルアップ接続］の設定を行う場合、または、以前の設定はそのまま残して新しい設定を作る場合は、以下の【新しい設定を作るとき】を行います。

参考 1

ダイヤルアップとは
→電話回線などの公衆網を利用して、インターネットに接続できる通信業者（プロバイダ）に接続すること。

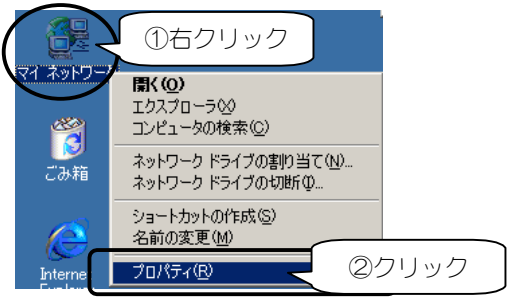
参考 2

すでにダイヤルアップ接続（インターネット）の設定を行っていて、設定内容を変更する場合は 99 ページ【設定を変更するとき】をご覧ください。

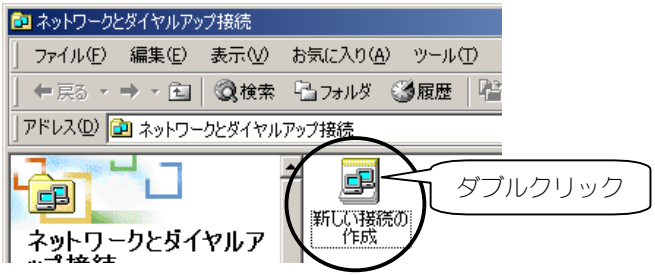
新しい設定を作るとき

1 インターネットプロバイダから入手した[ユーザー名]や[パスワード]などが記載されている資料をご用意ください。

2 [マイネットワーク]を右クリックし、
メニュー内の[プロパティ]をクリックします。



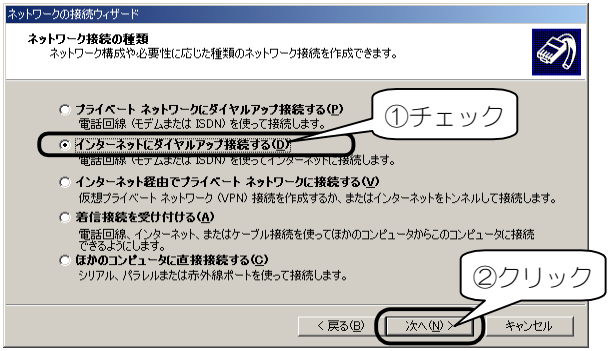
3　[新しい接続の作成]アイコンをダブルクリックします。



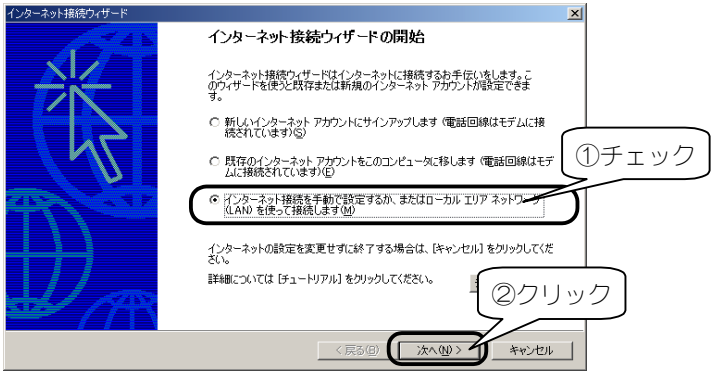
4　[次へ]ボタンをクリックします。



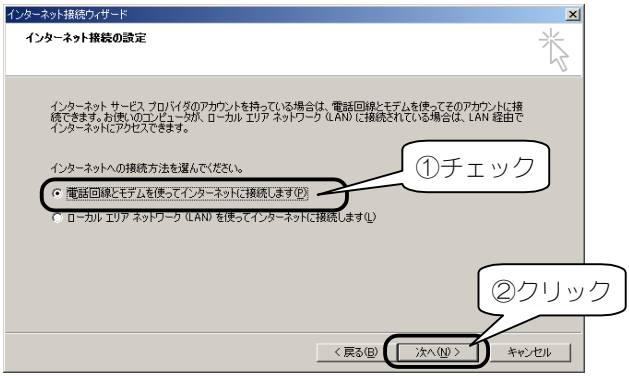
5　[インターネットにダイヤルアップ接続する]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



6 [インターネット接続を手動で設定するか、……]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



7 [電話回線とモデムを使ってインターネットに…]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



8 複数のモデムがインストールされている場合は以下の画面が表示されますので、[I-O DATA USB-H64L]を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。



9 以下のようにプロバイダの[電話番号]などを設定します。

①[市外局番とダイヤル情報を使う]をチェックします。

②[市外局番]欄には、接続先の市外局番を入力します。

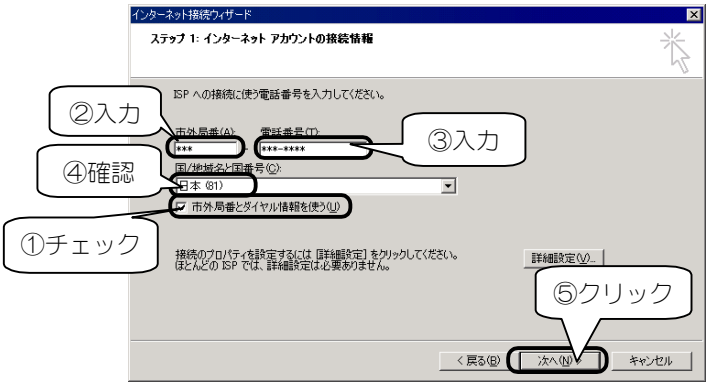
※ダイヤル先が市内であっても、必ず市外局番から入力してください。

③[電話番号]欄には、接続先の電話番号を入力します。

④[国/地域名と国番号]欄は、「日本」であることを確認します。

[電話番号]以外に、プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合は次ページを参照してください。

設定後、[次へ]ボタンをクリックします。



注意

[市外局番][電話番号]欄の「*」「***-****」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号を入力してください。**

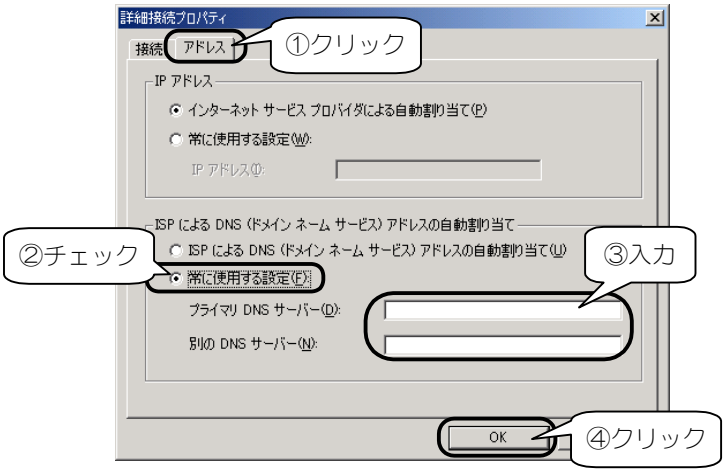
●プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合

1 前ページ**9** の手順の画面で、[詳細設定]ボタンをクリックします。

2 [詳細接続プロパティ]画面が表示されますので、以下の手順で設定します。

①[アドレス]タブをクリックします。
②[常に使用する設定]をチェックします。
③[プライマリ DNS サーバー]欄にプライマリ DNS を、[別の DNS サーバー]欄にセカンダリ DNS の値を入力します。

設定後、[OK]ボタンをクリックします。



3 前ページ**9** の手順の画面に戻りますので、[次へ]ボタンをクリックして、次ページ**10** の手順へお進みください。

注意

・ネームサーバーアドレスの入力内容がわからない場合は、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。
・プロバイダによっては、IP アドレスの設定が必要な場合もあります。必要な設定内容については、ご契約のプロバイダに確認してください。

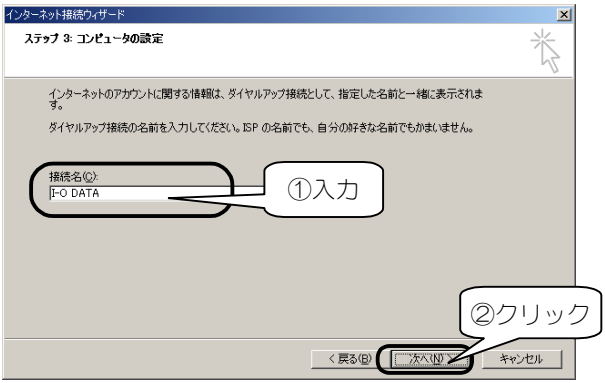
10 プロバイダから案内された[ユーザー名]や[パスワード]を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。



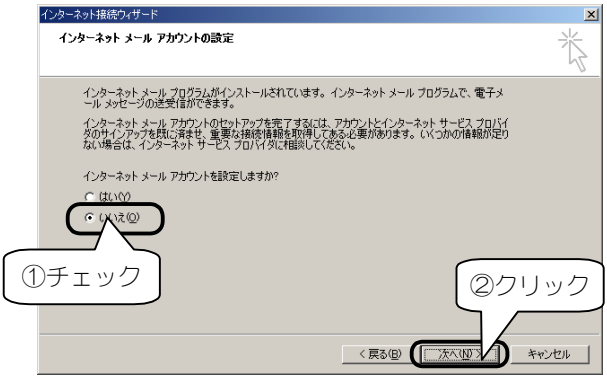
注意

パスワードは[*****]と表示され、入力内容が確認できないので、アルファベットの大文字小文字などを間違えないように注意してください。

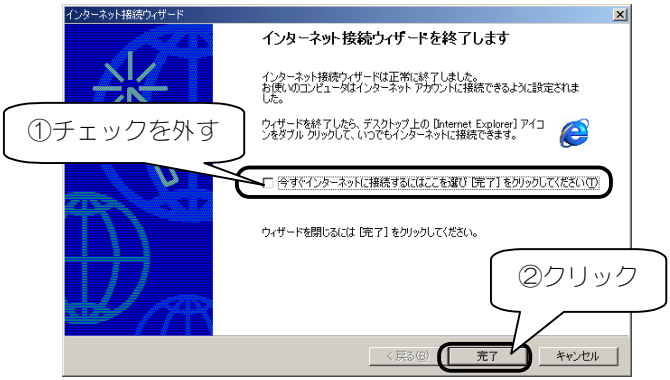
11 [接続名]欄に任意の接続名（プロバイダの名前など、お好きな名前）を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。



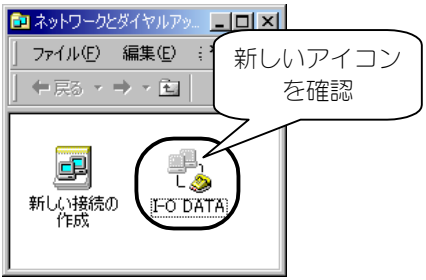
12 [いいえ]をチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。
メールアカウントの設定はメールソフト側で行えるので、本書では、ここで設定は行いません。



13 [今すぐインターネットに…]のチェックを外して、
[完了]ボタンをクリックします。



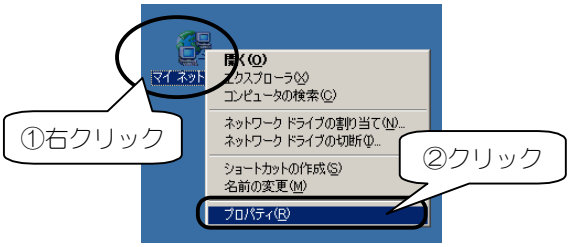
14 新しく作成された接続アイコンを確認します。



以上で、[ダイヤルアップ接続]の設定は終了です。
次に通信方式の設定を行います。
103 ページ【通信方式を設定する】にお進みください。

設定を変更するとき

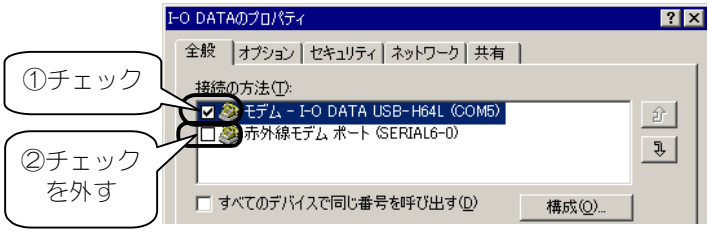
1 [マイネットワーク]アイコンを右クリックして、
表示された[プロパティ]をクリックします。



2 変更したい接続のアイコンを右クリックして、
表示された[プロパティ]をクリックします。

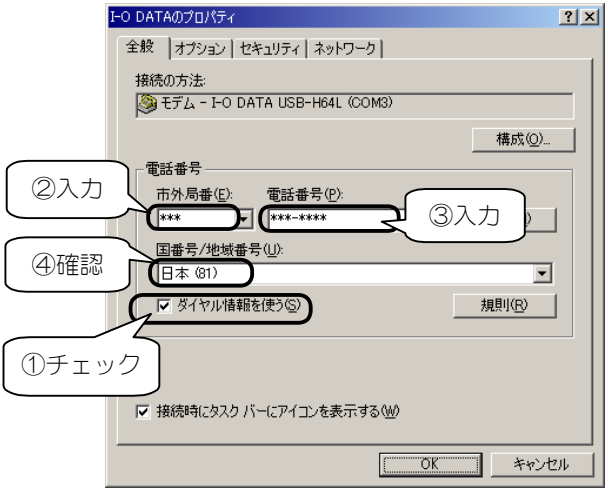


3 [接続の方法]欄に複数のモデムが表示された場合、
[I-O DATA USB-H64L]のみをチェックします。（他のモデムのチェックは外します。）



4 以下のようにプロバイダの電話番号などを入力します。

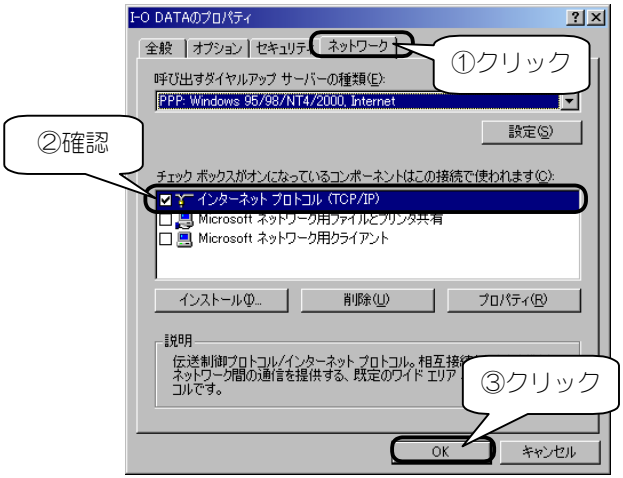
①[ダイヤル情報を使う]をチェックします。
②[市外局番]欄には、接続先の市外局番を入力します。
※接続先が市内でも、必ず市外局番を入力してください。
③[電話番号]欄には、接続先の電話番号を入力します。
④[国番号/地域番号]欄は、「日本」であることを確認します。



注意

[市外局番][電話番号]欄の「*」「***-****」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号を入力してください。**

5 [ネットワーク]タブをクリックして、
[インターネットプロトコル(TCP/IP)]のみにチェックが付いていることを確認します。
プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合は次ページを参照してください。
[OK]ボタンをクリックします。



以上で、[ダイヤルアップ接続]の設定は終了です。
次に通信方式の設定を行います。
103 ページ【通信方式を設定する】にお進みください。

●プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合

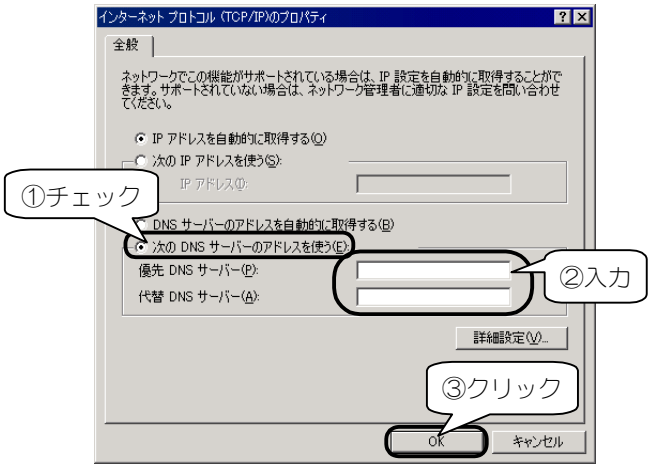
1 前ページ**5**の手順の画面で、[インターネットプロトコル(TCP/IP)]をクリックした後、[プロパティ]ボタンをクリックします。

2 [インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ]画面が表示されますので、以下を設定します。

①[次の DNS サーバーのアドレスを使う]をチェックする

②[優先 DNS サーバー]欄にプライマリ DNS を、[代替 DNS サーバー]欄にセカンダリ DNS の値を入力する

設定後、[OK]ボタンをクリックします。



3 前ページ**5**の手順の画面に戻りますので、[OK]ボタンをクリックして画面を閉じます。

注意

・ネームサーバーアドレスの入力内容がわからない場合は、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。
・プロバイダによっては、IP アドレスの設定が必要な場合もあります。必要な設定内容については、ご契約のプロバイダに確認してください。

ステップ 3

インターネット接続編

通信方式を設定する

本製品は、以下の通信方式に対応しています。

・*PIAFS 対応通信方式*

DDI ポケットの通信方式	通信方式	最大速度
PIAFS 2.1 方式（初期設定）	回線交換	64kbps
PIAFS 1.0 方式		32kbps

・*ISDN 同期 64kPPP 通信方式*

DDI ポケットの通信方式	通信方式	最大速度
無線インターネット方式	回線交換	32kbps

・*アナログモデム用通信方式*

DDI ポケットの通信方式	通信方式	最大速度
無線モデム/FAX 方式	回線交換	14.4kbps

【ステップ２】までの手順では、本製品は、上記の[PIAFS 2.1 方式]で使用する設定になっていますが、[PIAFS 2.1 方式]でご利用になる場合は、以下のすべての条件を満たしていないと 64kbps での通信ができません。

- *プロバイダ(接続先の電話番号)が PIAFS 2.1 に対応している*
- *電話機が PIAFS 2.1 に対応している*
- *ご利用の場所が 64k サービスエリアである*

上記を満たしている場合は、【ステップ４】107 ページへお進みください。
上記を満たしていない場合は、次ページを参照して、設定し直してください。

※同じプロバイダであっても、PHS で接続する場合と、電話回線でつないだモデムや TA で接続する場合では、通信方式が違うため、アクセスポイント（電話番号）も異なる（別になっている）場合があります。
※複数のプロバイダに接続する場合にもそれぞれすべてのプロバイダの通信方式を確認しておいてください。

注意

・プロバイダが PIAFS 2.1 に対応しているか、また、ご利用場所が 64k サービスエリアかは、プロバイダにご確認ください。
・電話機が PIAFS 2.1 に対応しているかは、電話機の取扱説明書、あるいは、電話機器メーカーにご確認ください。

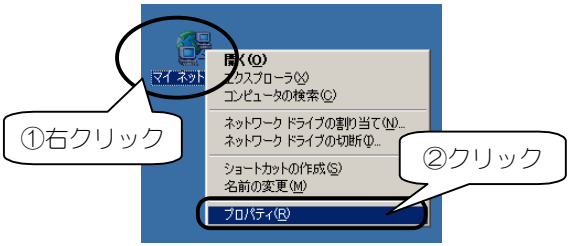
参考

ここでの設定は、1つのプロバイダのみに接続する場合（1つの通信方式しか使用しない場合）の設定です。
複数のプロバイダに接続する場合など、プロバイダ毎に通信方式を変更したい場合は、接続する際に設定し直すこともできます。手順については、【ステップ5　通信方式を変更する場合】（114 ページ）を参照してください。

通信方式に応じて設定する

通信方式に応じた設定をします。
設定は、【ステップ2】で作成した［ダイヤルアップ接続］アイコンで行います。本製品を USB ポートに接続したままで設定してください。

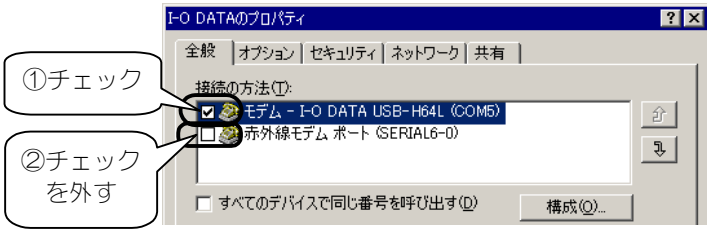
1 ［マイネットワーク］アイコンを右クリックして、
表示された［プロパティ］をクリックします。



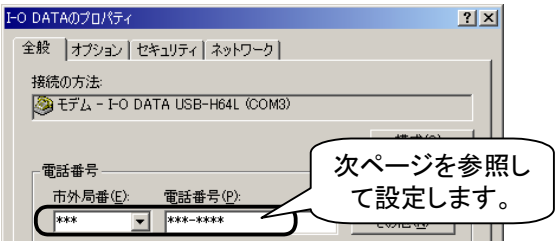
2 作成した接続のアイコンを右クリックして、
表示された[プロパティ]をクリックします。



3 [接続の方法]欄に複数のモデムが表示された場合、
[I-O DATA USB-H64L]のみをチェックします。（他のモデムのチェックは外します。）



4 [市外局番][電話番号]欄に次ページの【通信方式に応じた設定】を行います。
設定後、[OK]ボタンをクリックして画面を閉じてください。



注意

[市外局番][電話番号]欄の「*」「***-****」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号が表示されていることを確認してください。**

●通信方式に応じた設定

通信方式に応じた設定は、前ページ画面の［市外局番］［電話番号］欄を以下のお使いの通信方式に応じた電話番号に変更後、さらに電話番号の末尾に以下の**【追加する文字】(すべて半角)**を追加すれば設定できます。

・PIAFS 対応の電話番号の場合

	追加する文字
PIAFS 2.1 方式(初期設定)の場合→	追加なし （電話番号のみ）
PIAFS 1.0 方式の場合　→	##3

・ISDN 用の電話番号の場合

	追加する文字
無線インターネット方式の場合　→	##2

・アナログモデム用の電話番号の場合

	追加する文字
無線モデム/FAX 方式の場合　→	##1

入力例)上記[アナログモデム用の電話番号]の場合



①[アナログモデム用]の電話番号に変更します。

②電話番号の後に##1（すべて半角）を入力します。

以上で通信方式に応じた設定は終了です。
次ページ【インターネットを楽しもう】を参照して、さっそくインターネットに接続してみましょう。

ステップ 4

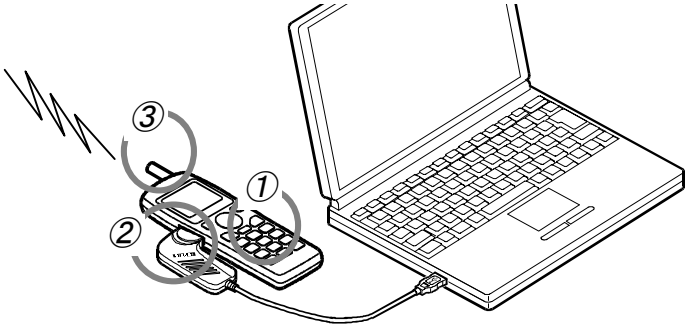
インターネット接続編

インターネットを楽しもう

ここまでの設定がすべて終了すれば、いよいよインターネットへの接続です。

接続する際のチェック項目

インターネットに接続する際は、電話機を操作する必要は特にありませんが、毎回以下を確認してから、本製品をパソコンに取り付け、インターネットに接続してください。



チェック①：電話機の電源

電話機の電源が入っていることを確認してください。

チェック②：電話機と本製品の接続

電話機と本製品が接続されていることを確認してください。

※電話機の電源が入っている状態でも問題ありません。

チェック③：電話機の電波の状態

電話機の電波の状態が良好なことを確認してください。

※電話機でその場から正常に通話できることを確認しておいてください。

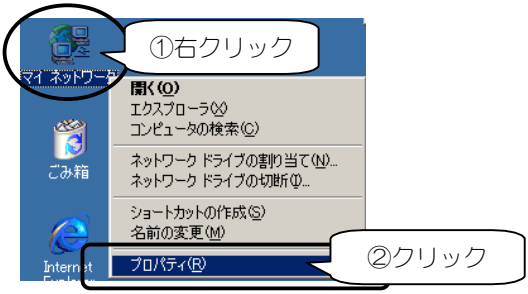
注意

電話機の電波が弱い場合は、正常にインターネットなどに接続できなかったり、通信中に切れる場合があります。アンテナレベルが最高になっていることを、電話機の液晶画面などで確認してから、インターネットなどに接続してください。

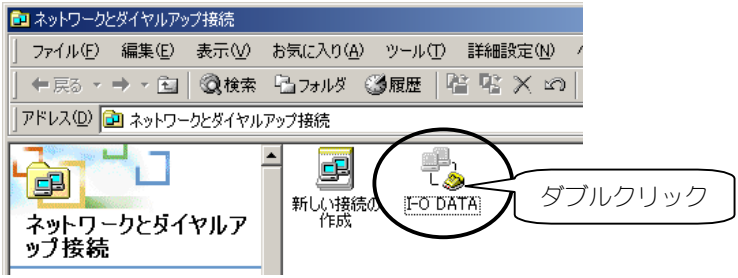
インターネットに接続する

インターネットへの接続は、【[ダイヤルアップ接続] を設定する】(91 ページ) で作成した[ダイヤルアップ接続]で行います。

1 [マイネットワーク]を右クリックし、
メニュー内の[プロパティ]をクリックします。

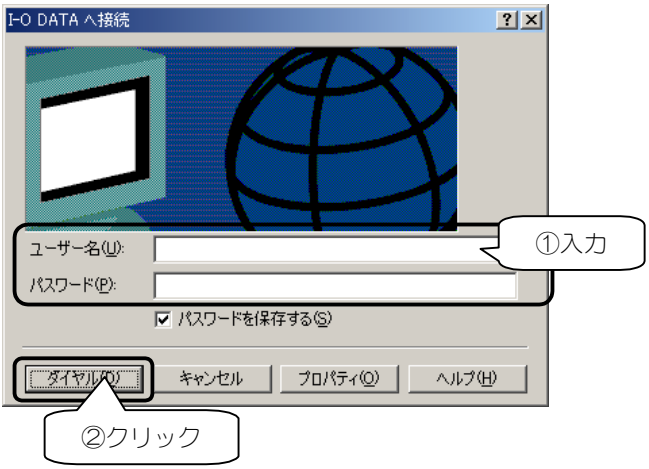


2 新しく作成した接続のアイコンをダブルクリックします。



3 プロバイダから通知された[ユーザー名]と[パスワード]を入力し、[ダイヤル]ボタンをクリックします。

[ダイヤル]ボタンをクリックすると、指定した電話番号（次ページの手順で確認できます）にかかりプロバイダと通信を開始します。



注意

・パスワードは[*****]と表示されます。
・[パスワードを保存する]をチェックすると、次回からパスワードが[*]印で表示されますので、パスワードを入力する必要がありません。セキュリティの必要に応じてお使いください。

参考

接続先の電話番号を確認したい、または電話番号を変更したい場合は
→次ページを参照してください。

●接続先の電話番号を確認したい、または変更したい場合

1 前ページ**3**の手順の画面で、[プロパティ]ボタンをクリックします。

2 以下の各設定を行い、[OK]ボタンをクリックします。

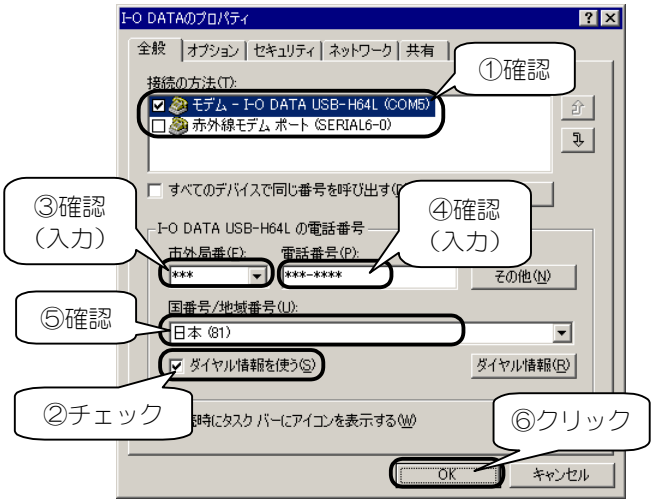
①[接続の方法]欄は、[I-O DATA USB-H64L]が表示されていること（複数のモデムがある場合は[I-O DATA USB-H64L]のみがチェックされていること）を確認します。

②[ダイヤル情報を使う]をチェックします。

③[市外局番]欄には、接続先の市外局番を確認または入力します。

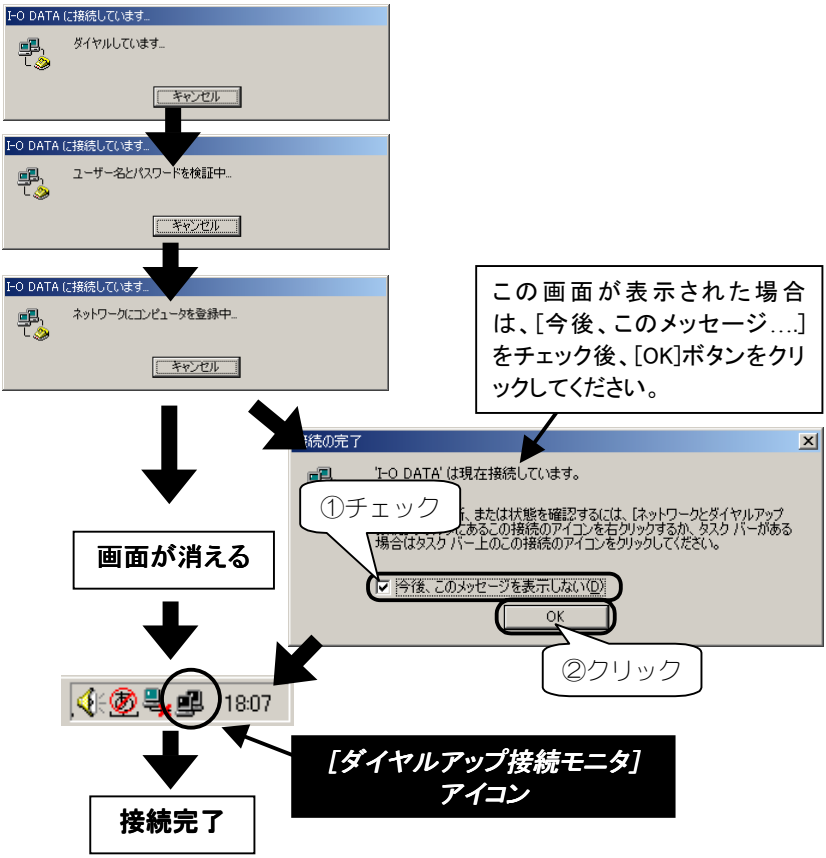
④[電話番号]欄には、接続先の電話番号を確認または入力します。

⑤[国番号/地域番号]欄は、「日本」であることを確認します。



3 前ページ**3**の手順の画面に戻りますので、[ダイヤル]ボタンをクリックして、インターネットに接続しましょう。

4 しばらくしてパソコンの画面右下のタスクトレイに[ダイヤルアップ接続モニタ]アイコンが表示されたら、接続完了です。



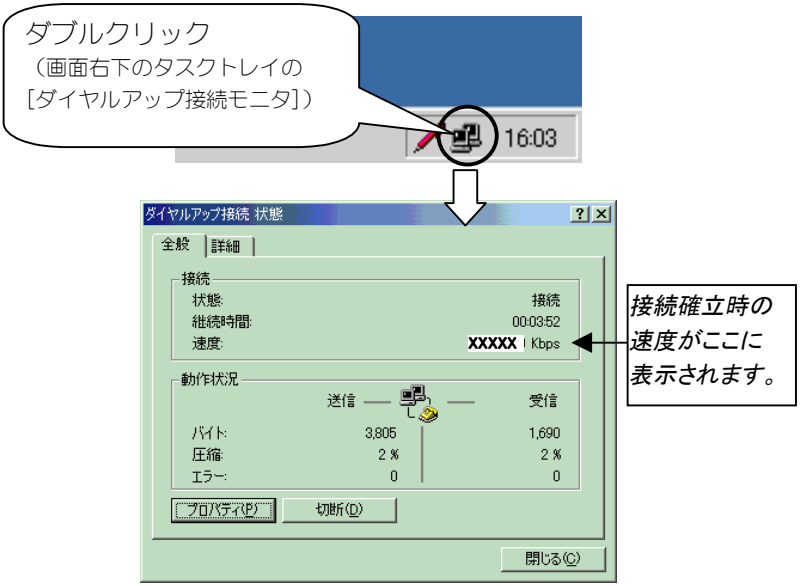
「回線が使用中です」などと表示された場合は…

【困ったときには】の 249 ページをご参照ください。

[ダイヤルアップ接続モニタ]アイコンが表示されない場合は…

【困ったときには】の 251 ページをご参照ください。

5 接続状況は、[ダイヤルアップ接続モニタ]アイコンを
ダブルクリックすれば確認できます。



6 ブラウザや電子メールソフトを起動してお楽しみください。
接続中は、ずっと[ダイヤルアップ接続モニタ]が表示されています。

インターネットを終了する

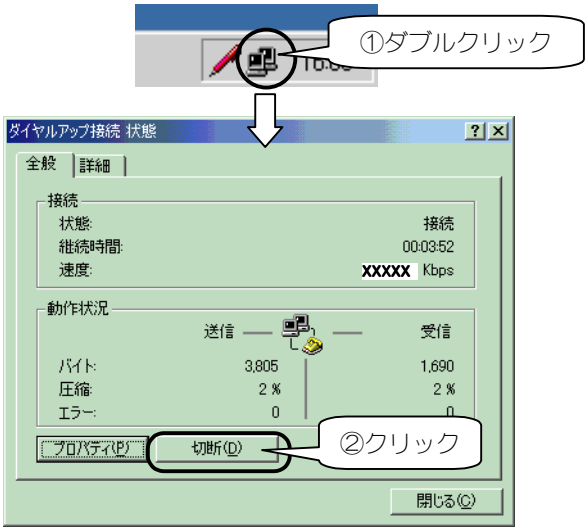
インターネットを終了する場合は、ブラウザや電子メールを終了するだけでなく、必ず以下の手順を行ってください。

注意

・ブラウザや電子メールを終わっただけでは電話回線は切断されません。必ず以下の[切断]ボタンをクリックしてください。クリック後、電話機の通話が終わっていること、また、[ダイヤルアップ接続モニタ]が消えることを必ず確認してください。
・電話機の通話だけを切ってもパソコン側の通信は終了しません。必ずパソコン側で切断してください。

1 インターネット利用が終わったら、画面右下の[ダイヤルアップ接続モニタ]をダブルクリックし、[切断]をクリックします。

これで電話回線が切断され、[ダイヤルアップ接続モニタ]が消えます。
電話機の通話も自動的に切断されますので、液晶表示を見て通話が終わっていることを確認してください。



以上で、インターネットは終了できました。

ステップ 5

インターネット接続編

通信方式を変更する場合

通信方式（PIAFS 2.1、PIAFS 1.0）は、【ステップ３】（103 ページ）で設定することができますが、複数の通信方式でご利用になる場合などに、接続する際に通信方式を設定することもできます。

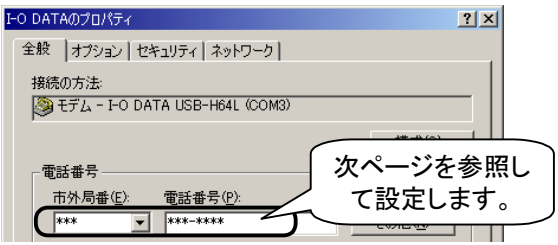
注意

以下の設定は、1 回限りなので、インターネットへの接続が終了すると元の設定に戻ります。
設定を保存したい場合は、【ステップ3】（103 ページ）の手順で設定してください。

1 以下の接続画面（109ページ*3* の手順の画面）で［プロパティ］ボタンをクリックします。



2 ［市外局番］［電話番号］欄に次ページ【通信方式に応じた設定】を行います。
設定後、［OK］ボタンをクリックして画面を閉じてください。



注意

[市外局番][電話番号]欄の「*」「***-****」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号が表示されていることを確認してください。**

●通信方式に応じた設定

通信方式に応じた設定は、前ページ画面の［市外局番］［電話番号］欄を以下のお使いの通信方式に応じた電話番号に変更後、さらに電話番号の末尾に以下の【追加する文字】(すべて半角)を追加すれば設定できます。

・PIAFS 対応の電話番号の場合

	追加する文字
PIAFS 2.1 方式(初期設定)の場合→	追加なし （電話番号のみ）
PIAFS 1.0 方式の場合　→	##3

・ISDN 用の電話番号の場合

	追加する文字
無線インターネット方式の場合　→	##2

・アナログモデム用の電話番号の場合

	追加する文字
無線モデム/FAX 方式の場合　→	##1

入力例)上記[アナログモデム用の電話番号]の場合



①[アナログモデム用]の電話番号に変更します。

②電話番号の後に##1 （すべて半角）を入力します。

3　[ユーザー名][パスワード]を入力後、[ダイヤル]ボタンをクリックすれば、設定した通信方式でインターネットに接続します。

MEMO

4 Windows Me で使うには

～ *準備編* ～

本製品で通信できるまでの流れ…… 118ページ
ステップ1 インストールする …… 119ページ
ステップ2 インストールは正常ですか？126ページ
ステップ3 端末速度を設定する…… 128ページ
ステップ4 発信情報を設定する…… 132ページ
ステップ5 接続/取り外しについて … 135ページ

～ *インターネット接続編* ～

Windows Me でインターネットに
接続するには・ 136ページ
ステップ1 接続前の準備…… 137ページ
ステップ2 接続に必要なソフトウェア・ 140ページ
ステップ3 通信方式を設定する…… 150ページ
ステップ4 インターネットを楽しもう … 154ページ
ステップ5 通信方式を変更する場合・ 159ページ

準備編

本製品で通信できるまでの流れ

本製品を利用して、インターネットをはじめ通信ソフトなどを使用するには、最初に本製品を使用できるようにする設定、またパソコン側での設定が必要です。
ここでは、本製品を使用して、パソコンから通信できるようにするまでの手順について説明します。
以下の流れに沿ってお進みください。

ステップ1

インストールする ····· 119ページ
本製品を使用するにはサポートソフトのインストールが必要です。ここではそのインストール手順について説明します。

ステップ2

インストールは正常ですか？ ····· 126ページ
【ステップ1】でのインストールが正常にできたかの確認方法について説明します。

ステップ3

端末速度を設定する ····· 128ページ
本製品とパソコン間の速度の設定手順について説明します。

ステップ4

発信情報を設定する ····· 132ページ
パソコンから発信するための情報の設定手順について説明します。

ステップ5

接続/取り外しについて ····· 135ページ
本製品をUSBポートに接続する場合、取り外す場合の注意について説明します。

ステップ 1

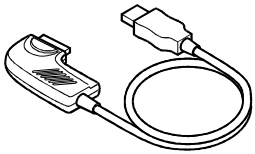
準備編

インストールする

本製品を使用するには、まず、「サポートソフト」ディスクのインストールが必要です。
次ページの手順でインストールしてください。

用意するもの

・本製品



・添付の「サポートソフト」CD-ROM



・電話機



※本書で説明している電話機のイラストは一例です。
お使いの機種により、異なります。
また、本製品との接続用コネクタの場所も機種により異なります。

注意

USB ポートが1つのみのパソコンで、CD-ROM ドライブを USB ポートでお使いの方は、インストール時に CD-ROM ドライブが使えません。
本製品を接続する前に、5ページの手順で「サポートソフト」CD-ROM の内容をハードディスクにコピーしてください。
次ページ以降では、「サポートソフト」CD-ROM の挿入は不要となります。また、123ページ 8 の手順で指定するフォルダは、コピーしたフォルダの[WINME]フォルダを指定してください。

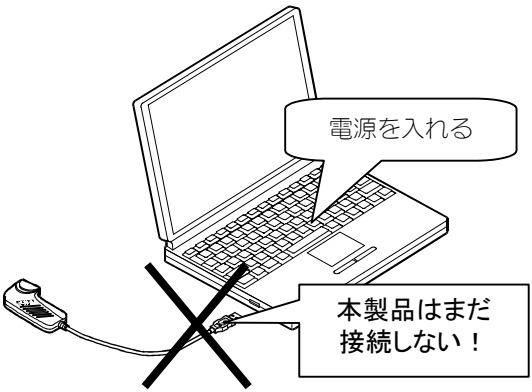
「サポートソフト」をインストールする

本製品を使用するには、「サポートソフト」CD-ROM 内のドライバソフトを
パソコンにインストールする必要があります。
ここでは、そのインストール手順について説明します。
インストール作業は、はじめて本製品を接続したときだけ行います。
次回からは、パソコンを起動すれば本製品を使用できます。

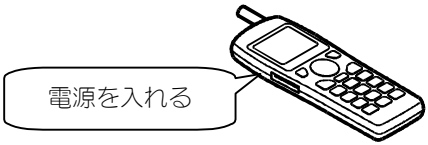
注意

インストールする際は、パソコンの電源を入れ、Windows が起動してから本製品を接続します。

1　本製品を差し込まずに、パソコンの電源を入れ
Windows Meを起動します。



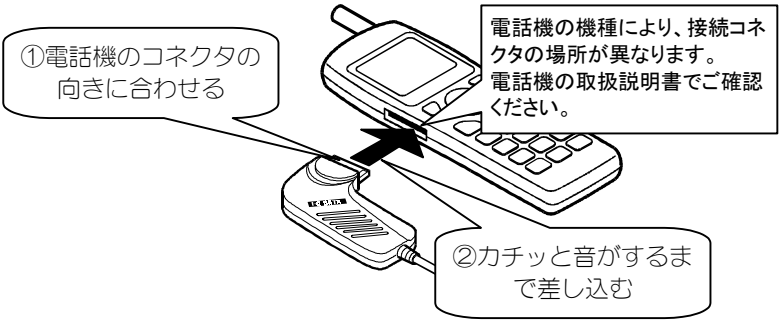
2　電話機の電源を入れます。



参考

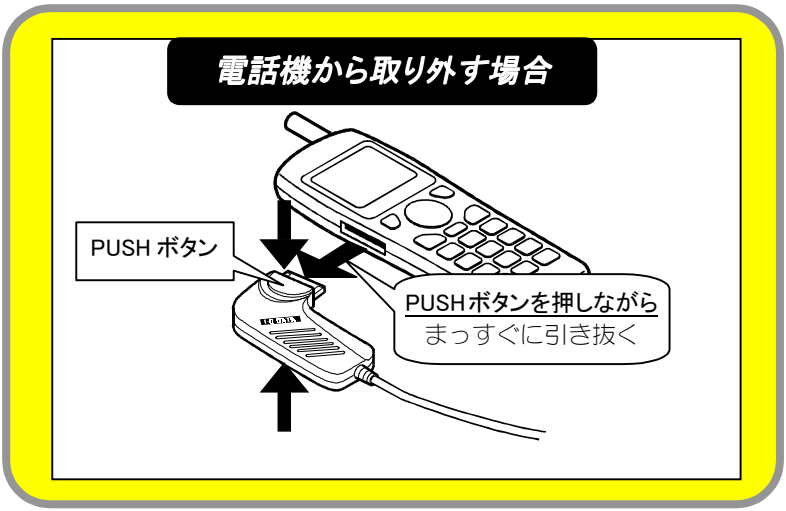
次ページ3 の手順で電話機と本製品を接続しますが、電話機の電源が入っている状態でも問題ありません。（接続後に電話機の電源を入れることもできます。）

3 電話機の接続コネクタに付いているカバーを取り外し、本製品を接続します。



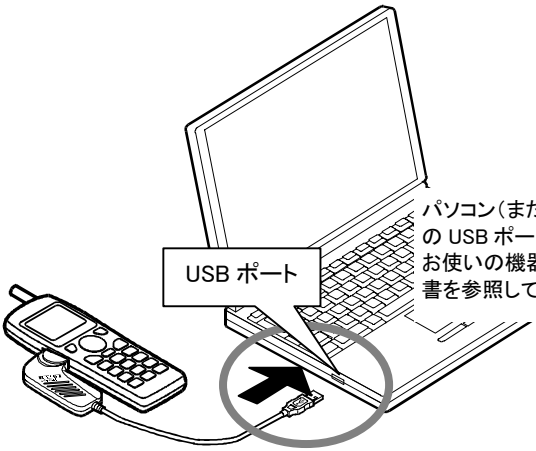
注意

・本製品と電話機を接続する場合は、コネクタの向きに注意してください。
向きが違ったまま無理に差し込むと故障の原因になります。電話機によってコネクタの場所や向きが異なりますので、電話機の取扱説明書で必ず確認してください。
・本製品を取り外す場合は、PUSH ボタンを上下でつまんで（押しながら）まっすぐ引き抜いてください。（以下の図参照）
PUSH ボタンを押さずに無理に引き抜くと、ケーブルやコネクタが破損する原因になります。



4 Windows Me のデスクトップ画面が表示されていることを確認後、パソコン（または USB ハブ）の USB ポートに、本製品の USB コネクタを差し込みます。

USBコネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。



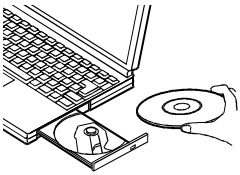
5 しばらくすると以下の画面が表示されますので、[ドライバの場所を指定する]をチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。



このインストール画面が表示されない場合は…

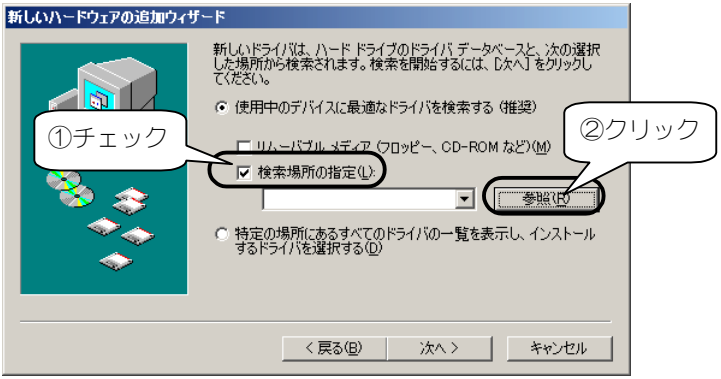
【困ったときには】の 243 ページをご参照ください。

6 「サポートソフト」CD-ROM を
CD-ROMドライブにセットします。



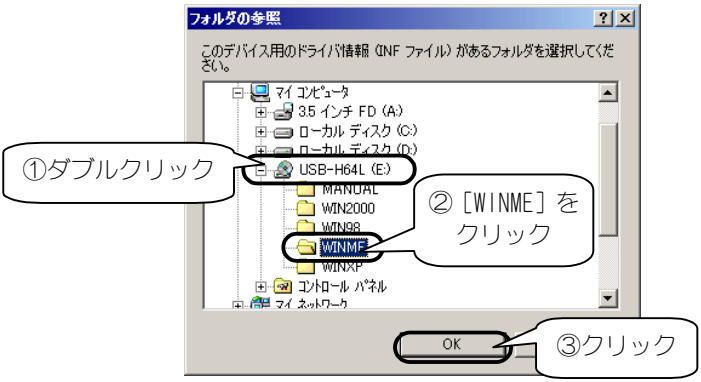
「サポートソフト」CD-ROM

7 [検索場所の指定]のみをチェックして、
[参照]ボタンをクリックします。

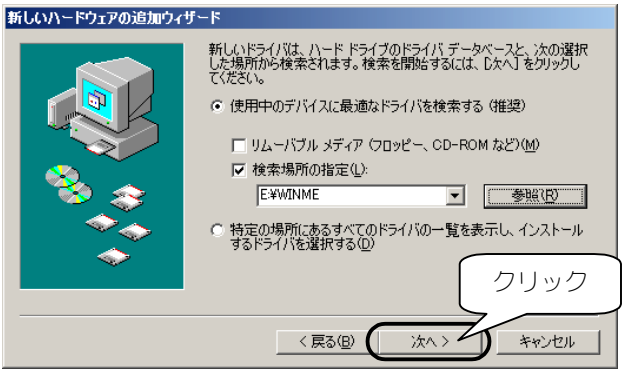


8 CD-ROMドライブ(USB-H64L)の[WINME]フォルダを指定して、
[OK]ボタンをクリックします。

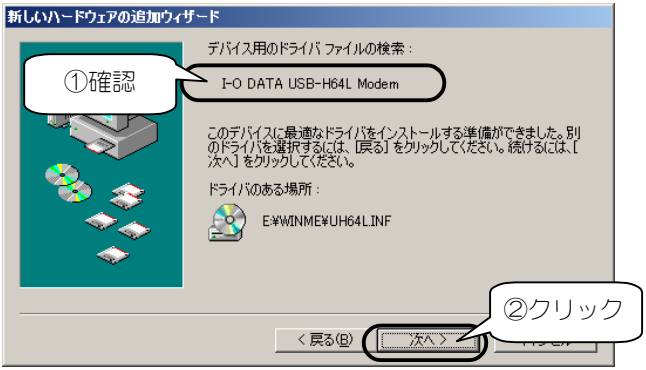
「サポートソフト」を、お使いのパソコンのハードディスクにコピーした場合は
→[参照]ボタンをクリック後、以下の手順①でコピー先のハードディスクを選択し、
[WINME]フォルダを指定します。



9　[次へ]ボタンをクリックします。



10　[I-O DATA USB-H64L Modem]と表示されていることを確認して、[次へ]ボタンをクリックします。



「お使いのデバイスに関する情報が見つかりません」と表示された場合は…

【困ったときには】の 245 ページをご参照ください。

「このデバイス用のドライバが見つかりませんでした」と表示された場合は…

【困ったときには】の 246 ページをご参照ください。

11 [完了]ボタンをクリックします。



12 この後、[I-O DATA USB-H64L Modem]の組み込み画面が表示され、自動的に組み込みを行います。

13 しばらくして表示画面が消えたら、インストールは終了です。
「サポートソフト」CD-ROMを取り出します。

以上でインストールは終了です。
次は正しくインストールできたかを確認します。
次ページ【インストールは正常ですか？】へお進みください。

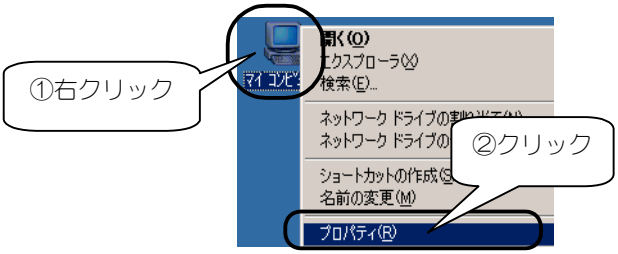
ステップ 2

準備編

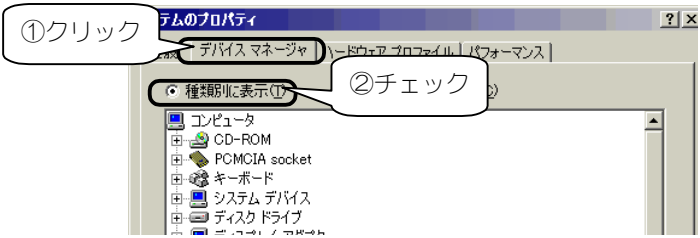
インストールは正常ですか？

【ステップ1】でのインストールが正常に終了すると、パソコンが本製品を正しく認識します。
ここでは、「***パソコンが本製品を正しく認識しているか***」を Windows 上で確認します。
本製品を USB ポートに差し込んだままで確認してください。

1 [マイコンピュータ]を右クリックして、
[プロパティ]をクリックします。



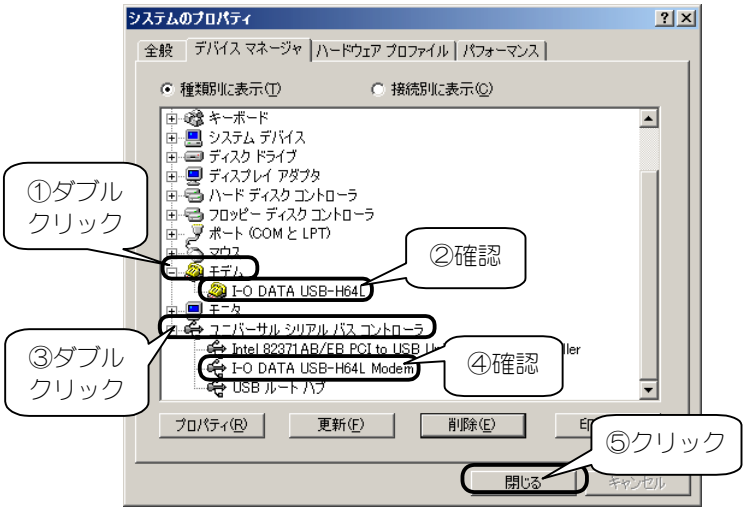
2 [デバイスマネージャ]タブをクリックし、
[種類別に表示]をチェックします。



3 以下を確認して[OK]ボタンをクリックします。

・[モデム]をダブルクリックして、
[I-O DATA USB-H64L]が表示されていることを確認します。

・[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]をダブルクリックして、
[I-O DATA USB-H64L Modem]が表示されていることを確認します。



「I-O DATA USB-H64L Modem」が表示されない場合は… → 【困ったときには】の 246 ページをご参照ください。

「I-O DATA USB-H64L」が表示されない場合は… → 【困ったときには】の 247 ページをご参照ください。

「I-O DATA USB-H64L Modem」や「I-O DATA USB-H64L」の頭に[！]マークがある場合は… → 【困ったときには】の 247 ページをご参照ください。

4 [OK]ボタンをクリックして、
[システムのプロパティ]画面を閉じます。

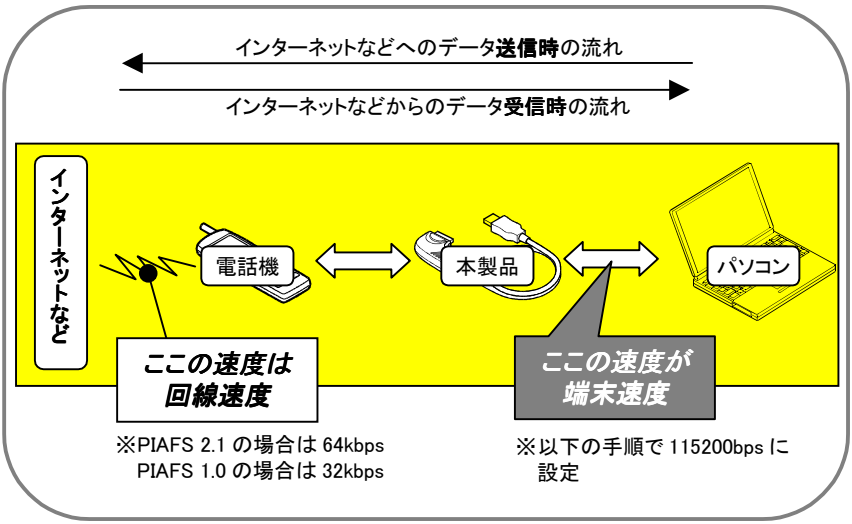
これでサポートソフトが正しくインストールされていることが確認できました。
次に端末速度の設定を行います。次ページへお進みください。

ステップ 3

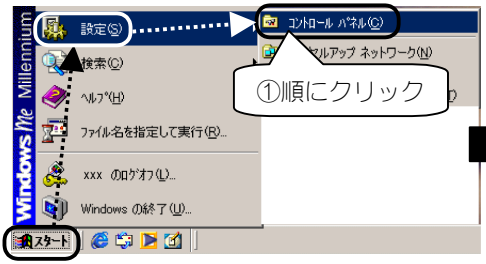
準備編

端末速度を設定する

インストールが正常なことを確認したら、次に本製品とパソコン間の速度（**端末速度**）を設定します。
設定後、正常に本製品とパソコンが通信できるかを確認します。
設定と確認は、Windows の［モデム］アイコンで行います。
本製品を USB ポートに差し込んだままで設定および確認してください。

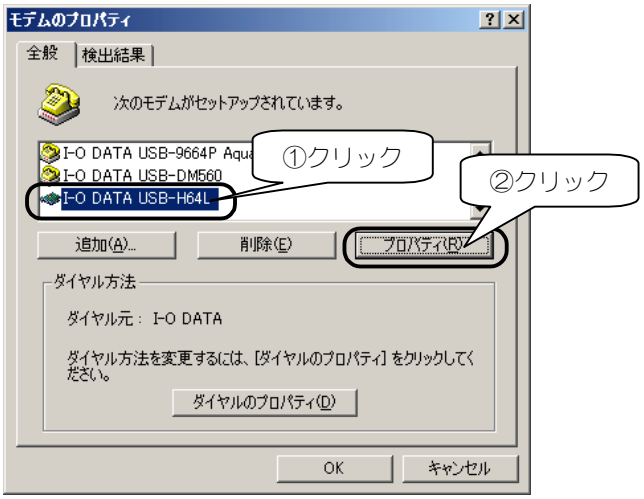


1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、[モデム]アイコンをダブルクリックします。

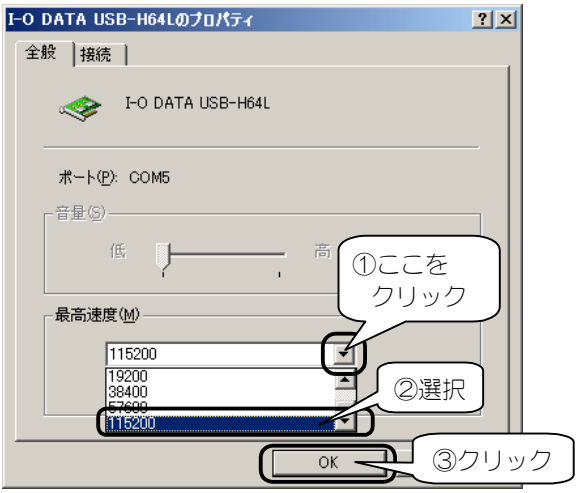




2 [I-O DATA USB-H64L]をクリック後、
[プロパティ]ボタンをクリックします。

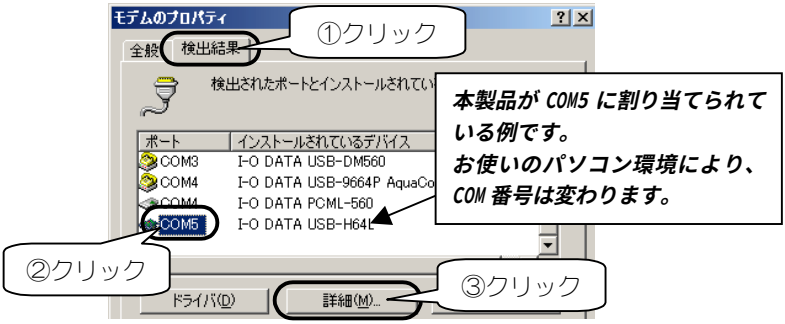


3 端末速度を設定します。
[最高速度]を選択肢中で一番速い速度に設定し、
[OK]ボタンをクリックします。
最高速度には選択できる速度のうち、最高の速度（115200bpsが望ましい）を設定しておくと、最大パフォーマンスが引き出せます。

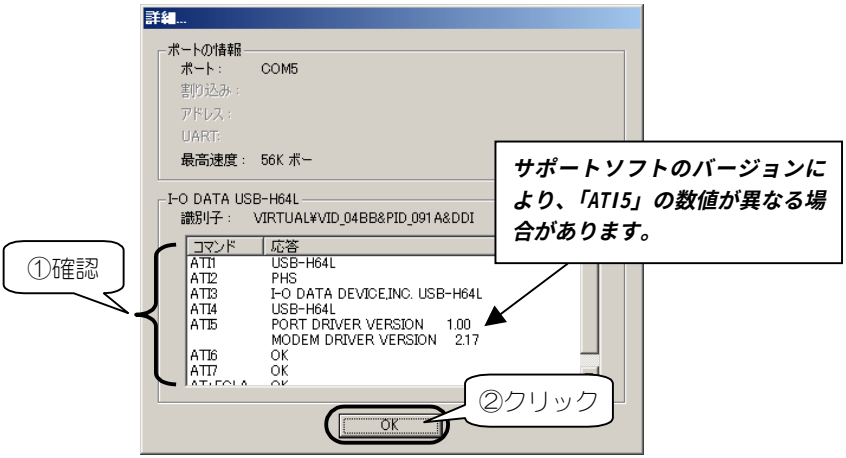


4 端末速度を設定したら、次に本製品とパソコンが正常に通信できるかを確認します。

[検出結果]タブをクリックし、
[I-O DATA USB-H64L]が表示されているポート(画面例ではCOM5 の部分)をクリック後、[詳細]ボタンをクリックします。
※COMの後の数字はお使いの環境によって異なります。



5 [モデムと通信しています]と表示され、しばらくして以下のように表示されたら[OK]ボタンをクリックします。
※[コマンド][応答]の部分が真っ白でなく、[AT……]と英数字が表示されたら、本製品は正常に認識されています。



「ポートが開けません」などと表示された場合は…

【困ったときには】の248 ページをご参照ください。

注意

・この通信テストはパソコンと本製品間のテストであり、電話機を介して通信するテストではありません。
・ポートの情報には最高速度として「56K ボー」と表示されますが、実際の端末速度（パソコンと本製品間の速度）は、129 ページ3の手順で指定した速度です。
・[応答]に[ERROR]と表示される場合がありますが、動作上問題ありません。

6 [OK]ボタンをクリックし、
[モデムのプロパティ]画面を閉じます。

ここまでで、本製品とパソコンが正しく通信できることが確認できました。
次に次ページで発信情報を設定してください。

ステップ 4

準備編

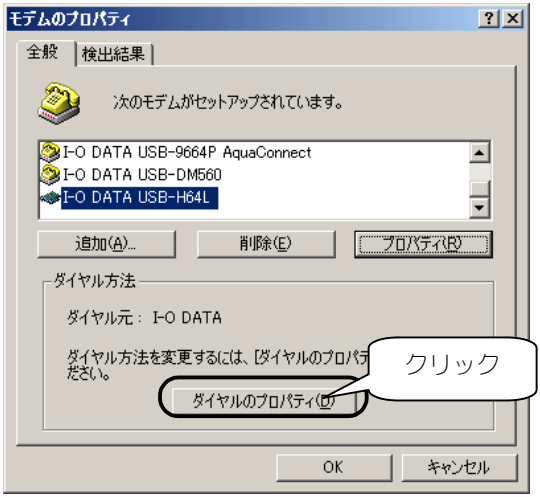
発信情報を設定する

インターネットをはじめ通信ソフトなどを利用するには、パソコンから発信するための情報（発信情報）を設定しておく必要があります。
設定は、Windows の［モデム］アイコンで行います。
本製品を USB ポートに差し込んだままで設定してください。

1 ［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］を開き、［モデム］アイコンをダブルクリックします。

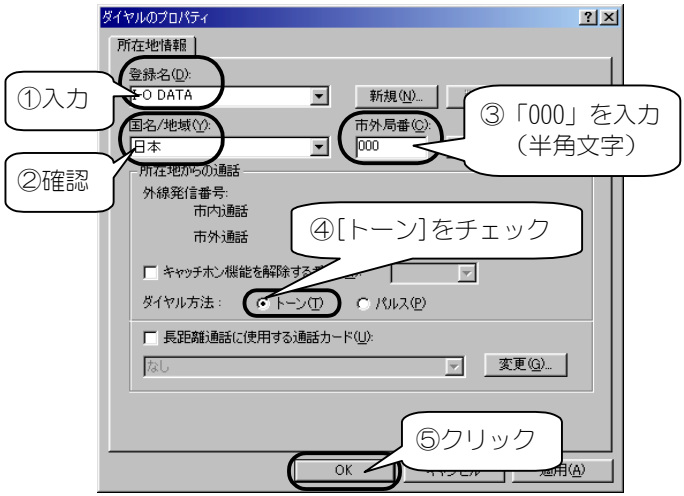


2 ［ダイヤルのプロパティ］ボタンをクリックします。



3 必要な情報を設定し、[OK]ボタンをクリックします。

No.	項目	設定内容
①	登録名	任意の登録名（お好きな名前）を入力
②	国名／地域	[日本]であることを確認
③	市外局番	[000]などの存在しない数値を入力（半角文字） ※電話機は市外局番から入力するので、このような仮の値を設定しておきます。 （設定しないと市外局番から発信できません。）
④	ダイヤル方法	[トーン]を選択



4 [OK]ボタンをクリックし、[モデムのプロパティ]画面を閉じます。

ここまでで、本製品がパソコンに正しく認識され、使用できることが確認できました。
1度これらのインストールや設定を行えば、今後はパソコンを起動するだけで使えるようになります。

実際に本製品を使う前に、【ステップ5】(次ページ)を参照して、本製品の接続や取り外し方を確認しておいてください。

本製品を使って…

インターネットを楽しみたい	→【Windows Me でインターネットに接続するには】(136 ページ)へ
Lotus NOTES でモバイル通信したい	→【Lotus NOTES でモバイル通信したい】(266 ページ)へ

ステップ 5

準備編

接続/取り外しについて

本製品のパソコンへの接続および取り外しは、以下のいずれでも構いません。

・パソコンの電源を切っている状態で接続する、取り外す

・パソコンの電源が入っている状態で接続する、取り外す

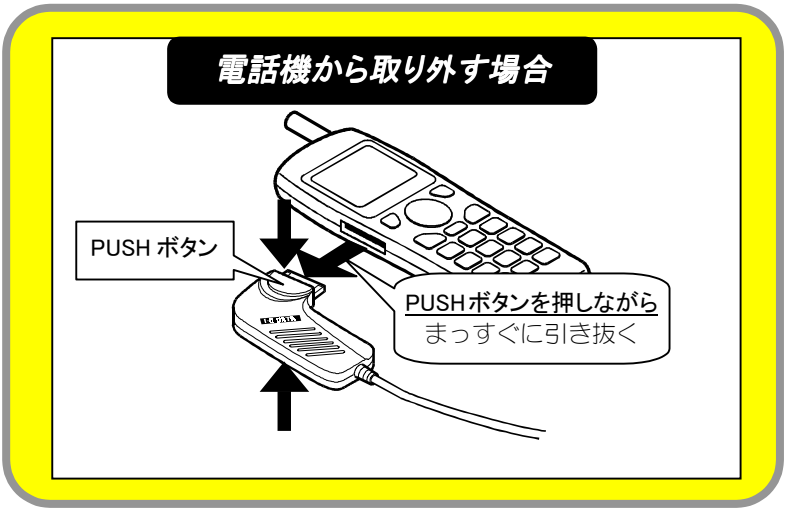
パソコンの電源が入っている時に取り外す場合は、本製品を使用していない（回線切断中である）事を確認してから行ってください。

電話機から本製品を取り外す場合

電話機から本製品を取り外す際は、以下のように行ってください。

注意

本製品を取り外す場合は、PUSH ボタンを上下でつまんで（押しながら）まっすぐ引き抜いてください。（以下の図参照）
PUSH ボタンを押さずに無理に引き抜くと、ケーブルやコネクタが破損する原因になります。



インターネット接続編

Windows Me で インターネットに接続するには

【準備編】（【ステップ1】（119 ページ）～【ステップ5】（135 ページ））が終了したら、いよいよインターネットに接続してみましょう。

ステップ 1

接続前の準備 ····· *137ページ*

インターネットに接続する上で必要な確認事項について説明します。

- プロバイダとの契約
- 通信方式の確認
- パソコン、本製品、電話機の準備

ステップ 2

接続に必要なソフトウェア ····· *140ページ*

インターネットに接続するために必要なソフトウェアについて説明します。

- ダイヤルアップアダプタ
- TCP/IP
- ダイヤルアップネットワーク

ステップ 3

通信方式を設定する ····· *150ページ*

通信方式に応じた設定について説明します。

ステップ 4

インターネットを楽しもう ····· *154ページ*

【ステップ2】で設定した［ダイヤルアップネットワーク］で実際にインターネットに接続してみましょう。

ステップ 5

通信方式を変更する場合 ····· *159ページ*

通信方式を変更する場合の手順について説明します。

ステップ 1

インターネット接続編

接続前の準備

インターネットに接続するには、以下をまず準備しておく必要があります。順にチェックしておいてください。

準備1：プロバイダとの契約

インターネット・サービスを受けるために、プロバイダとダイヤルアップ IP 接続の契約を行ってください。

契約時に入手した資料について

プロバイダとの契約後、パソコンからインターネット接続するために以下が記載されている資料を受け取ります。

パソコンにインターネット接続するための設定をする際（140 ページ【ステップ２】）、また、インターネットに接続する際（154 ページ【ステップ４】）に必要となりますので、準備しておいてください。

- ユーザー名
- パスワード
- 接続先の電話番号
- ネームサーバーアドレス※
  - プライマリ DNS サーバー
  - セカンダリ DNS サーバー

※ネームサーバーアドレス（プライマリ DNS サーバー、セカンダリ DNS サーバー）は、プロバイダによっては指定がない場合もあります。
指定がない場合は特に設定する必要はありません。

準備2：通信方式の確認

本製品は、以下の通信方式に対応しています。

・PIAFS 対応通信方式

DDI ポケットの通信方式	通信方式	最大速度
PIAFS 2.1 方式（初期設定）	回線交換	64kbps
PIAFS 1.0 方式		32kbps

・ISDN 同期 64kPPP 通信方式

DDI ポケットの通信方式	通信方式	最大速度
無線インターネット方式	回線交換	32kbps

・アナログモデム用通信方式

DDI ポケットの通信方式	通信方式	最大速度
無線モデム/FAX 方式	回線交換	14.4kbps



「PIAFS」とは
→「ピアフ」と読みます。PHS の端末を使ったデジタルデータ通信規格のことです。

本製品の初期設定時には、前ページの［PIAFS 2.1 方式］の設定になっていますが、［PIAFS 2.1 方式］でご利用になる場合は、以下のすべての条件を満たしていないと 64kbps での通信ができません。

- *プロバイダ(接続先の電話番号)が PIAFS 2.1 に対応している*
- *電話機が PIAFS 2.1 に対応している*
- *ご利用の場所が 64K サービスエリアである*

事前に確認しておいてください。

（通常、PIAFS 2.1 に対応している場合は、PIAFS 1.0 にも対応しています。）

※同じプロバイダであっても、PHS で接続する場合と、電話回線でつないだモデムや TA で接続する場合では、通信方式が違うため、アクセスポイント（電話番号）も異なる（別になっている）場合があります。
※複数のプロバイダに接続する場合にもそれぞれすべてのプロバイダの通信方式を確認しておいてください。



・プロバイダが PIAFS 2.1 に対応しているか、また、ご利用場所が 64k サービスエリアかは、プロバイダにご確認ください。
・電話機が PIAFS 2.1 に対応しているかは、電話機の取扱説明書、あるいは、電話機器メーカーにご確認ください。

準備3：パソコン、本製品、電話機の準備

パソコン、本製品、電話機があればインターネットに接続できます。
ただし、以下の確認を行っておいてください。

チェック1：電話機の電源

電話機の電源が入っていることを確認してください。

チェック2：電話機と本製品の接続

電話機と本製品が接続されていることを確認してください。

チェック3：電話機の電波の状態

電話機の電波の状態が良好なことを確認してください。
※電話機でその場から正常に通話できることを確認しておいてください。



電話機の電波が弱い場合は、正常にインターネットなどに接続できなかったり、通信中に切れる場合があります。アンテナレベルが最高になっていることを、電話機の液晶画面などで確認してから、インターネットなどに接続してください。

ステップ 2

インターネット接続編

接続に必要なソフトウェア

インターネットに接続するには、以下および次ページのソフトウェアがインストールおよび設定されている必要があります。

①本製品のドライバソフトウェア

【インストールする】(119 ページ)でインストールした本製品を使用するためのソフトウェアです。
【インストールは正常ですか？】(126 ページ)で正常にインストールされているか確認しておきましょう。

[デバイスマネージャ]画面での以下の表示の確認
①[モデム]の下の[I-O DATA USB-H64L]の表示
②[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]の下の
[I-O DATA USB-H64L Modem]の表示



次ページ以降で説明します。

②ダイヤルアップを行うためのソフトウェア

ダイヤルアップを行ってプロバイダに接続するためのソフトウェアです。
詳細な設定は、次ページ以降を参照してください。

③Web ブラウザやメールソフトウェア

インターネットに接続する際に特に必要ではありませんが、接続後に、ホームページなどを見るためのソフトウェアです。
Windows Me には、Web ブラウザとして Internet Explorer が標準でインストールされています。

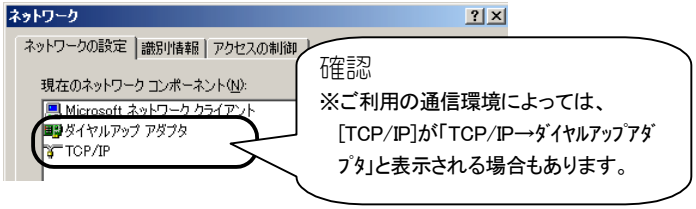
次ページ以降で[ダイヤルアップアダプタ]と[TCP/IP]の確認、および、[ダイヤルアップアダプタ]の設定について説明します。
はじめてインターネットに接続する場合、また、以前の設定はそのまま残して新しい設定を作る場合にも、次ページ以降を参照してください。

[ダイヤルアップアダプタ]と[TCP/IP]を確認する

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。



2 [ダイヤルアップアダプタ]と[TCP/IP]（または[TCP/IP->ダイヤルアップアダプタ]）があることを確認し、[OK]ボタンをクリックします。



[ダイヤルアップアダプタ]や[TCP/IP]が表示されない場合は…

【困ったときには】の254 ページをご参照ください。

[ダイヤルアップネットワーク]を設定する

インターネットに接続するには、パソコンからプロバイダなどにダイヤルアップするためのソフトウェア[ダイヤルアップネットワーク]を設定する必要があります。

本製品を USB ポートに差し込んだままで設定してください。

はじめて［ダイヤルアップネットワーク］の設定を行う場合、または、以前の設定はそのまま残して新しい設定を作る場合は、次ページ【新しい設定を作るとき】を行います。



参考

ダイヤルアップとは

→電話回線などの公衆網を利用して、インターネットに接続できる通信業者（プロバイダ）に接続すること。



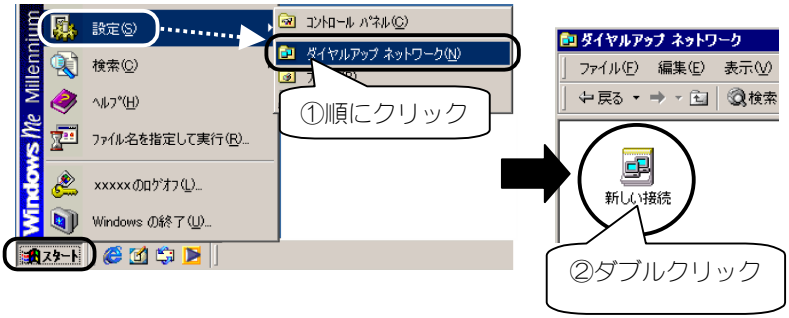
参考

すでにダイヤルアップ接続（インターネット）の設定を行っていて、設定内容を変更する場合は 147 ページ【設定を変更するとき】をご覧ください。

新しい設定を作るとき

1 インターネットプロバイダから入手した[ユーザー名]や[パスワード]などが記載されている資料をご用意ください。

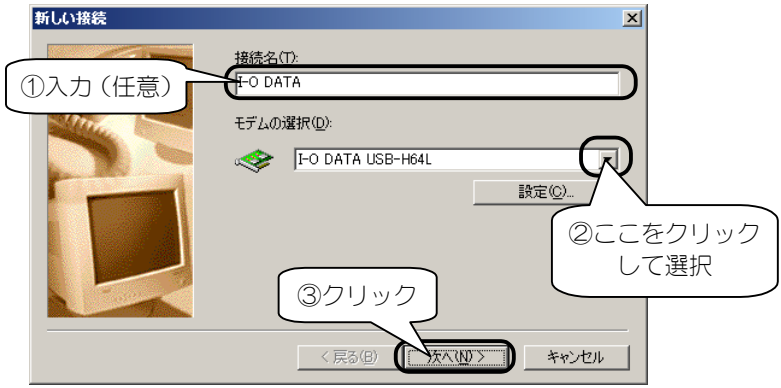
2 [スタート]→[設定]→[ダイヤルアップネットワーク]を順にクリックし、[新しい接続]アイコンをダブルクリックします。



[ダイヤルアップネットワーク]が表示されない場合は…

【困ったときには】の 252 ページをご参照ください。

3 [接続名]欄に任意の接続名(お好きな名前)を入力して、[モデムの選択]欄から[I-O DATA USB-H64L]を選び、[次へ]ボタンをクリックします。



4 以下を設定後、[次へ]ボタンをクリックします。

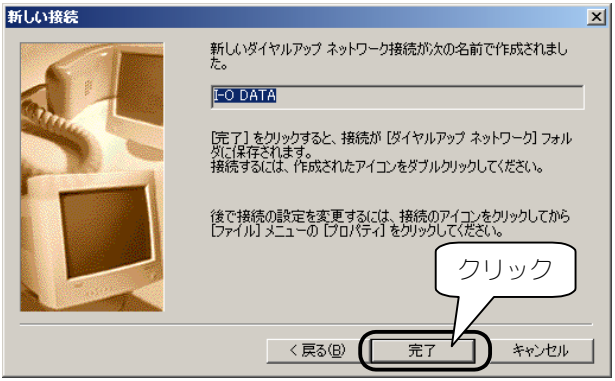
市外局番	接続先（プロバイダ）の市外局番
電話番号	接続先（プロバイダ）の電話番号
国/地域番号	[日本]



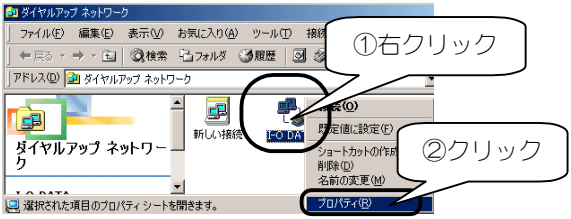
注意

[市外局番][電話番号]欄の「*」「***-****」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号を入力してください。**

5 [完了]ボタンをクリックします。



6 新しく作成したアイコンが[ダイヤルアップネットワーク]画面に**3** の手順で指定した接続名が表示されます。
新しく作成したアイコンを右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。



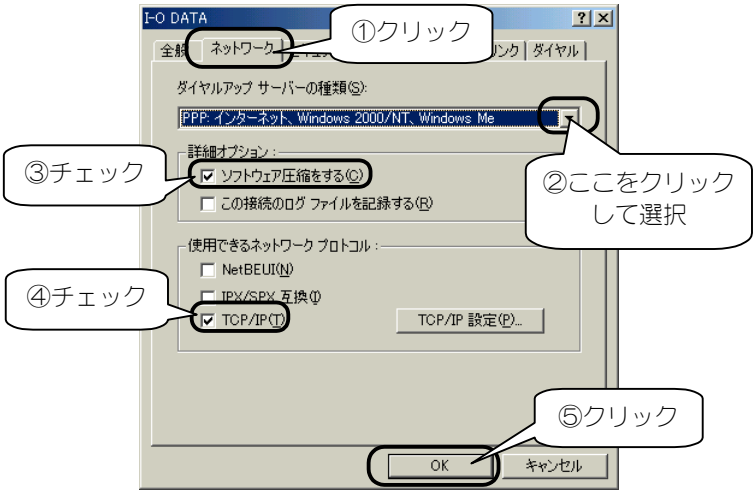
7 [ネットワーク]タブをクリックし、
以下のように設定します。

・[ダイヤルアップサーバーの種類]では
　[PPP:インターネット、Windows 2000/NT、Windows Me]を選択

・[詳細オプション]で[ソフトウェア圧縮をする]にチェック

・[使用できるネットワークプロトコル]で[TCP/IP]のみにチェック

プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合は次ページを参照してください。
設定後、[OK]ボタンをクリックします。

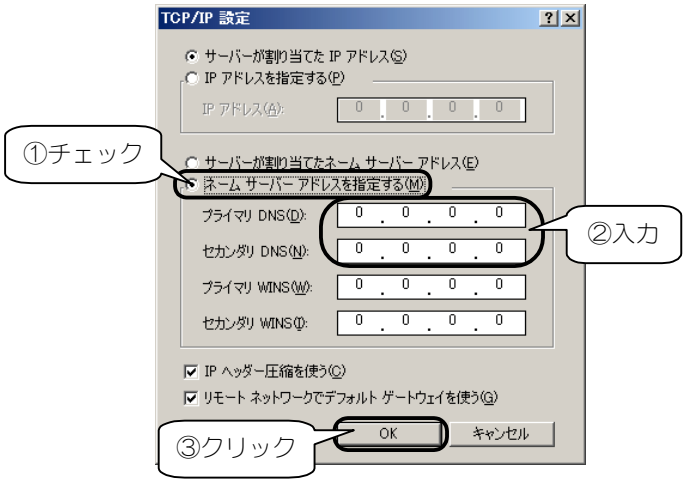


●プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合

1 前ページ**7** の手順の画面で、[TCP/IP 設定]ボタンをクリックします。

2 以下を設定します。
- [ネームサーバーアドレスを指定する]をチェックします。
- [プライマリ DNS]欄にプライマリ DNS を、[セカンダリ DNS]欄にセカンダリ DNS の値を入力します。

設定後、[OK]ボタンをクリックします。



注意

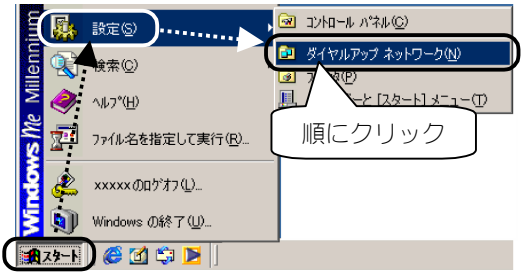
・ネームサーバーアドレスの入力内容がわからない場合は、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。
・プロバイダによっては、IP アドレスの設定が必要な場合もあります。必要な設定内容については、ご契約のプロバイダに確認してください。

以上で、[ダイヤルアップネットワーク]の設定は終了です。
次に通信方式の設定を行います。
150 ページ【通信方式を設定する】にお進みください。

設定を変更するとき

本製品を使用する前に、すでに他のモデムなどを使用していて、［ダイヤルアップネットワーク］の設定を終了して場合には、以下の手順のように、［接続方法］を本製品に切り替えるだけでも設定できます。

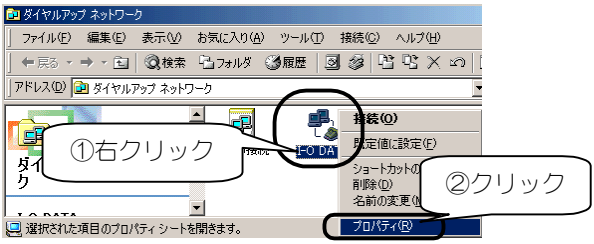
1 [スタート]→[設定]→[ダイヤルアップネットワーク]を順にクリックします。



［ダイヤルアップネットワーク］が表示されない場合は…

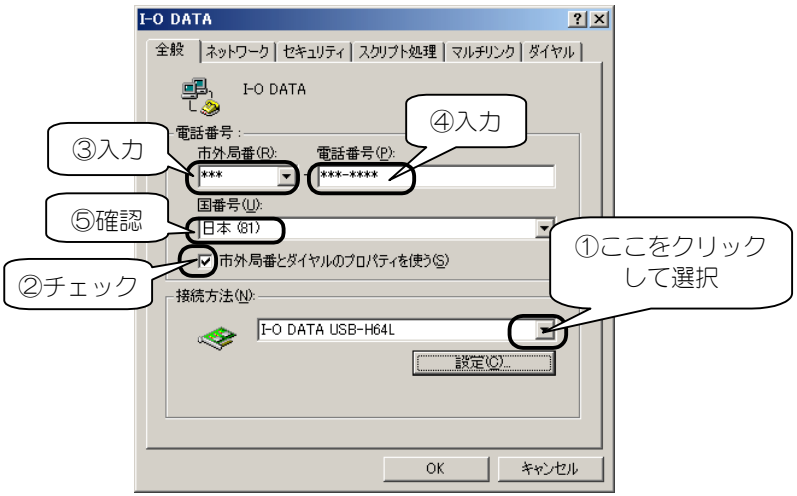
【困ったときには】の 252 ページをご参照ください。

2 変更したい接続のアイコンを右クリックして[プロパティ]をクリックします。



3 以下のようにプロバイダの電話番号などを入力しします。

①[接続方法]は、[I-O DATA USB-H64L]を選択します。
②[市外局番とダイヤルのプロパティを使う]をチェックします。
③[市外局番]欄には、接続先の市外局番を入力します。
※接続先が市内でも、必ず市外局番を入力してください。
④[電話番号]欄には、接続先の電話番号を入力します。
⑤[国番号]欄は、「日本」であることを確認します。



注意

[市外局番][電話番号]欄の「*」「***-****」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号を入力してください。**

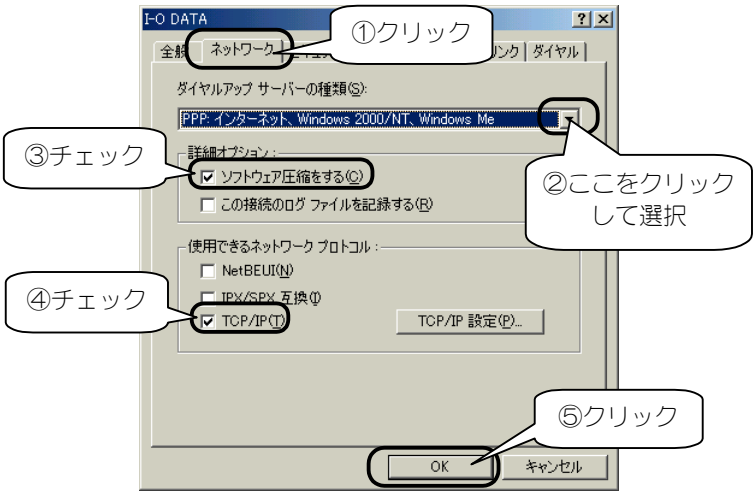
4 [ネットワーク]タブをクリックし、
以下のように設定します。

・[ダイヤルアップサーバーの種類]では
[PPP:インターネット、Windows 2000/NT、Windows Me]を選択

・[詳細オプション]で[ソフトウェア圧縮をする]にチェック

・[使用できるネットワークプロトコル]で[TCP/IP]のみにチェック

プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合は、146ページを参照して設定してください。
設定後、[OK]ボタンをクリックします。



5 [OK]ボタンをクリックして、画面を閉じます。

以上で、[ダイヤルアップネットワーク]の設定は終了です。
次に通信方式の設定を行います。
次ページ【通信方式を設定する】にお進みください。

ステップ 3

インターネット接続編

通信方式を設定する

本製品は、以下の通信方式に対応しています。

・*PIAFS 対応通信方式*

DDI ポケットの通信方式	通信方式	最大速度
PIAFS 2.1 方式（初期設定）	回線交換	64kbps
PIAFS 1.0 方式		32kbps

・*ISDN 同期 64kPPP 通信方式*

DDI ポケットの通信方式	通信方式	最大速度
無線インターネット方式	回線交換	32kbps

・*アナログモデム用通信方式*

DDI ポケットの通信方式	通信方式	最大速度
無線モデム/FAX 方式	回線交換	14.4kbps

【ステップ2】までの手順では、本製品は、上記の［PIAFS 2.1 方式］で使用する設定になっていますが、［PIAFS 2.1 方式］でご利用になる場合は、以下のすべての条件を満たしていないと 64kbps での通信ができません。

・*プロバイダ(接続先の電話番号)が PIAFS 2.1 に対応している*
・*電話機が PIAFS 2.1 に対応している*
・*ご利用の場所が 64k サービスエリアである*

上記を満たしている場合は、【ステップ４】154 ページへお進みください。
上記を満たしていない場合は、次ページを参照して、設定し直してください。

※同じプロバイダであっても、PHS で接続する場合と、電話回線でつないだモデムや TA で接続する場合では、通信方式が違うため、アクセスポイント（電話番号）も異なる（別になっている）場合があります。
※複数のプロバイダに接続する場合にもそれぞれすべてのプロバイダの通信方式を確認しておいてください。

注意

・プロバイダが PIAFS 2.1 に対応しているか、また、ご利用場所が 64k サービスエリアかは、プロバイダにご確認ください。
・電話機が PIAFS 2.1（64k データ通信）に対応しているかは、電話機の取扱説明書、あるいは、電話機器メーカーにご確認ください。

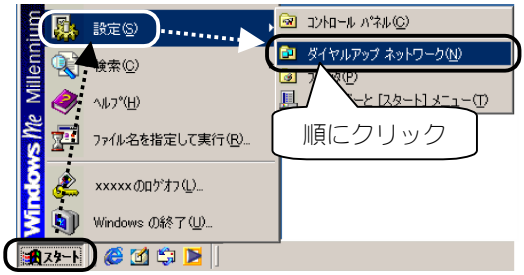
参考

ここでの設定は、1つのプロバイダのみに接続する場合（1つの通信方式しか使用しない場合）の設定です。
複数のプロバイダに接続する場合など、プロバイダ毎に通信方式を変更したい場合は、接続する際に設定し直すこともできます。手順については、【ステップ5　通信方式を変更する場合】（159 ページ）を参照してください。

通信方式に応じて設定する

通信方式に応じた設定をします。
設定は、【ステップ2】で作成した［ダイヤルアップネットワーク］アイコンで行います。本製品を USB ポートに差し込んだままで設定してください。

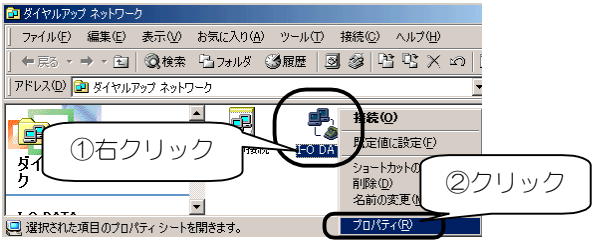
1 ［スタート］→［設定］→［ダイヤルアップネットワーク］を順にクリックします。



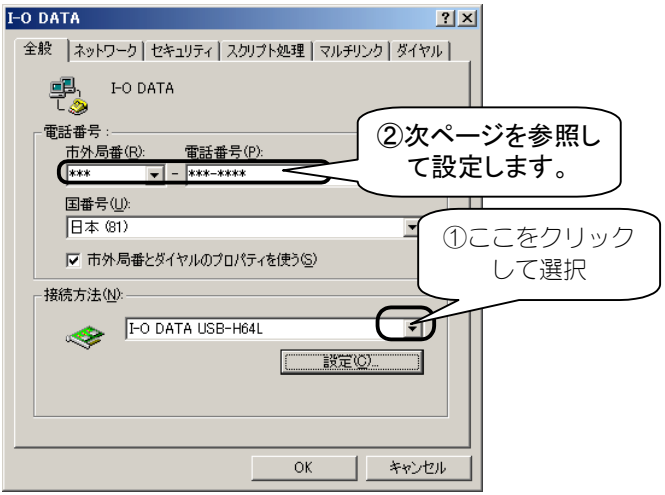
［ダイヤルアップネットワーク］が表示されない場合は…

【困ったときには】の 252 ページをご参照ください。

2 作成した接続のアイコンを右クリックして
[プロパティ]をクリックします。



3 [接続方法]に本製品を選択し、
[市外局番][電話番号]欄に次ページの【通信方式に応じた設定】を行います。
設定後、[OK]ボタンをクリックして画面を閉じてください。



●通信方式に応じた設定

通信方式に応じた設定は、前ページ画面の［市外局番］［電話番号］欄を以下のお使いの通信方式に応じた電話番号に変更後、さらに電話番号の末尾に以下の**【追加する文字】(すべて半角)**を追加すれば設定できます。

・PIAFS 対応の電話番号の場合

	追加する文字
PIAFS 2.1 方式(初期設定)の場合→	追加なし （電話番号のみ）
PIAFS 1.0 方式の場合 →	##3

・ISDN 用の電話番号の場合

	追加する文字
無線インターネット方式の場合 →	##2

・アナログモデム用の電話番号の場合

	追加する文字
無線モデム/FAX 方式の場合 →	##1

入力例)上記[アナログモデム用の電話番号]の場合



①[アナログモデム用]の電話番号に変更します。

②電話番号の後に##1（すべて半角）を入力します。

注意

[市外局番][電話番号]欄の「*」「***-****」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号が表示されていることを確認してください。**

これで通信方式に応じた設定は終了です。
次ページ【インターネットを楽しもう】を参照して、さっそくインターネットに接続してみましょう。

ステップ
4

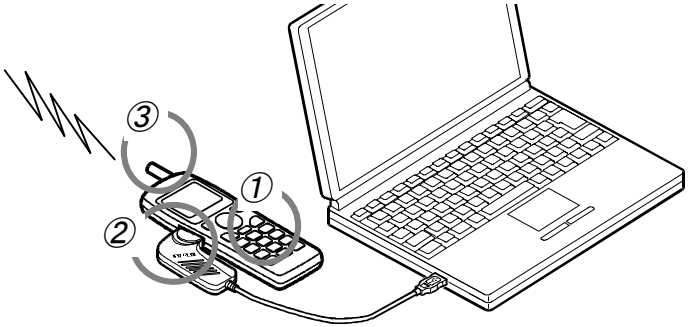
インターネット接続編

インターネットを楽しもう

ここまでの設定がすべて終了すれば、いよいよインターネットへの接続です。

接続する際のチェック項目

インターネットに接続する際は、電話機を操作する必要は特にありませんが、毎回以下を確認してから、本製品をパソコンに取り付け、インターネットに接続してください。



チェック①：電話機の電源

電話機の電源が入っていることを確認してください。

チェック②：電話機と本製品の接続

電話機と本製品が接続されていることを確認してください。

※電話機の電源が入っている状態でも問題ありません。

チェック③：電話機の電波の状態

電話機の電波の状態が良好なことを確認してください。

※電話機でその場から正常に通話できることを確認しておいてください。

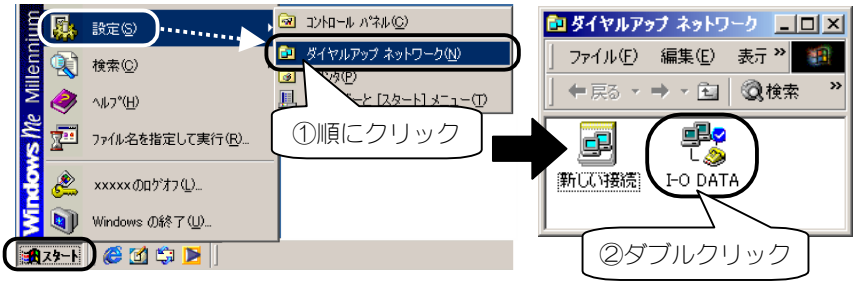
注意

電話機の電波が弱い場合は、正常にインターネットなどに接続できなかったり、通信中に切れる場合があります。アンテナレベルが最高になっていることを、電話機の液晶画面などで確認してから、インターネットなどに接続してください。

インターネットに接続する

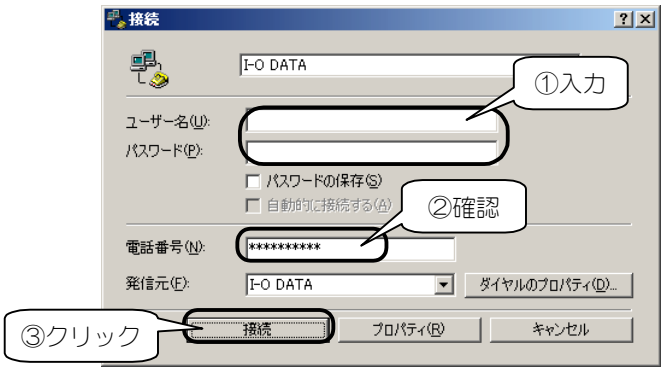
インターネットへの接続は、【[ダイヤルアップネットワーク] を設定する】(142 ページ) で作成した[ダイヤルアップネットワーク]で行います。

1 [スタート]→[設定]→[ダイヤルアップネットワーク]を順にクリックして、作成した接続のアイコンをダブルクリックします。



2 プロバイダから案内された[ユーザー名]と[パスワード]を入力して、[電話番号]欄を確認後、[接続]ボタンをクリックします。

[接続]ボタンをクリックすると、プロバイダと通信を開始します。



注意

・[電話番号]欄の「********」は、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号が市外局番から表示されていることを確認してください。**
・パスワードは「***」と表示され、入力内容が確認できないので、アルファベットの大文字小文字などを間違えないように注意してください。**
・[パスワードの保存]をチェックすると、次回からパスワードが「*」印で表示されるので、パスワードを入力する必要がありません。セキュリティの必要に応じてお使いください。

注意

・他のモデムも併用している場合、[発信元]欄に本製品用の登録名（133 ページ*3* の手順の①で入力した[登録名]）を選択してください。

3 しばらくしてパソコンの画面右下のタスクトレイに[接続インジケータ]アイコンが表示されたら、接続完了です。



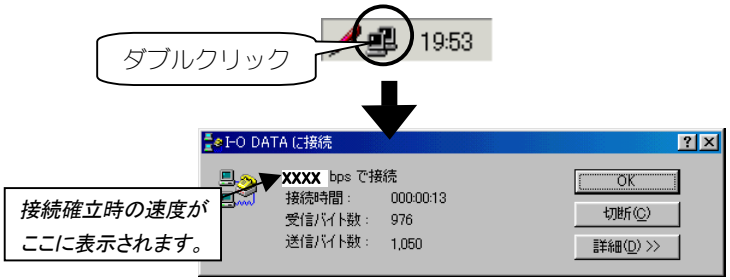
「回線が使用中です」などと表示された場合は…

【困ったときには】の 249 ページをご参照ください。

[接続インジケータ]アイコンが表示されない場合は…

【困ったときには】の 251 ページをご参照ください。

4 接続状況は、[接続インジケータ]アイコンを
ダブルクリックすれば確認できます。



5 ブラウザや電子メールソフトを起動してお楽しみください。
接続中は、常時[接続インジケータ]が表示されています。

インターネットを終了する

インターネットを終了する場合は、ブラウザや電子メールを終了するだけでなく、必ず以下の手順を行ってください。

注意

・ブラウザや電子メールを終わっただけでは電話回線は切断されません。必ず以下の[切断]ボタンをクリックしてください。クリック後、電話機の通話が終わっていること、また、[接続インジケータ]が消えることを必ず確認してください。
・電話機の通話だけを切ってもパソコン側の通信は終了しません。必ずパソコン側で切断してください。

1 インターネット利用が終わったら、画面右下の[接続インジケータ]をダブルクリックし、[切断]ボタンをクリックします。

これで電話回線が切断され、画面右下の[接続インジケータ]が消えます。
電話機の通話も自動的に切断されますので、液晶表示を見て通話が終わっていることを確認してください。



以上で、インターネットは終了できました。

ステップ 5

インターネット接続編

通信方式を変更する場合

通信方式（PIAFS 2.1、PIAFS 1.0）は、【ステップ３】（150 ページ）で設定することができますが、複数の通信方式でご利用になる場合などに、接続する際に通信方式を設定することもできます。

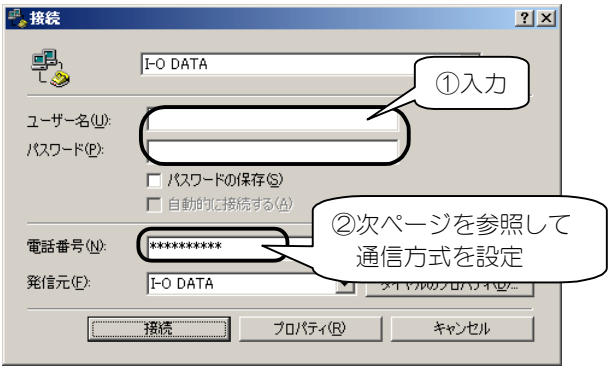
注意

以下の設定は、1 回限りなので、インターネットへの接続が終了すると元の設定に戻ります。
設定を保存しておきたい場合は、【ステップ3】（150 ページ）で設定してください。

今回だけ通信方式を変えて接続する方法

1 ダイヤルアップ接続画面（155ページ**2** の手順の画面）を表示させます。

2 [ユーザー名][パスワード]入力後、
[電話番号]欄に次ページを参照して、通信方式を設定します。



注意

[電話番号]欄の「********」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号が市外局番から表示されていることを確認してください。**

●通信方式に応じた設定

通信方式に応じた設定は、前ページ画面の［電話番号］欄を以下のお使いの通信方式に応じた電話番号に変更後、さらに電話番号の末尾に以下の**【追加する文字】(すべて半角)**を追加すれば設定できます。

・PIAFS 対応の電話番号の場合

	追加する文字
PIAFS 2.1 方式(初期設定)の場合→	追加なし （電話番号のみ）
PIAFS 1.0 方式の場合　→	##3

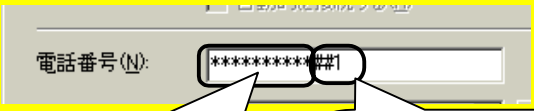
・ISDN 用の電話番号の場合

	追加する文字
無線インターネット方式の場合　→	##2

・アナログモデム用の電話番号の場合

	追加する文字
無線モデム/FAX 方式の場合　→	##1

入力例)上記[アナログモデム用の電話番号]の場合



①[アナログモデム用]の電話番号に変更します。

②電話番号の後に##1 （すべて半角）を入力します。

3　[接続]ボタンをクリックすれば、設定した通信方式でインターネット接続します。

5 Windows 98 で使うには

～ *準備編* ～

本製品で通信できるまでの流れ…… 162ページ
ステップ1 インストールする …… 163ページ
ステップ2 インストールは正常ですか？171ページ
ステップ3 端末速度を設定する…… 173ページ
ステップ4 発信情報を設定する…… 177ページ
ステップ5 接続/取り外しについて … 180ページ

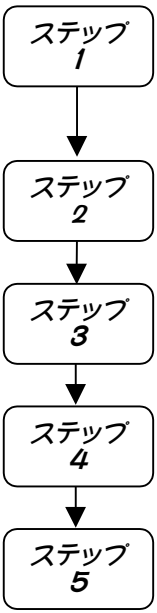
～ *インターネット接続編* ～

Windows 98 でインターネットに
接続するには・ 181ページ
ステップ1 接続前の準備…… 182ページ
ステップ2 接続に必要なソフトウェア・ 185ページ
ステップ3 通信方式を設定する…… 195ページ
ステップ4 インターネットを楽しもう … 199ページ
ステップ5 通信方式を変更する場合・ 204ページ

準備編

本製品で通信できるまでの流れ

本製品を利用して、インターネットをはじめ通信ソフトなどを使用するには、最初に本製品を使用できるようにする設定、またパソコン側での設定が必要です。
ここでは、本製品を使用して、パソコンから通信できるようにするまでの手順について説明します。
以下の流れに沿ってお進みください。



インストールする ····· *163ページ*
本製品を使用するにはサポートソフトのインストールが必要です。ここではそのインストール手順について説明します。

インストールは正常ですか？ ····· *171ページ*
【ステップ1】でのインストールが正常にできたかの確認方法について説明します。

端末速度を設定する ····· *173ページ*
本製品とパソコン間の速度の設定手順について説明します。

発信情報を設定する ····· *177ページ*
パソコンから発信するための情報の設定手順について説明します。

接続/取り外しについて ····· *180ページ*
本製品をUSBポートに接続する場合、取り外す場合の注意について説明します。

ステップ 1

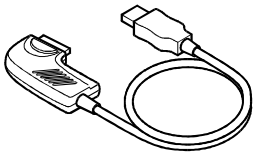
準備編

インストールする

本製品を使用するには、まず、「サポートソフト」ディスクのインストールが必要です。
次ページの手順でインストールしてください。

用意するもの

・本製品



・添付の「サポートソフト」CD-ROM



・電話機



※本書で説明している電話機のイラストは一例です。
お使いの機種により、異なります。
また、本製品との接続用コネクタの場所も機種により異なります。

注意

USB ポートが1つのみのパソコンで、CD-ROM ドライブを USB ポートでお使いの方は、インストール時に CD-ROM ドライブが使えません。
本製品を接続する前に、5ページの手順で「サポートソフト」CD-ROM の内容をハードディスクにコピーしてください。
次ページ以降では、「サポートソフト」CD-ROM の挿入は不要となります。また、168ページ❾の手順で指定するフォルダは、コピーしたフォルダの[WIN98]フォルダを指定してください。

Windows 98 でインストールする

本製品を使用するには、「サポートソフト」CD-ROM 内のドライバソフトを
パソコンにインストールする必要があります。
ここでは、そのインストール手順について説明します。
インストール作業は、はじめて本製品を接続したときだけ行います。
次回からは、パソコンを起動すれば本製品を使用できます。

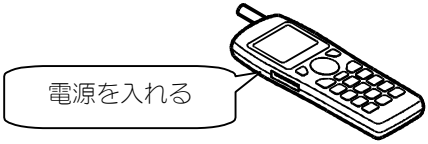
注意

インストールする際は、パソコンの電源を入れ、Windows が起動してから本製品を接続します。

1　本製品を差し込まずに、パソコンの電源を入れ
Windows 98を起動します。



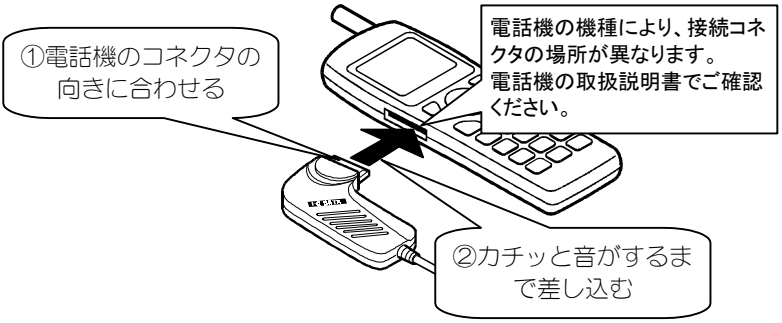
2　電話機の電源を入れます。



参考

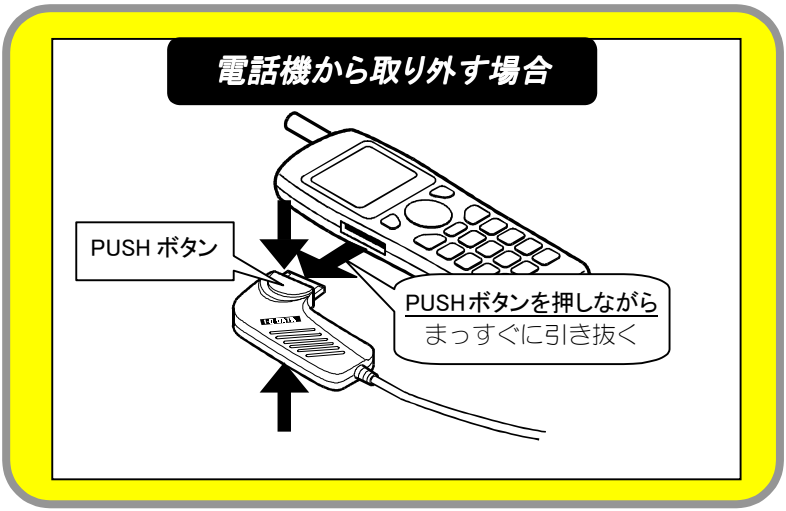
次ページ3 の手順で電話機と本製品を接続しますが、電話機の電源が入っている状態でも問題ありません。（接続後に電話機の電源を入れることもできます。）

3 電話機の接続コネクタに付いているカバーを取り外し、本製品を接続します。



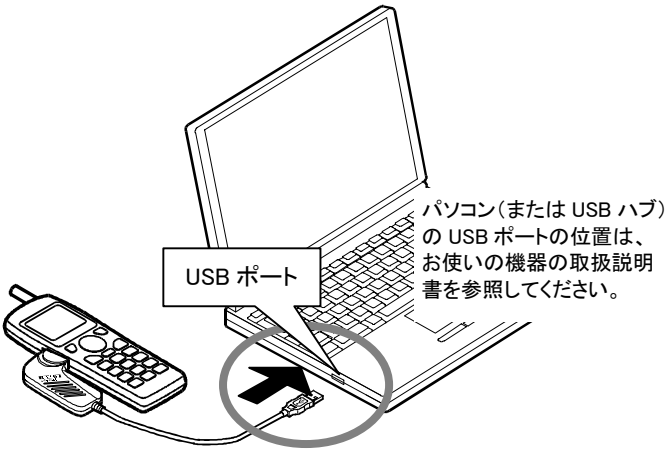
注意

・本製品と電話機を接続する場合は、コネクタの向きに注意してください。
向きが違ったまま無理に差し込むと故障の原因になります。電話機によってコネクタの場所や向きが異なりますので、電話機の取扱説明書で必ず確認してください。
・本製品を取り外す場合は、PUSH ボタンを上下でつまんで（押しながら）まっすぐ引き抜いてください。（以下の図参照）
PUSH ボタンを押さずに無理に引き抜くと、ケーブルやコネクタが破損する原因になります。

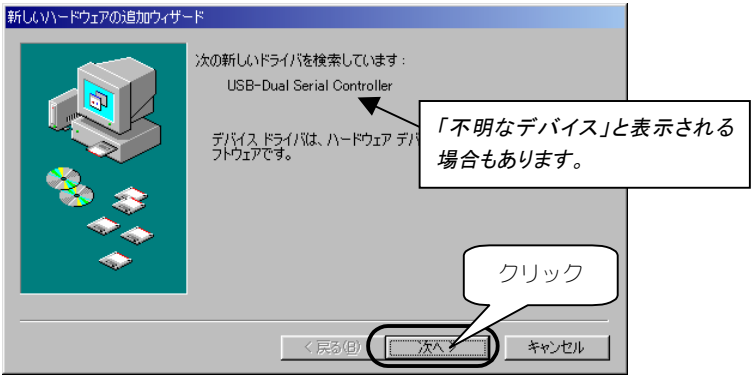


4 Windows 98 のデスクトップ画面が表示されていることを確認後、パソコン（または USB ハブ）の USB ポートに、本製品の USB コネクタを差し込みます。

USBコネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。



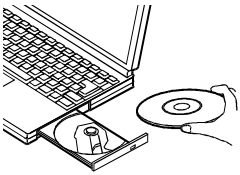
5 しばらくして以下の画面が表示されたら、[次へ]ボタンをクリックします。



このインストール画面が表示されない場合は…

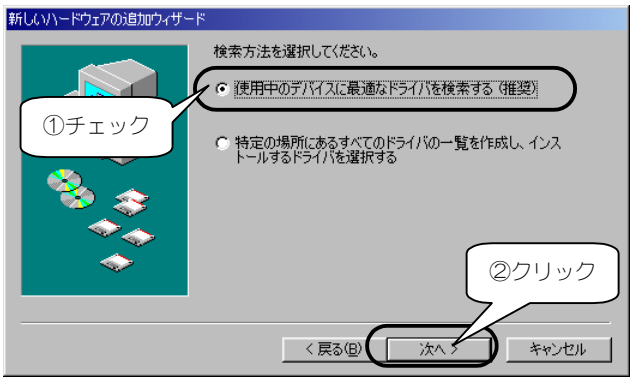
【困ったときには】の 243 ページをご参照ください。

6 「サポートソフト」CD-ROM を
CD-ROMドライブにセットします。

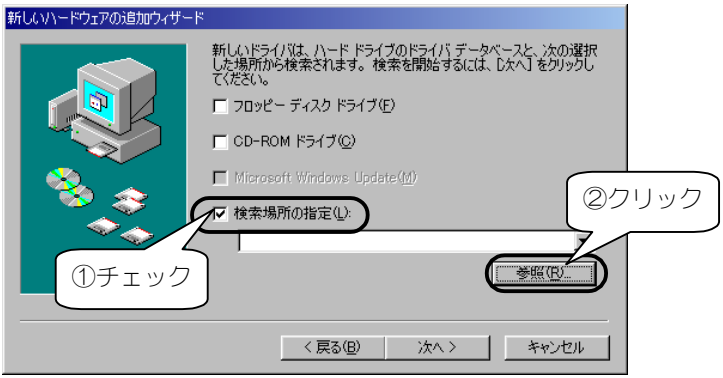


「サポートソフト」CD-ROM

7 [使用中のデバイスに最適な…]をチェックして、
[次へ]ボタンをクリックします。



8 [検索場所の指定]のみをチェックし、
[参照]ボタンをクリックします。

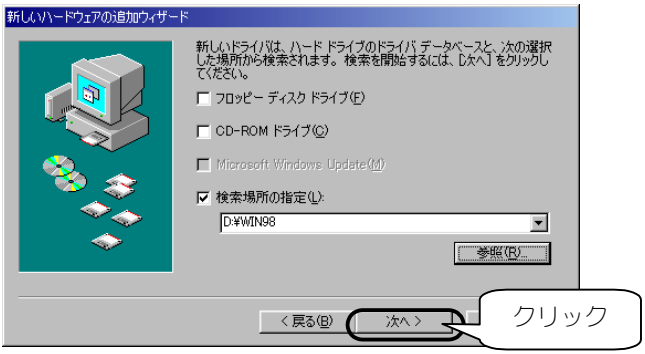


9 CD-ROMドライブ([USB-H64L])の[WIN98]フォルダを指定して、[OK]ボタンをクリックします。

「サポートソフト」を、お使いのパソコンのハードディスクにコピーした場合は→[参照]ボタンをクリック後、以下の手順①でコピー先のハードディスクを選択し、[WIN98]フォルダを指定します。



10 [次へ]ボタンをクリックします。



11 [I-O DATA USB-H64L Modem]が表示されていることを確認後、[次へ]ボタンをクリックします。

コピーを開始します。



「*お使いのデバイスに関する情報が見つかりません*」と表示された場合は…

【困ったときには】の 245 ページをご参照ください。

「*このデバイス用のドライバが見つかりませんでした*」と表示された場合は…

【困ったときには】の 246 ページをご参照ください。

12 [完了]ボタンをクリックします。



13 この後、[I-O DATA USB-H64L Modem]の組み込み画面が表示され、自動的に組み込みを行います。

14 しばらくして表示画面が消えたら
「サポートソフト」CD-ROMを取り出します。

以上でインストールは終了です。
次は正しくインストールできたかを確認します。
次ページ【インストールは正常ですか？】へお進みください。

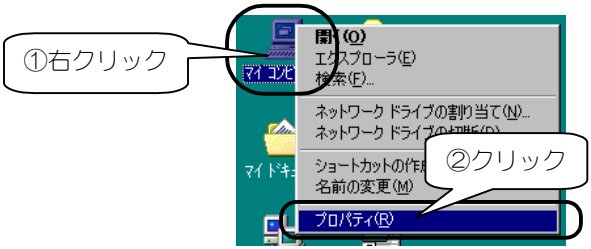
ステップ
2

準備編

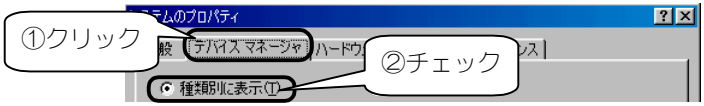
インストールは正常ですか？

【ステップ１】でのインストールが正常に終了すると、パソコンが本製品を正しく認識します。
ここでは、「***パソコンが本製品を正しく認識しているか***」を Windows 上で確認します。
本製品を USB ポートに差し込んだままで確認してください。

1 [マイコンピュータ]を右クリックして、
[プロパティ]をクリックします。



2 [デバイスマネージャ]タブをクリックし、
[種類別に表示]をチェックします。



3 以下を確認して[OK]ボタンをクリックします。

・[モデム]をダブルクリックして、
[I-O DATA USB-H64L]が表示されていることを確認します。

・[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]をダブルクリックして、
[I-O DATA USB-H64L Modem]が表示されていることを確認します。



「I-O DATA USB-H64L Modem」が
表示されない場合は…
【困ったときには】の
246 ページ
をご参照ください。

「I-O DATA USB-H64L」が
表示されない場合は…
【困ったときには】の
247 ページ
をご参照ください。

「I-O DATA USB-H64L Modem」や
「I-O DATA USB-H64L」の頭に
[！]マークがある場合は…
【困ったときには】の
247 ページ
をご参照ください。

4 [OK]ボタンをクリックして、
[システムのプロパティ]画面を閉じます。

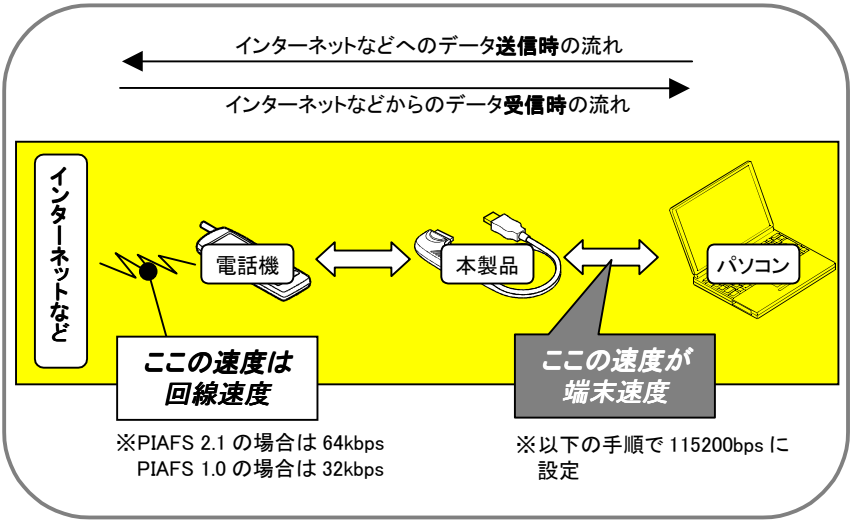
これでサポートソフトが正しくインストールされていることが確認できました。
次に端末速度の設定を行います。次ページへお進みください。

ステップ 3

準備編

端末速度を設定する

インストールが正常なことを確認したら、次に本製品とパソコン間の速度（**端末速度**）を設定します。
設定後、正常に本製品とパソコンが通信できるかを確認します。
設定と確認は、Windows の［モデム］アイコンで行います。
本製品を USB ポートに差し込んだままで設定および確認してください。

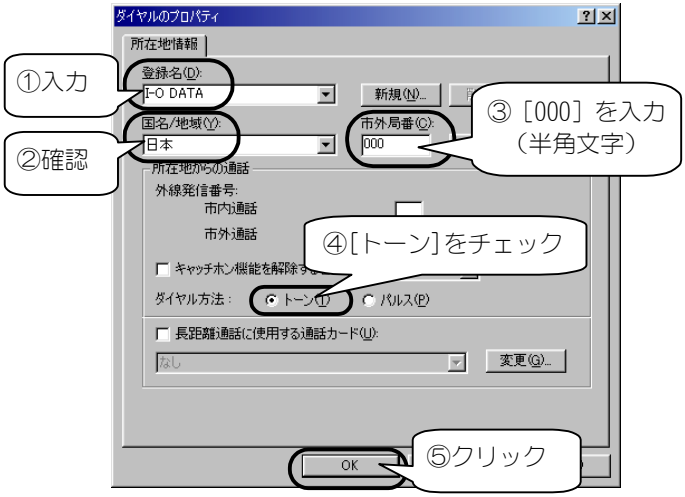


1 ［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］を開き、［モデム］アイコンをダブルクリックします。

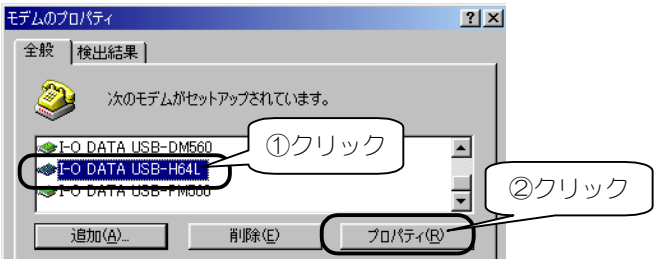


2 以下の画面が表示された場合は、必要な情報を設定し、[OK]ボタンをクリックします。

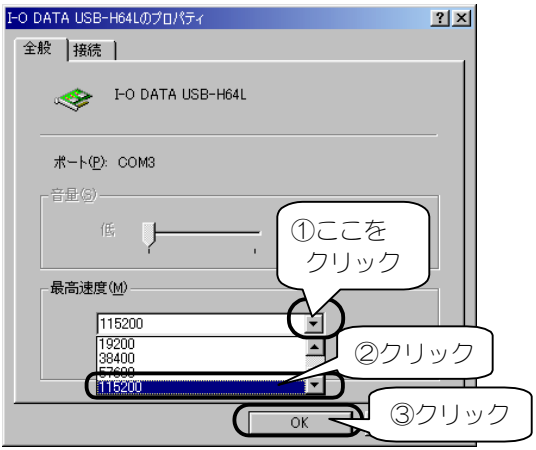
No.	項目	設定内容
①	登録名	任意の登録名を入力
②	国名／地域	[日本]であることを確認
③	市外局番	[000]などの存在しない数値を入力 ※電話機は市外局番から発信するので、このような仮の値を設定しておきます。 （設定しないと市外局番から発信できません。）
④	ダイヤル方法	[トーン]を選択



3 [I-O DATA USB-H64L]をクリック後、[プロパティ]ボタンをクリックします。



4 端末速度を設定します。
[最高速度]を選択肢中で一番速い速度に設定し、[OK]ボタンをクリックします。
最高速度には選択できる速度のうち、最高の速度（115200bpsが望ましい）を設定しておくと、最大パフォーマンスが引き出せます。

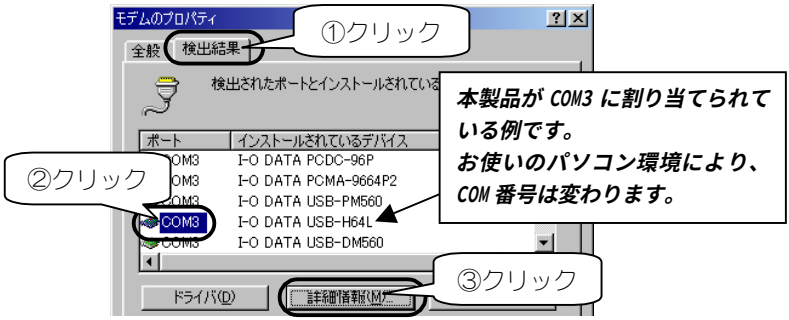


注意

ご使用になるパソコンの種類によっては、設定した速度で通信できない場合があります。その場合は自動的に通信速度が落ちますので、あらかじめご了承ください。

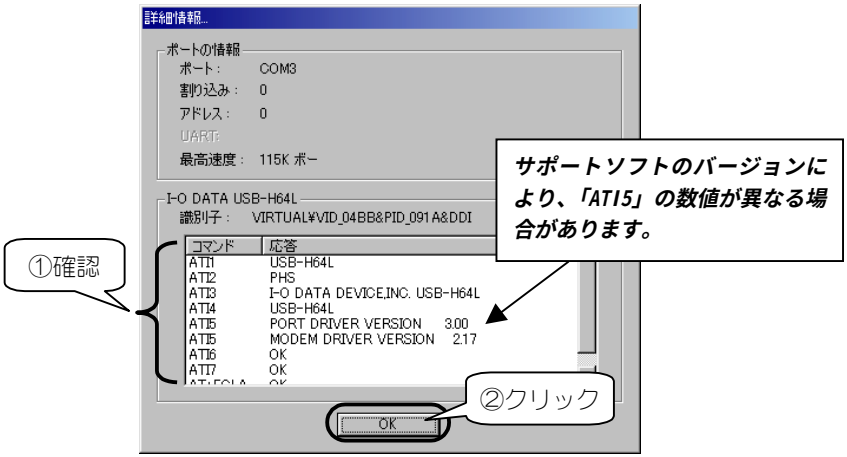
5 端末速度を設定したら、次に本製品とパソコンが正常に通信できるかを確認します。

[検出結果]タブをクリックし、
[I-O DATA USB-H64L]が表示されているポート（画面例ではCOM3 の部分）をクリック後、[詳細]ボタンをクリックします。
※COMの後の数字はお使いの環境によって異なります。



6 [モデムと通信しています]と表示され、しばらくして以下のように表示されたら[OK]ボタンをクリックします。

※[コマンド][応答]の部分が真っ白でなく、[AT・・・・・]と英数字が表示されたら、本製品は正常に認識されています。



「ポートが開けません」などと表示された場合は…

【困ったときには】の248ページをご参照ください。

注意

・この通信テストはパソコンと本製品間のテストであり、電話機を介して通信するテストではありません。
・ポートの情報には最高速度として「115K ボー」と表示されますが、実際の端末速度（パソコンと本製品間の速度）は、前ページ4の手順で指定した速度です。
・[応答]に[ERROR]と表示される場合がありますが、動作上問題ありません。
・[割り込み]、[アドレス]が"0"と表示されていますが、動作上問題ありません。

7 [OK]（または[閉じる]）ボタンをクリックし、[モデムのプロパティ]画面を閉じます。

ここまでで、本製品とパソコンが正しく通信できることが確認できました。
次に次ページで発信情報を設定してください。

ステップ 4

準備編

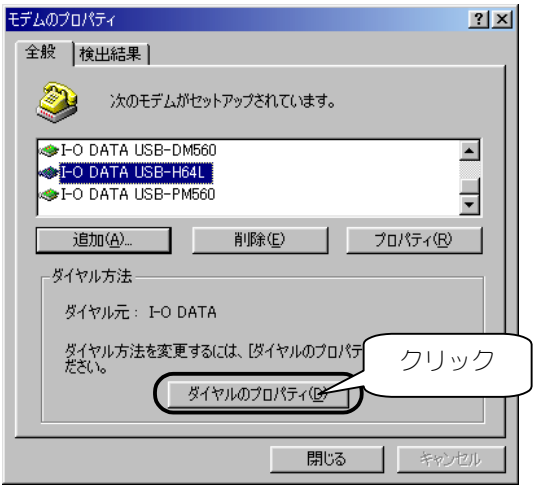
発信情報を設定する

インターネットをはじめ通信ソフトなどを利用するには、パソコンから発信するための情報（発信情報）を設定しておく必要があります。
設定は、Windows の［モデム］アイコンで行います。
本製品を USB ポートに接続したままで設定してください。

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、[モデム]アイコンをダブルクリックします。

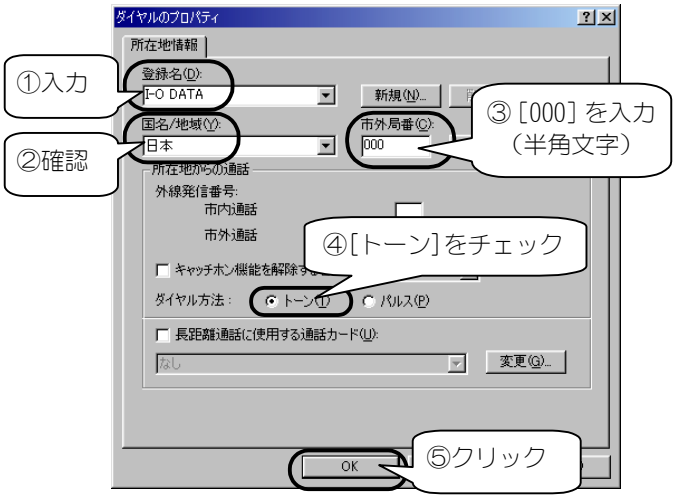


2 [ダイヤルのプロパティ]ボタンをクリックします。



3 以下の画面で必要な情報を設定し、[OK]ボタンをクリックします。

No.	項目	設定内容
①	登録名	任意の登録名（お好きな名前）を入力
②	国名／地域	[日本]であることを確認
③	市外局番	[000]などの存在しない数値を入力（半角文字） ※電話機は市外局番から発信するので、このような仮の値を設定しておきます。 （設定しないと市外局番から発信できません。）
④	ダイヤル方法	[トーン]を選択



4 [OK]（または[閉じる]）ボタンをクリックし、[モデムのプロパティ]画面を閉じます。

ここまでで、本製品がパソコンに正しく認識され、使用できることが確認できました。
1度これらのインストールや設定を行えば、今後はパソコンを起動するだけで使えるようになります。

実際に本製品を使う前に、【ステップ5】(次ページ)を参照して、本製品の接続や取り外し方を確認しておいてください。

本製品を使って…

インターネットを楽しみたい	→【Windows 98 でインターネットに接続するには】(181 ページ)へ
Lotus NOTES でモバイル通信したい	→【Lotus NOTES でモバイル通信したい】(266 ページ)へ

ステップ 5

準備編

接続/取り外しについて

本製品のパソコンへの接続および取り外しは、以下のいずれでも構いません。

・パソコンの電源を切っている状態で接続する、取り外す

・パソコンの電源が入っている状態で接続する、取り外す

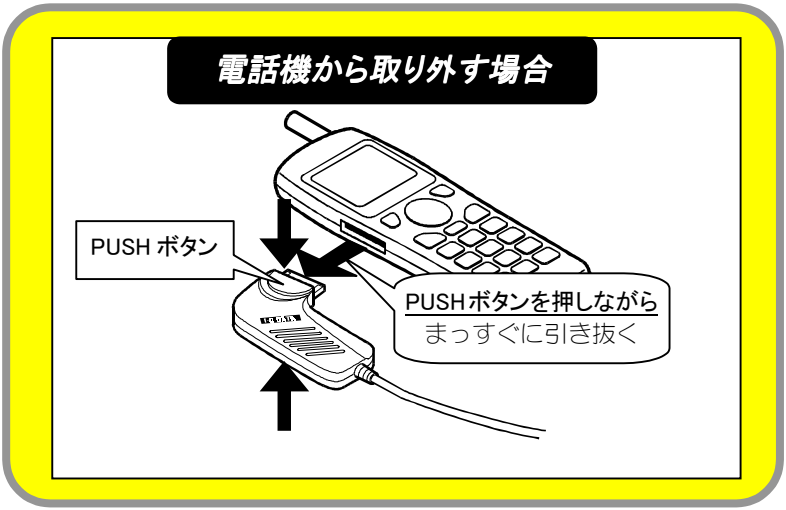
パソコンの電源が入っている時に取り外す場合は、本製品を使用していない（回線切断中である）事を確認してから行ってください。

電話機から本製品を取り外す場合

電話機から本製品を取り外す際は、以下のように行ってください。

注意

本製品を取り外す場合は、PUSH ボタンを上下でつまんで（押しながら）まっすぐ引き抜いてください。（以下の図参照）
PUSH ボタンを押さずに無理に引き抜くと、ケーブルやコネクタが破損する原因になります。



インターネット接続編

Windows 98 で インターネットに接続するには

【準備編】(【ステップ１】(163 ページ)～【ステップ５】(180 ページ)) が終了したら、いよいよインターネットに接続してみましょう。

ステップ 1

接続前の準備 ····· *182ページ*

インターネットに接続する上で必要な確認事項について説明します。

- プロバイダとの契約
- 通信方式の確認
- パソコン、本製品、電話機の準備

ステップ 2

接続に必要なソフトウェア ····· *185ページ*

インターネットに接続するために必要なソフトウェアについて説明します。

- ダイヤルアップアダプタ
- TCP/IP
- ダイヤルアップネットワーク

ステップ 3

通信方式を設定する ····· *195ページ*

通信方式に応じた設定について説明します。

ステップ 4

インターネットを楽しもう ····· *199ページ*

【ステップ２】で設定した［ダイヤルアップネットワーク］で実際にインターネットに接続してみましょう。

ステップ 5

通信方式を変更する場合 ····· *204ページ*

通信方式を変更する場合の手順について説明します。

ステップ 1

インターネット接続編

接続前の準備

インターネットに接続するには、以下をまず準備しておく必要があります。順にチェックしておいてください。

準備1：プロバイダとの契約

インターネット・サービスを受けるために、プロバイダとダイヤルアップ IP 接続の契約を行ってください。

契約時に入手した資料について

プロバイダとの契約後、パソコンからインターネット接続するために以下が記載されている資料を受け取ります。

パソコンにインターネット接続するための設定をする際（185 ページ【ステップ２】）、また、インターネットに接続する際（199 ページ【ステップ４】）に必要となりますので、準備しておいてください。

・ユーザー名
・パスワード
・接続先の電話番号
・ネームサーバーアドレス※
　プライマリ DNS サーバー
　セカンダリ DNS サーバー

※ネームサーバーアドレス（プライマリ DNS サーバー、セカンダリ DNS サーバー）は、プロバイダによっては指定がない場合もあります。
指定がない場合は特に設定する必要はありません。

準備2：通信方式の確認

本製品は、以下の通信方式に対応しています。

・PIAFS 対応通信方式

DDI ポケットの通信方式	通信方式	最大速度
PIAFS 2.1 方式（初期設定）	回線交換	64kbps
PIAFS 1.0 方式		32kbps

・ISDN 同期 64kPPP 通信方式

DDI ポケットの通信方式	通信方式	最大速度
無線インターネット方式	回線交換	32kbps

・*アナログモデム用通信方式*

DDI ポケットの通信方式	通信方式	最大速度
無線モデム/FAX 方式	回線交換	14.4kbps



「PIAFS」とは
→「ピアフ」と読みます。PHS の端末を使ったデジタルデータ通信規格のことです。

本製品の初期設定時には、前ページの［PIAFS 2.1 方式］の設定になっていますが、［PIAFS 2.1 方式］でご利用になる場合は、以下のすべての条件を満たしていないと 64kbps での通信ができません。

- *プロバイダ(接続先の電話番号)が PIAFS 2.1 に対応している*
- *電話機が PIAFS 2.1 に対応している*
- *ご利用の場所が 64K サービスエリアである*

事前に確認しておいてください。

（通常、PIAFS 2.1 に対応している場合は、PIAFS 1.0 にも対応しています。）

※同じプロバイダであっても、PHS で接続する場合と、電話回線でつないだモデムや TA で接続する場合では、通信方式が違うため、アクセスポイント（電話番号）も異なる（別になっている）場合があります。
※複数のプロバイダに接続する場合にもそれぞれすべてのプロバイダの通信方式を確認しておいてください。



・プロバイダが PIAFS 2.1 に対応しているか、また、ご利用場所が 64k サービスエリアかは、プロバイダにご確認ください。
・電話機が PIAFS 2.1 に対応しているかは、電話機の取扱説明書、あるいは、電話機器メーカーにご確認ください。

準備3：パソコン、本製品、電話機の準備

パソコン、本製品、電話機があればインターネットに接続できます。
ただし、以下の確認を行っておいてください。

チェック1：電話機の電源

電話機の電源が入っていることを確認してください。

チェック2：電話機と本製品の接続

電話機と本製品が接続されていることを確認してください。

チェック3：電話機の電波の状態

電話機の電波の状態が良好なことを確認してください。
※電話機でその場から正常に通話できることを確認しておいてください。



電話機の電波が弱い場合は、正常にインターネットなどに接続できなかったり、通信中に切れる場合があります。アンテナレベルが最高になっていることを、電話機の液晶画面などで確認してから、インターネットなどに接続してください。

ステップ 2

インターネット接続編

接続に必要なソフトウェア

インターネットに接続するには、以下および次ページのソフトウェアがインストールおよび設定されている必要があります。

①本製品のドライバソフトウェア

【インストールする】(163 ページ)でインストールした本製品を使用するためのソフトウェアです。
【インストールは正常ですか？】(171 ページ)で正常にインストールされているか確認しておきましょう。

[デバイスマネージャ]画面での以下の表示の確認
①[モデム]の下の[I-O DATA USB-H64L]の表示
②[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]の下の
[I-O DATA USB-H64L Modem]の表示



次ページ以降で
説明します。

②ダイヤルアップを行うためのソフトウェア

ダイヤルアップを行ってプロバイダに接続するためのソフトウェアです。
詳細な設定は、次ページ以降を参照してください。

③Web ブラウザやメールソフトウェア

インターネットに接続する際に特に必要ではありませんが、接続後に、ホームページなどを見るためのソフトウェアです。
Windows 98 には、Web ブラウザとして Internet Explorer が標準でインストールされています。

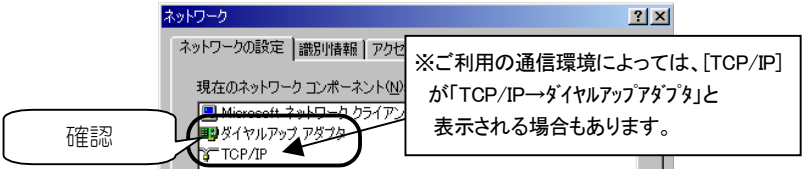
ここでは、次ページ以降で[ダイヤルアップアダプタ]と[TCP/IP]の確認、および、[ダイヤルアップアダプタ]の設定について説明します。はじめてインターネットに接続する場合、また、以前の設定はそのまま残して新しい設定を作る場合にも、次ページ以降を参照してください。

[ダイヤルアップアダプタ]と[TCP/IP]を確認する

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。



2 [ダイヤルアップアダプタ]と[TCP/IP]（または[TCP/IP->ダイヤルアップアダプタ]）があることを確認し、[OK]ボタンをクリックします。



[ダイヤルアップアダプタ]や[TCP/IP]が表示されない場合は…

【困ったときには】の 254 ページをご参照ください。

[ダイヤルアップネットワーク]を設定する

インターネットに接続するには、パソコンからプロバイダなどにダイヤルアップするためのソフトウェア[ダイヤルアップネットワーク]を設定する必要があります。

本製品を USB ポートに差し込んだままで設定してください。

はじめて［ダイヤルアップネットワーク］の設定を行う場合、または、以前の設定はそのまま残して新しい設定を作る場合は、次ページ【新しい設定を作るとき】を行います。

参考

ダイヤルアップとは

→電話回線などの公衆網を利用して、インターネットに接続できる通信業者（プロバイダ）に接続すること。

参考

すでにダイヤルアップ接続（インターネット）の設定を行っていて、設定内容を変更する場合は 192 ページ【設定を変更するとき】をご覧ください。

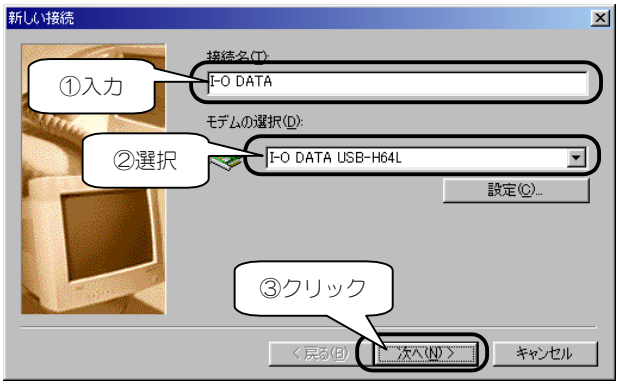
新しい設定を作るとき

1 インターネットプロバイダから入手した[ユーザー名]や[パスワード]などが記載されている資料をご用意ください。

2 [マイコンピュータ]→[ダイヤルアップネットワーク]→[新しい接続]アイコンを順にダブルクリックします。

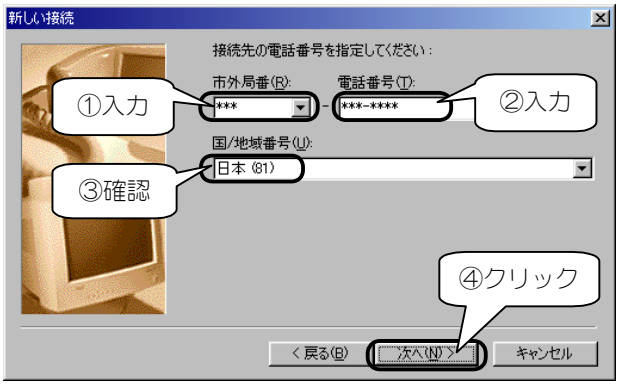


3 [接続名]欄に任意の接続名(お好きな名前)を入力し、モデムの選択欄から[I-O DATA USB-H64L]を選び、[次へ]ボタンをクリックします。



4　以下を設定後、[次へ]ボタンをクリックします。

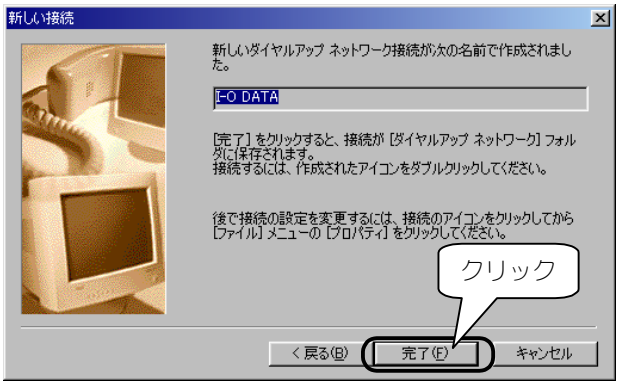
市外局番	接続先（プロバイダ）の市外局番 ※ダイヤル先が市内であっても、必ず市外局番から入力してください。
電話番号	接続先（プロバイダ）の電話番号
国番号	[日本]



注意

[市外局番][電話番号]欄の「*」「***-****」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号を入力してください。**

5　[完了]ボタンをクリックします。



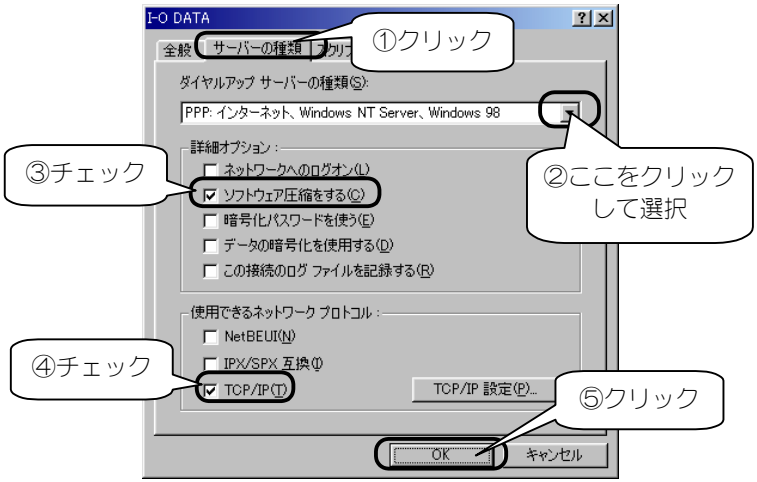
6 新しく作成したアイコンが[ダイヤルアップネットワーク]画面に**3** の手順で指定した接続名が表示されます。
新しく作成したアイコンを右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。



7 [サーバーの種類]タブをクリックし、
以下のように設定します。

・[ダイヤルアップサーバーの種類]では
　[PPP:インターネット、Windows NT Server、Windows 98]を選択
・[詳細オプション]で[ソフトウェア圧縮をする]にチェック
・[使用できるネットワークプロトコル]で[TCP/IP]のみにチェック

プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合は次ページを参照してください。
設定後、[OK]ボタンをクリックします。

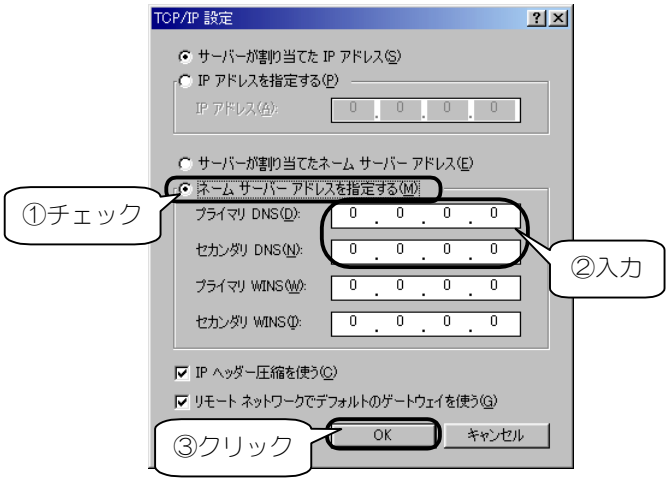


●プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合

1 前ページ**7** の手順の画面で、[TCP/IP 設定]ボタンをクリックします。

2 以下を設定します。
- [ネームサーバーアドレスを指定する]をチェックします。
- [プライマリ DNS]欄にプライマリ DNS を、[セカンダリ DNS]欄にセカンダリ DNS の値を入力します。

設定後、[OK]ボタンをクリックします。



注意

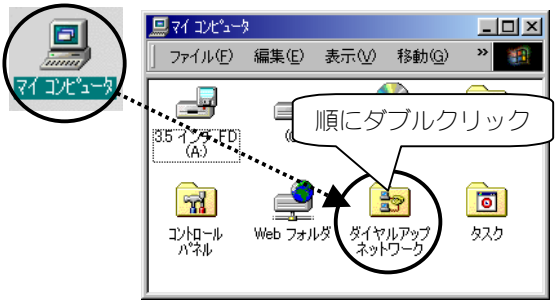
・ネームサーバーアドレスの入力内容がわからない場合は、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。
・プロバイダによっては、IP アドレスの設定が必要な場合もあります。必要な設定内容については、ご契約のプロバイダに確認してください。

以上で、[ダイヤルアップネットワーク]の設定は終了です。
次に通信方式の設定を行います。
195 ページ【通信方式を設定する】にお進みください。

設定を変更するとき

本製品を使用する前に、すでに他のモデムなどを使用していて、［ダイヤルアップネットワーク］の設定を終了して場合には、以下の手順のように、［接続の方法］を本製品に切り替えるだけでも設定できます。

1 [マイコンピュータ]→[ダイヤルアップネットワーク]アイコンを順にダブルクリックします。



［ダイヤルアップネットワーク］が表示されない場合は…

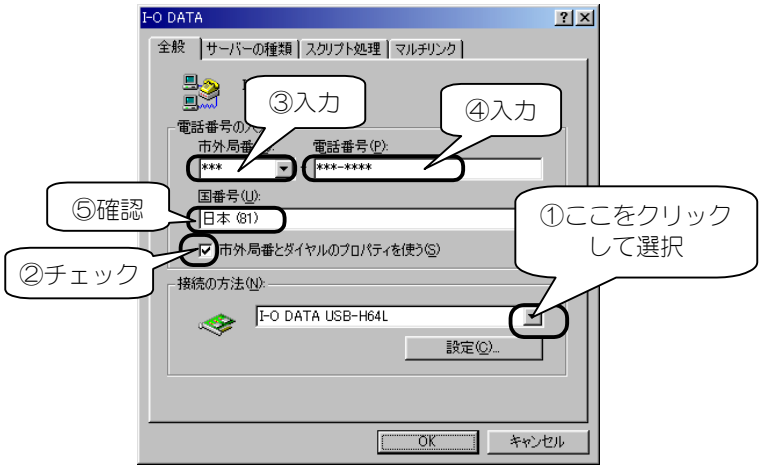
【困ったときには】の 252 ページをご参照ください。

2 変更したい接続のアイコンを右クリックして、表示された[プロパティ]をクリックします。



3 以下のようにプロバイダの電話番号などを入力しします。

①[接続の方法]は、[I-O DATA USB-H64L]を選択します。
②[市外局番とダイヤルのプロパティを使う]をチェックします。
③[市外局番]欄には、接続先の市外局番を入力します。
※接続先が市内でも、必ず市外局番を入力してください。
④[電話番号]欄には、接続先の電話番号を入力します。
⑤[国番号]欄は、「日本」であることを確認します。



注意

[市外局番][電話番号]欄の「*」「***-****」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号を入力してください。**

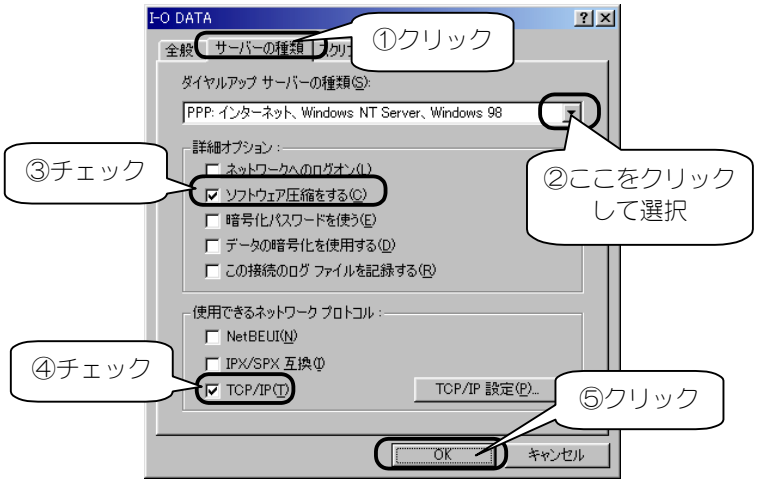
4 [サーバーの種類]タブをクリックし、
以下のように設定します。

・[ダイヤルアップサーバーの種類]では
[PPP:インターネット、Windows NT Server、Windows 98]を選択

・[詳細オプション]で[ソフトウェア圧縮をする]にチェック

・[使用できるネットワークプロトコル]で[TCP/IP]のみにチェック

プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合は、191ページを参照して設定してください。
設定後、[OK]ボタンをクリックします。



5 [OK]ボタンをクリックし、画面を閉じます。

以上で、[ダイヤルアップネットワーク]の設定は終了です。
次に通信方式の設定を行います。
次ページ【通信方式を設定する】にお進みください。

ステップ 3

インターネット接続編

通信方式を設定する

本製品は、以下の通信方式に対応しています。

・*PIAFS 対応通信方式*

DDI ポケットの通信方式	通信方式	最大速度
PIAFS 2.1 方式（初期設定）	回線交換	64kbps
PIAFS 1.0 方式		32kbps

・*ISDN 同期 64kPPP 通信方式*

DDI ポケットの通信方式	通信方式	最大速度
無線インターネット方式	回線交換	32kbps

・*アナログモデム用通信方式*

DDI ポケットの通信方式	通信方式	最大速度
無線モデム/FAX 方式	回線交換	14.4kbps

【ステップ２】までの手順では、本製品は、上記の[PIAFS 2.1 方式]で使用する設定になっていますが、[PIAFS 2.1 方式]でご利用になる場合は、以下のすべての条件を満たしていないと 64kbps での通信ができません。

- *プロバイダ(接続先の電話番号)が PIAFS 2.1 に対応している*
- *電話機が PIAFS 2.1 に対応している*
- *ご利用の場所が 64k サービスエリアである*

上記を満たしている場合は、【ステップ４】199 ページへお進みください。
上記を満たしていない場合は、次ページを参照して、設定し直してください。

※同じプロバイダであっても、PHS で接続する場合と、電話回線でつないだモデムや TA で接続する場合では、通信方式が違うため、アクセスポイント（電話番号）も異なる（別になっている）場合があります。
※複数のプロバイダに接続する場合にもそれぞれすべてのプロバイダの通信方式を確認しておいてください。

注意

・プロバイダが PIAFS 2.1 に対応しているか、また、ご利用場所が 64k サービスエリアかは、プロバイダにご確認ください。
・電話機が PIAFS 2.1（64k データ通信）に対応しているかは、電話機の取扱説明書、あるいは、電話機器メーカーにご確認ください。

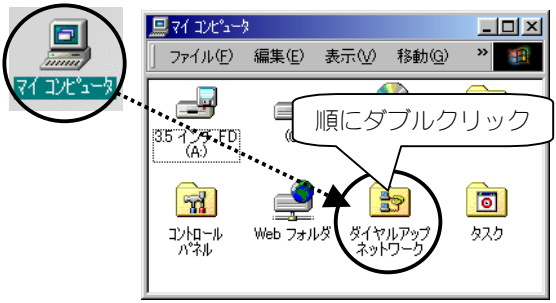
参考

ここでの設定は、1つのプロバイダのみに接続する場合（1つの通信方式しか使用しない場合）の設定です。
複数のプロバイダに接続する場合など、プロバイダ毎に通信方式を変更したい場合は、接続する際に設定し直すこともできます。手順については、【ステップ5　通信方式を変更する場合】（204 ページ）を参照してください。

通信方式に応じて設定する

通信方式に応じた設定をします。
設定は、【ステップ2】で作成した［ダイヤルアップネットワーク］アイコンで行います。本製品を USB ポートに差し込んだままで設定してください。

1 ［マイコンピュータ］→［ダイヤルアップネットワーク］アイコンを順にダブルクリックします。



2 変更したい接続のアイコンを右クリックして、
表示された[プロパティ]をクリックします。



3 [接続方法]に本製品を選択し、
[市外局番][電話番号]欄に次ページの【通信方式に応じた設定】を行います。
設定後、[OK]ボタンをクリックして画面を閉じてください。



注意

[市外局番][電話番号]欄の「*」「***-****」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号が表示されていることを確認してください。**

●通信方式に応じた設定

通信方式に応じた設定は、前ページ画面の［市外局番］［電話番号］欄を以下のお使いの通信方式に応じた電話番号に変更後、さらに電話番号の末尾に以下の**【追加する文字】(すべて半角)**を追加すれば設定できます。

・PIAFS 対応の電話番号の場合

	追加する文字
PIAFS 2.1 方式(初期設定)の場合→	追加なし （電話番号のみ）
PIAFS 1.0 方式の場合　→	##3

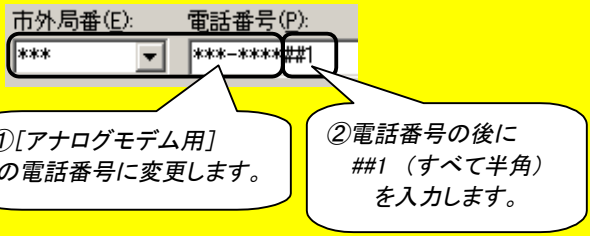
・ISDN 用の電話番号の場合

	追加する文字
無線インターネット方式の場合　→	##2

・アナログモデム用の電話番号の場合

	追加する文字
無線モデム/FAX 方式の場合　→	##1

入力例)上記[アナログモデム用の電話番号]の場合



これで通信方式に応じた設定は終了です。
次ページ【インターネットを楽しもう】を参照して、さっそくインターネットに接続してみましょう。

ステップ
4

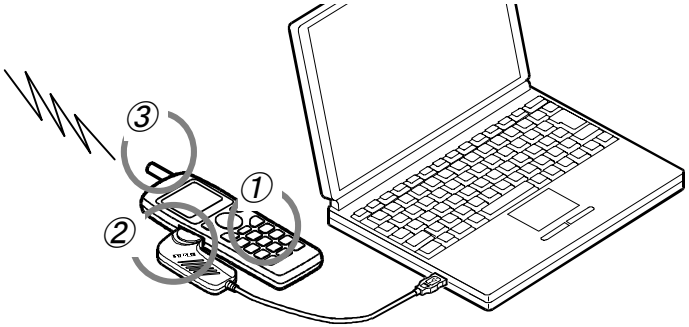
インターネット接続編

インターネットを楽しもう

ここまでの設定がすべて終了すれば、いよいよインターネットへの接続です。

接続する際のチェック項目

インターネットに接続する際は、電話機を操作する必要は特にありませんが、毎回以下を確認してから、本製品をパソコンに取り付け、インターネットに接続してください。



チェック①：電話機の電源

電話機の電源が入っていることを確認してください。

チェック②：電話機と本製品の接続

電話機と本製品が接続されていることを確認してください。

※電話機の電源が入っている状態でも問題ありません。

チェック③：電話機の電波の状態

電話機の電波の状態が良好なことを確認してください。

※電話機でその場から正常に通話できることを確認しておいてください。

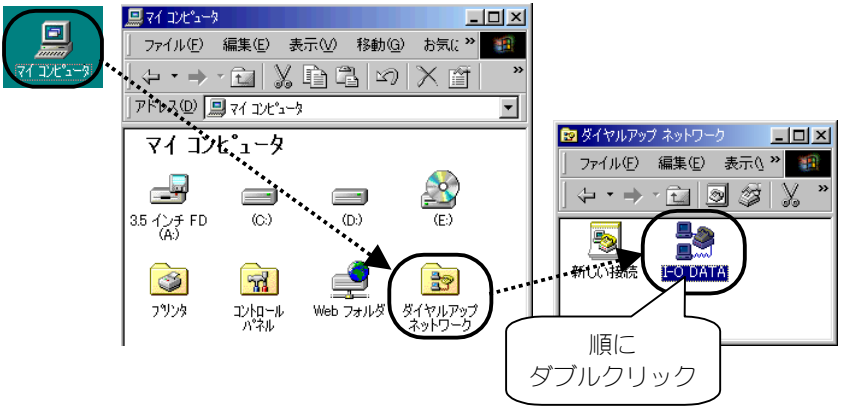
注意

電話機の電波が弱い場合は、正常にインターネットなどに接続できなかったり、通信中に切れる場合があります。アンテナレベルが最高になっていることを、電話機の液晶画面などで確認してから、インターネットなどに接続してください。

インターネットに接続する

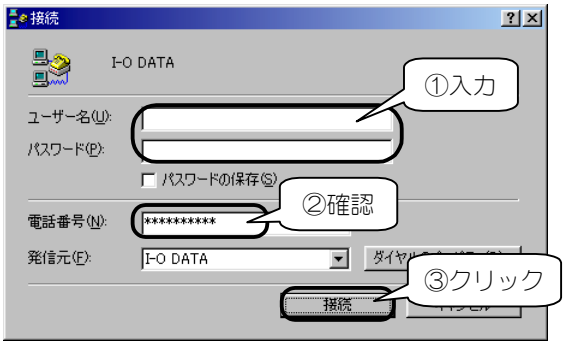
インターネットへの接続は、【[ダイヤルアップネットワーク] を設定する】(187 ページ) で作成した[ダイヤルアップネットワーク]で行います。

1 [マイコンピュータ]→[ダイヤルアップネットワーク]→作成した接続のアイコンを順にダブルクリックします。



2 プロバイダから通知された[ユーザー名]と[パスワード]を入力して、[電話番号]欄を確認後、[接続]ボタンをクリックします。

[接続]ボタンをクリックすると、プロバイダと通信を開始します。



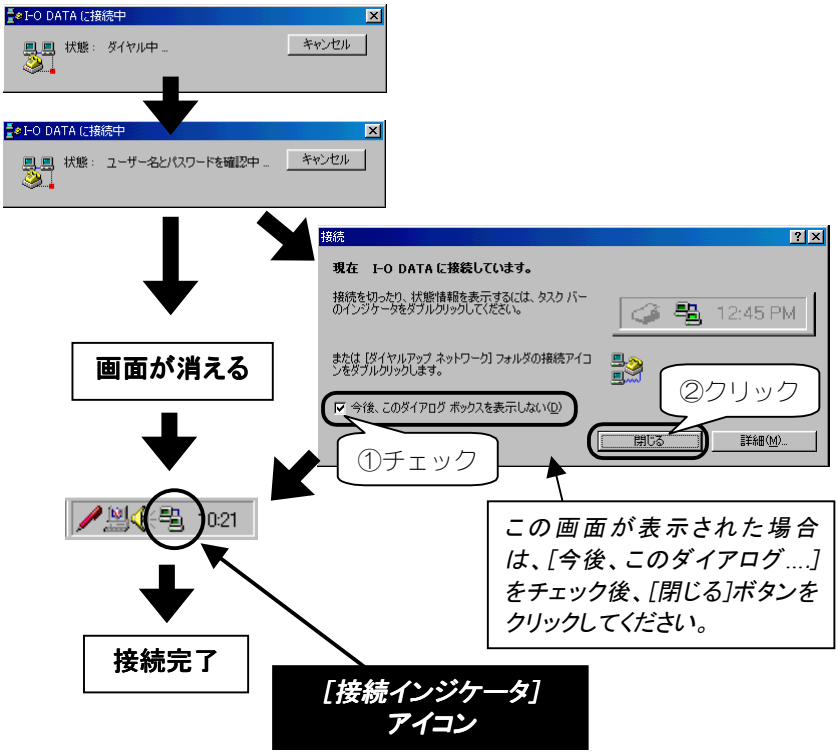
注意

・[電話番号]欄の「********」は、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号が市外局番から表示されていることを確認してください。**
・パスワードは「***」と表示され、入力内容が確認できないので、アルファベットの大文字小文字などを間違えないように注意してください。**

注意

・[パスワードの保存]をチェックすると、次回からパスワードが「*」印で表示されるので、パスワードを入力する必要がありません。セキュリティの必要に応じてお使いください。
・他のモデムも併用している場合、[発信元]欄に本製品用の登録名（174 ページ2の手順の①で入力した[登録名]）を選択してください。

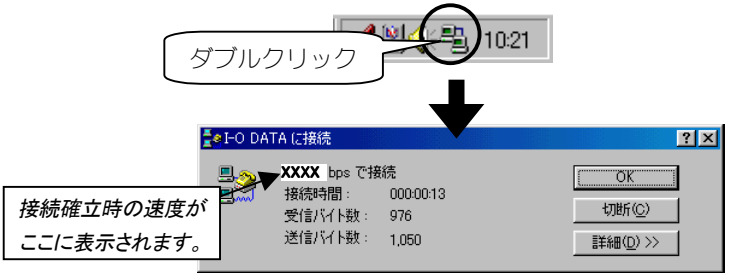
3 しばらくしてパソコンの画面右下のタスクトレイに[接続インジケータ]アイコンが表示されたら、接続完了です。



「回線が使用中です」などと表示された場合は…
【困ったときには】の 249 ページをご参照ください。

[接続インジケータ]アイコンが表示されない場合は…
【困ったときには】の 251 ページをご参照ください。

4 接続状況は、[接続インジケータ]アイコンを
ダブルクリックすれば確認できます。



5 ブラウザや電子メールソフトを起動してお楽しみください。
接続中は、常時[接続インジケータ]が表示されています。

インターネットを終了する

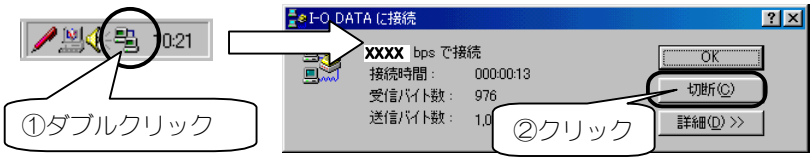
インターネットを終了する場合は、ブラウザや電子メールを終了するだけでなく、必ず以下の手順を行ってください。

注意

・ブラウザや電子メールを終わっただけでは電話回線は切断されません。必ず以下の[切断]ボタンをクリックしてください。クリック後、電話機の通話が終わっていること、また、[接続インジケータ]が消えることを必ず確認してください。
・電話機の通話だけを切ってもパソコン側の通信は終了しません。必ずパソコン側で切断してください。

1 インターネット利用が終わったら、画面右下の[接続インジケータ]をダブルクリックし、[切断]ボタンをクリックします。

これで電話回線が切断され、画面右下の[接続インジケータ]が消えます。
電話機の通話も自動的に切断されますので、液晶表示を見て通話が終わっていることを確認してください。



以上で、インターネットは終了できました。

ステップ 5

インターネット接続編

通信方式を変更する場合

通信方式（PIAFS 2.1、PIAFS 1.0）は、【ステップ３】（195 ページ）で設定することができますが、複数の通信方式でご利用になる場合などに、接続する際に通信方式を設定することもできます。

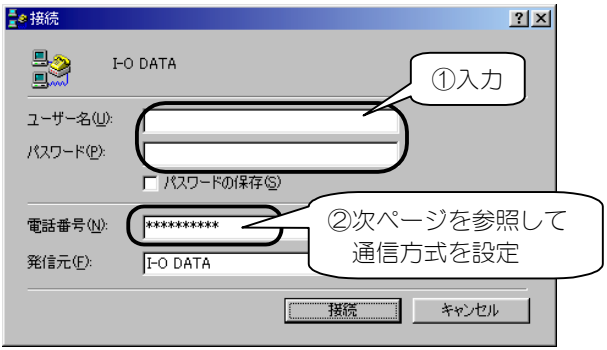
注意

以下の設定は、1 回限りなので、インターネットへの接続が終了すると元の設定に戻ります。
設定を保存しておきたい場合は、【ステップ3】（195 ページ）の手順で設定してください。

今回だけ通信方式を変えて接続する方法

1 ダイヤルアップ接続画面（200ページ*2* の手順の画面）を表示させます。

2 [ユーザー名][パスワード]入力後、
[電話番号]欄に次ページを参照して、通信方式を設定します。



注意

[電話番号]欄の「********」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号が市外局番から表示されていることを確認してください。**

●通信方式に応じた設定

通信方式に応じた設定は、前ページ画面の［電話番号］欄を以下のお使いの通信方式に応じた電話番号に変更後、さらに電話番号の末尾に以下の**【追加する文字】(すべて半角)**を追加すれば設定できます。

・PIAFS 対応の電話番号の場合

	追加する文字
PIAFS 2.1 方式(初期設定)の場合→	追加なし （電話番号のみ）
PIAFS 1.0 方式の場合　→	##3

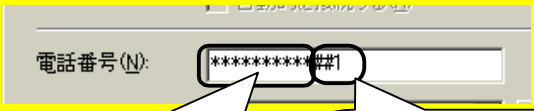
・ISDN 用の電話番号の場合

	追加する文字
無線インターネット方式の場合　→	##2

・アナログモデム用の電話番号の場合

	追加する文字
無線モデム/FAX 方式の場合　→	##1

入力例)上記[アナログモデム用の電話番号]の場合



①[アナログモデム用]の電話番号に変更します。

②電話番号の後に##1 （すべて半角）を入力します。

3　[接続]ボタンをクリックすれば、設定した通信方式でインターネット接続します。

MEMO

6 Mac OS で使うには

～ *準備編* ～

本製品で通信できるまでの流れ…… 208ページ
ステップ1 Mac OS のバージョンを確認する‥ 209ページ
ステップ2 設定ファイルをコピーする・ 210ページ
ステップ3 パソコンに接続する…… 212ページ
ステップ4 接続が正しいかを確認する 214ページ

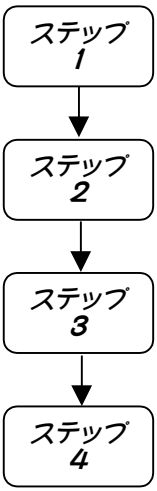
～ *インターネット接続編* ～

Mac OS でインターネットに接続するには・ 215ページ
ステップ1 接続前の準備…… 216ページ
ステップ2 接続に必要なソフトウェア・ 219ページ
ステップ3 インターネットを楽しもう … 234ページ
ステップ4 通信方式を変更する場合・ 239ページ

準備編

本製品で通信できるまでの流れ

本製品を利用して、インターネットをはじめ通信ソフトなどを使用するには、最初に本製品を使用できるようにする設定、またパソコン側での設定が必要です。
ここでは、本製品を使用して、パソコンから通信できるようにするまでの手順について説明します。
以下の流れに沿ってお進みください。



Mac OS のバージョンを確認する ····· 209ページ
本製品を使用できるMac OSのバージョンの確認手順について説明します。

設定ファイルをコピーする ····· 210ページ
本製品を使用するために必要なモデム設定ファイルをコピーする手順について説明します。

パソコンに接続する ····· 212ページ
本製品をパソコンに接続する手順について説明します。

接続が正しいかを確認する ····· 214ページ
正しく接続されているかの確認方法を説明します。

ステップ 1

準備編

Mac OS のバージョンを確認する

ご使用の Macintosh が、Mac OS 8.6 未満では本製品は使用できません。
以下の手順で、Mac OS のバージョンを確認してください。
8.6 未満の場合には、バージョンアップしてください。

1 [Apple システム・プロフィール]を選択します。

[Apple]メニューをクリックして、表示された[Appleシステム・プロフィール]をクリックします。



2 Mac OSのバージョンを確認します。



参考

Mac OS のバージョンが 8.6 未満の場合は

→Mac OS を 8.6～9.2.1 にバージョンアップしてください。(8.6 未満では本製品は使用できません。)バージョンアップ後、次ページ【設定ファイルをコピーする】へ進んでください。

Mac OS のバージョンが 8.6～9.2.1 の場合は

→これ以上の作業は必要ありません。次ページ【設定ファイルをコピーする】へ進んでください。

ステップ 2

準備編

設定ファイルをコピーする

「サポートソフト」CD-ROM 内の「USB ドライバ」と「モデム設定ファイル」(CCL ファイル) をパソコンにコピーします。
ここで説明する作業は、最初に１度だけ行います。
次回からは、本製品の USB コネクタを差し込むだけで使用できます。

注意

以下の作業は、USB ポートに本製品を接続する前に行ってください。

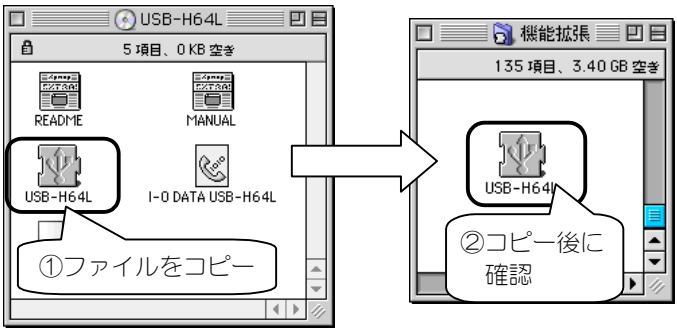
1 パソコンの電源を入れ、Mac OSを起動します。

2 「サポートソフト」CD-ROMを
CD-ROMドライブにセットします。
デスクトップ上にCD-ROMアイコンが表示されます。

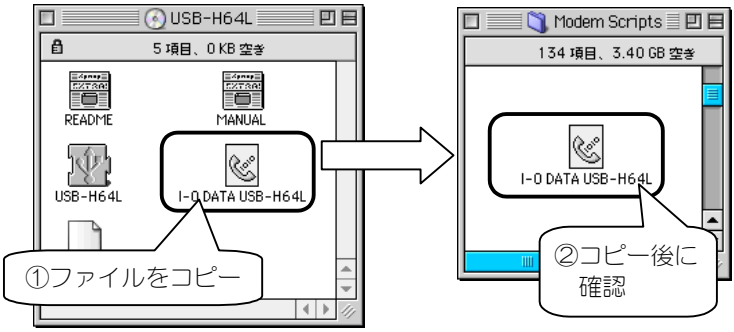


3 CD-ROM アイコンをダブルクリックして、
[USB-H64L]内にある[USB-H64L]を[機能拡張]フォルダ※へ
コピーします。
※[機能拡張]フォルダは、Mac OSがインストールされているドライブの
[システムフォルダ]の中にあります。

サポートソフトをお使いのパソコンのハードディスクにコピーした場合は
→コピー先のハードディスクをダブルクリックして開きます。



4 [I-O DATA USB-H64L]を
[システムフォルダ]内の[機能拡張]フォルダの[Modem Scripts]
フォルダへコピーします。



以上でソフトウェア側の準備はOKです。
次ページへお進みください。

ステップ 3

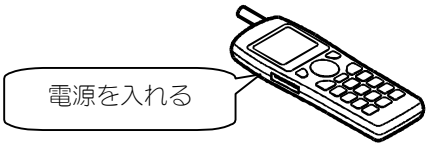
準備編

パソコンに接続する

本製品をパソコンに接続します。

1 パソコンの電源を入れ、Mac OSを起動します。

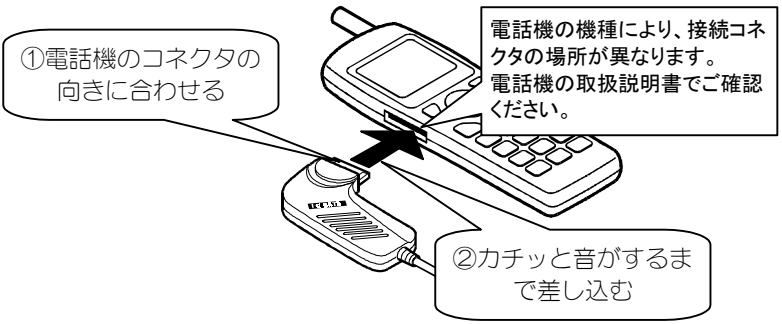
2 電話機の電源を入れます。



参考

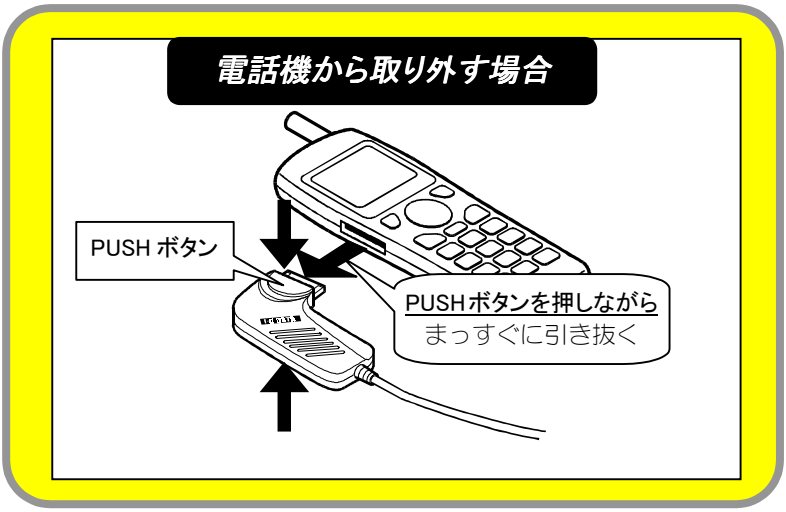
以下の3 の手順で電話機と本製品を接続しますが、電話機の電源が入っている状態でも問題ありません。(接続後に電話機の電源を入れることもできます。)

3 電話機の接続コネクタに付いているカバーを取り外し、本製品を接続します。



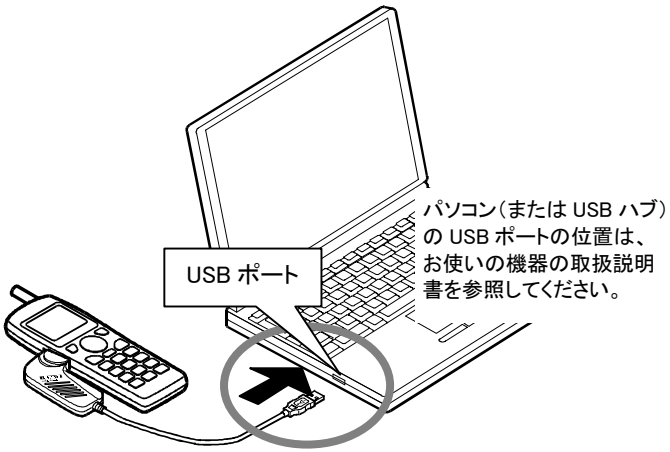
注意

・本製品と電話機を接続する場合は、コネクタの向きに注意してください。向きが違ったまま無理に差し込むと故障の原因になります。電話機によってコネクタの場所や向きが異なりますので、電話機の取扱説明書で必ず確認してください。
・本製品を取り外す場合は、PUSH ボタンを上下でつまんで(押しながら)まっすぐ引き抜いてください。(次ページの図参照)
PUSH ボタンを押さずに無理に引き抜くと、ケーブルやコネクタが破損する原因になります。



4 Mac OS のデスクトップ画面が表示されていることを確認後、パソコン（または USB ハブ）の USB ポートに、本製品の USB コネクタを差し込みます。

USBコネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。



以上で接続は終了です。

次ページで、本製品が正しく接続されているかを確認してください。

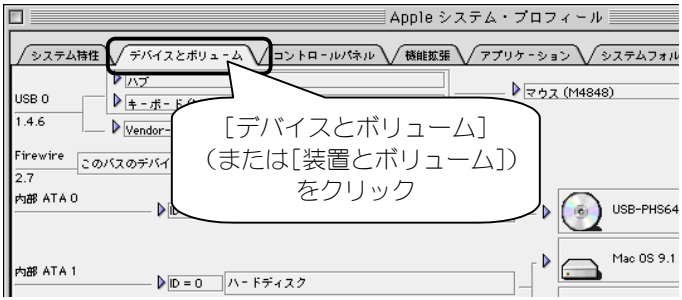
ステップ 4

準備編

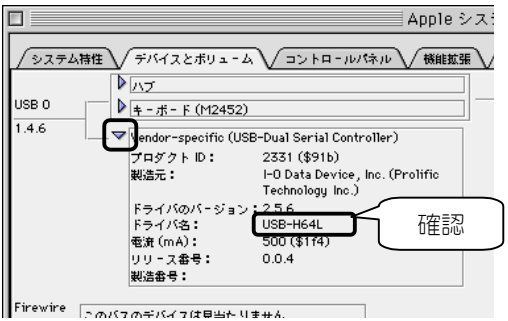
接続が正しいかを確認する

ここでは、【ステップ３】での接続が正しくされているかを Mac OS 上で確認します。

1 [アップルメニュー]→[Appleシステムプロフィール]で[デバイスとボリューム]（または[装置とボリューム]）タブをクリックします。



2 [USB]のところの[Vendor-specific(USB-Dual Serial …)]の 所をクリックし（クリックすると となります）、[USB-H64L]が表示されていることを確認してください。（表示されていない場合は接続を再度確認してください。）

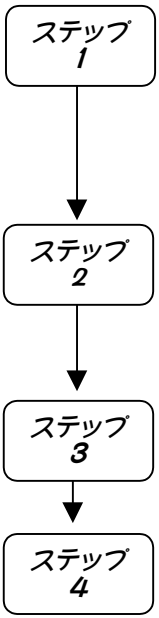


以上で本製品を使う準備ができました。
次ページへお進みになり、本製品をインターネットで活用しましょう。

インターネット接続編

Mac OS で インターネットに接続するには

【準備編】(【ステップ１】(209 ページ)～【ステップ４】(214 ページ)) が終了したら、いよいよインターネットに接続してみましょう。



接続前の準備 ····· ***216ページ***
インターネットに接続する上で必要な
確認事項について説明します。
・プロバイダとの契約
・通信方式の確認
・パソコン、本製品、電話機の準備

接続に必要なソフトウェア ····· ***219ページ***
インターネットに接続するために必要な
ソフトウェアについて説明します。
・らくらく自動設定
・お好み手動設定

インターネットを楽しもう ····· ***234ページ***
［リモートアクセス］で実際にインターネット
に接続してみましょう。

通信方式を変更する場合 ····· ***239ページ***
通信方式を変更する場合の手順について
説明します。

ステップ 1

インターネット接続編

接続前の準備

インターネットに接続するには、以下をまず準備しておく必要があります。順にチェックしておいてください。

準備1:プロバイダとの契約

インターネット・サービスを受けるために、プロバイダとダイヤルアップ IP 接続の契約を行ってください。

契約時に入手した資料について

プロバイダとの契約後、パソコンからインターネット接続するために以下が記載されている資料を受け取ります。

パソコンにインターネット接続するための設定をする際（219 ページ【ステップ２】）、また、インターネットに接続する際（234 ページ【ステップ３】）に必要となりますので、準備しておいてください。

- ユーザー名
- パスワード
- 接続先の電話番号
- ネームサーバーアドレス※
  - プライマリ DNS サーバー
  - セカンダリ DNS サーバー

※ネームサーバーアドレス（プライマリ DNS サーバー、セカンダリ DNS サーバー）は、プロバイダによっては指定がない場合もあります。
指定がない場合は特に設定する必要はありません。

準備2:通信方式の確認

本製品は、以下の通信方式に対応しています。

・PIAFS 対応通信方式

DDI ポケットの通信方式	通信方式	最大速度
PIAFS 2.1 方式（初期設定）	回線交換	64kbps
PIAFS 1.0 方式		32kbps

・ISDN 同期 64kPPP 通信方式

DDI ポケットの通信方式	通信方式	最大速度
無線インターネット方式	回線交換	32kbps

・*アナログモデム用通信方式*

DDI ポケットの通信方式	通信方式	最大速度
無線モデム/FAX 方式	回線交換	14.4kbps



「PIAFS」とは
→「ピアフ」と読みます。PHS の端末を使ったデジタルデータ通信規格のことです。

本製品の初期設定時には、前ページの［PIAFS 2.1 方式］の設定になっていますが、［PIAFS 2.1 方式］でご利用になる場合は、以下のすべての条件を満たしていないと 64kbps での通信ができません。

・*プロバイダ(接続先の電話番号)が PIAFS 2.1 に対応している*
・*電話機が PIAFS 2.1 に対応している*
・*ご利用の場所が 64K サービスエリアである*

事前に確認しておいてください。
（通常、PIAFS 2.1 に対応している場合は、PIAFS 1.0 にも対応しています。）

※同じプロバイダであっても、PHS で接続する場合と、電話回線でつないだモデムや TA で接続する場合では、通信方式が違うため、アクセスポイント（電話番号）も異なる（別になっている）場合があります。
※複数のプロバイダに接続する場合にもそれぞれすべてのプロバイダの通信方式を確認しておいてください。



・プロバイダが PIAFS 2.1 に対応しているか、また、ご利用場所が 64k サービスエリアかは、プロバイダにご確認ください。
・電話機が PIAFS 2.1 に対応しているかは、電話機の取扱説明書、あるいは、電話機器メーカーにご確認ください。

準備3：パソコン、本製品、電話機の準備

パソコン、本製品、電話機があればインターネットに接続できます。
ただし、以下の確認を行っておいてください。

チェック①：電話機の電源

電話機の電源が入っていることを確認してください。

チェック②：電話機と本製品の接続

電話機と本製品が接続されていることを確認してください。

チェック③：電話機の電波の状態

電話機の電波の状態が良好なことを確認してください。

※電話機でその場から正常に通話できることを確認しておいてください。



電話機の電波が弱い場合は、正常にインターネットなどに接続できなかったり、通信中に切れる場合があります。アンテナレベルが最高になっていることを、電話機の液晶画面などで確認してから、インターネットなどに接続してください。

ステップ 2

インターネット接続編

接続に必要なソフトウェア

ここでは、インターネット接続の方法として以下の２通りを説明します。
【らくらく自動設定】は、Mac OS 付属の[インターネット接続アシスタント]を使用して、インターネット接続を簡単な操作ですませることができます。
【お好み手動設定】は、Mac OS 付属の[TCP/IP]と[PPP]（本書では[リモートアクセス]）を使用して、お好みの設定ができます。

・らくらく自動設定　　→ 次ページ

・お好み手動設定※　　→ 227 ページ

※この手順は、【らくらく自動設定】で設定した内容を確認する操作としても参照できます。

注意

【お好み手動設定】では、以下のソフトウェアが必要となります。
お使いのパソコンにインストールされていることを確認してください。
（通常、Mac OS 8.6 以降には標準でインストールされています。）

- **TCP/IP（インターネットに必要な通信手順）**
- **PPP**
  （電話回線を用いてプロバイダにダイヤルアップ接続するためのソフト。
  代表的なソフトは Mac OS 8.5 以降の標準ソフト[リモートアクセス]。）

らくらく自動設定

ここでは、[インターネット接続アシスタント]を使ったインターネット接続手順について説明します。

1 [インターネット接続アシスタント]を起動します。

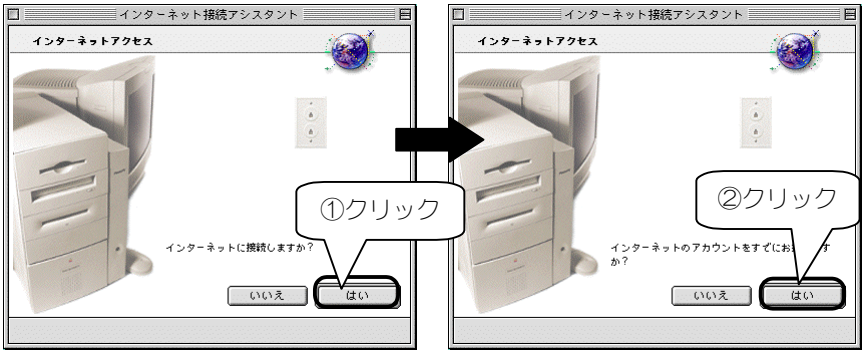
・*Mac OS 8.6/9.0/9.0.4 の場合：*

起動ディスク（例えば Macintosh HD）→[インターネット]フォルダ→[インターネット接続アシスタント]アイコンを順にダブルクリックします。

・*Mac OS 9.1/9.2/9.2.1 の場合：*

起動ディスク（例えばMacintosh HD）→[Applications（Mac OS 9）]フォルダ→[ユーティリティ]フォルダ→[アシスタント]フォルダ→[インターネット接続アシスタント]アイコンを順にダブルクリックします。

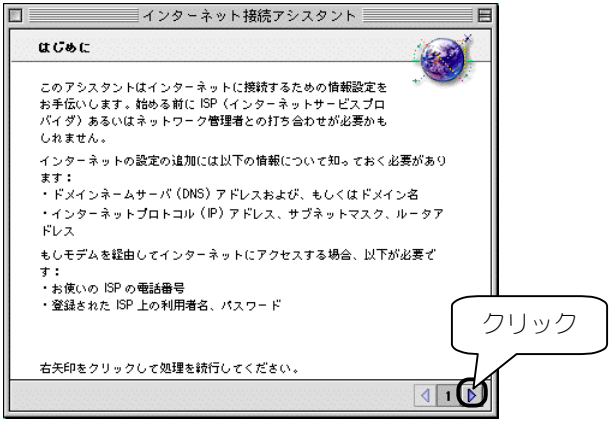
2 [はい]ボタンをクリックして処理を進めます。



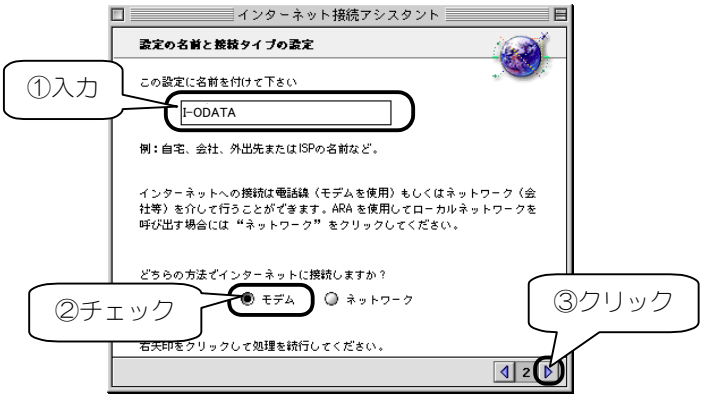
「*情報がないか不適切*」と表示された場合は…

【困ったときには】の 258 ページをご参照ください。

3 内容をよくお読みになり、
画面右下の[▶]ボタンをクリックします。

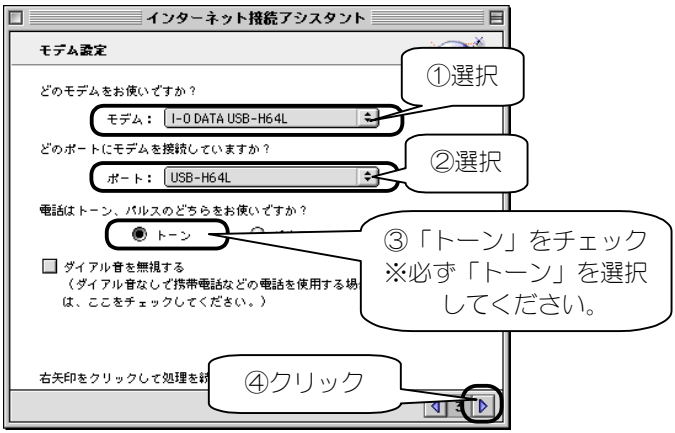


4 以下の各設定を行い、
画面右下の[▶]ボタンをクリックします。
①この設定に任意の名前を入力します。
②[モデム]をチェックします。



5 以下の各設定を行い、画面右下の[▶]ボタンをクリックします。

①[モデム]:　[I-O DATA USB-H64L]を選択します。
②[ポート]:　[USB-H64L]を選択します。
③[電話は…]は、[トーン]をチェックします。



[モデム]に[I-O DATA USB-H64L]が表示されない場合は…

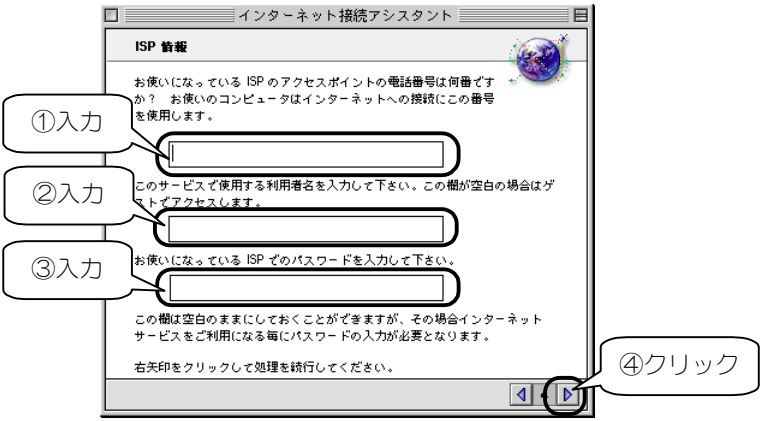
【困ったときには】の 259 ページをご参照ください。

[ポート]に[USB-H64L]が表示されない場合は…

【困ったときには】の 260 ページをご参照ください。

6 以下の各設定を行い、
画面右下の[▶]ボタンをクリックします。

①アクセスポイントの電話番号を市外局番から入力します。
②ユーザー名を入力します。
③パスワードを入力します。



注意

・アクセスポイントの電話番号等、入力内容がわからない場合は、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。
・お使いのアクセスポイントによって追加設定が必要な場合があります。
次ページの表を参照して追加設定してください。
次ページの追加は後から行うこともできます。（239 ページ参照）

●通信方式に応じた設定

本製品の初期設定時には、［PIAFS 2.1 方式］の設定になっていますが、［PIAFS 2.1 方式］でご利用になる場合は、以下のすべての条件を満たしていないと 64kbps での通信ができません。

- *プロバイダ(接続先の電話番号)が PIAFS 2.1 に対応している*
- *電話機が PIAFS 2.1 に対応している*
- *ご利用の場所が 64K サービスエリアである*

上記を満たしていない場合は、前ページ画面の電話番号入力欄を以下のお使いの通信方式に応じた電話番号に変更後、さらに電話番号の末尾に以下の【追加する文字】(すべて半角)を追加して設定してください。

・PIAFS 対応の電話番号の場合

	追加する文字
PIAFS 2.1 方式(初期設定)の場合→	追加なし （電話番号のみ）
PIAFS 1.0 方式の場合　→	##3

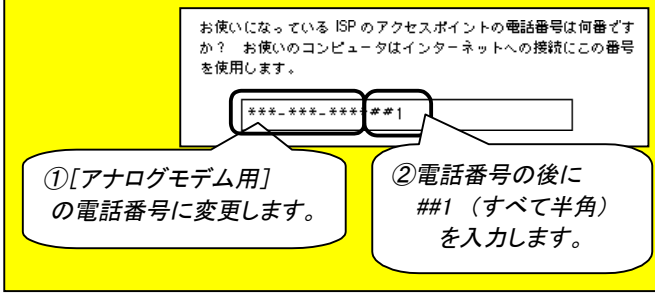
・ISDN 用の電話番号の場合

	追加する文字
無線インターネット方式の場合　→	##2

・アナログモデム用の電話番号の場合

	追加する文字
無線モデム/FAX 方式の場合　→	##1

入力例)上記[アナログモデム用の電話番号]の場合

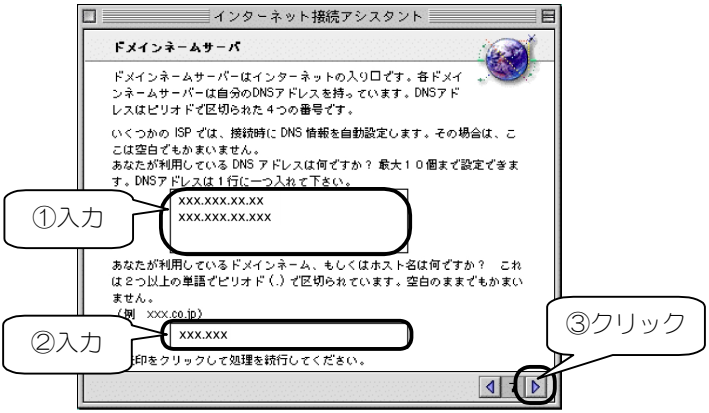


7 後は画面の指示にしたがい適切な内容を設定してから、
画面右下の[▶]ボタンをクリックして、処理を進めてください。

注意

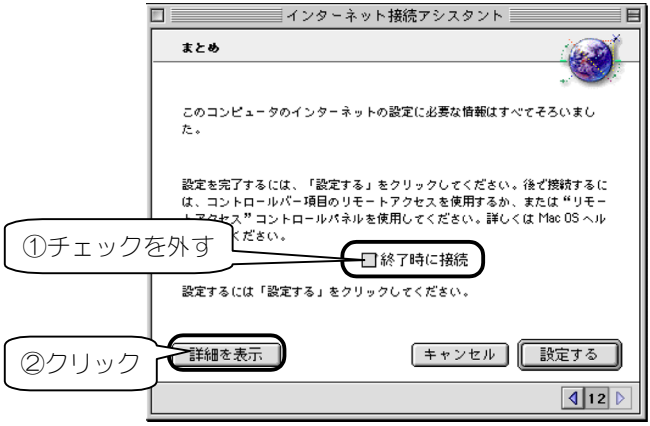
入力内容がわからない場合は、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。

プロバイダからネームサーバーアドレス（プライマリDNS、セカンダリDNS）を案内されている場合は
→[ドメインネームサーバ]画面が表示されたら、以下の各設定を行います。
①[DNS アドレス]欄には、ネームサーバーアドレス（プライマリ DNS、セカンダリ DNS）を改行して（2 行になるように）入力します。
②[ドメインネーム、またはホスト名]欄には、ご契約のプロバイダのドメインネームまたはホスト名を入力します。



③画面右下の[▶]ボタンをクリックして処理を進めてください。

8 [終了時に接続]のチェックを外して、
[詳細を表示]ボタンをクリックします。



9 設定した内容を確認後、[設定する]ボタンをクリックします。
内容を修正したい場合は、画面右下の[◀]ボタンをクリックして、
必要な設定画面に戻り、内容を修正してください。



注意

[ISP 電話番号]欄の「*-***-****」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号が市外局番から表示されていることを確認してください。**

以上でインターネット接続の準備は完了しました。
234 ページ【インターネットを楽しもう】へお進みください。

お好み手動設定

ここでは、[インターネット接続アシスタント]を使用せず、[TCP/IP]と[PPP]（本書では[リモートアクセス]）を使用した場合のインターネット接続手順について説明します。

※この手順は、[インターネット接続アシスタント]で設定した内容を確認する操作としても参照できます。

注意

【お好み手動設定】では、以下のソフトウェアが必要となります。
お使いのパソコンにインストールされていることを確認してください。

- **TCP/IP（インターネットに必要な通信手順）**
- **PPP**
  （電話回線を用いてプロバイダにダイヤルアップ接続するためのソフト。
  代表的なソフトは Mac OS 8.5 以降の標準ソフト[リモートアクセス]。）

■ [TCP/IP]の設定■

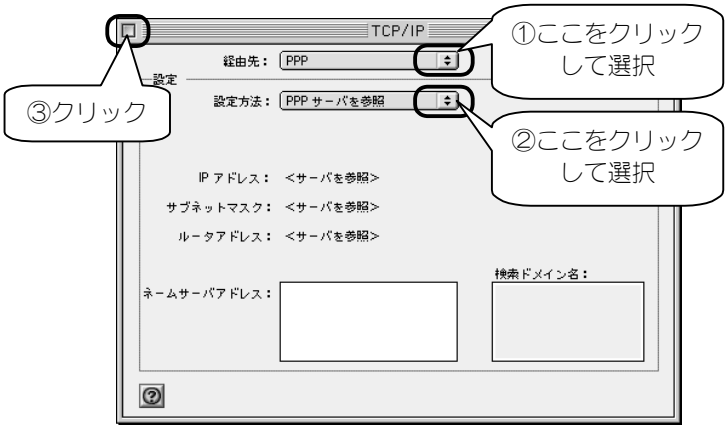
1 アップルメニュー→[コントロールパネル]→[TCP/IP]を順にクリックします。

2 以下の各設定を行い、画面左上の ボタンをクリックして画面を閉じます※。

①[経由先]:[PPP]を選択します。

②[設定方法]:[PPP サーバを参照]を選択します。

※この際、「保存しますか?」と聞いてきますので、[保存]ボタンをクリックします。



プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合は
→[TCP/IP]画面で、さらに以下の各設定を行います。

①[ネームサーバアドレス]欄には、ネームサーバーアドレス(プライマリ DNS、セカンダリ DNS)を改行して(2行になるように)入力します。

②[検索ドメイン名]欄には、ご契約のプロバイダのドメインネームまたはホスト名を入力します。

注意

入力内容がわからない場合は、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。

以上で[TCP/IP]の設定は終わりです。
引き続き、次ページの【PPP の設定】へ進んでください。

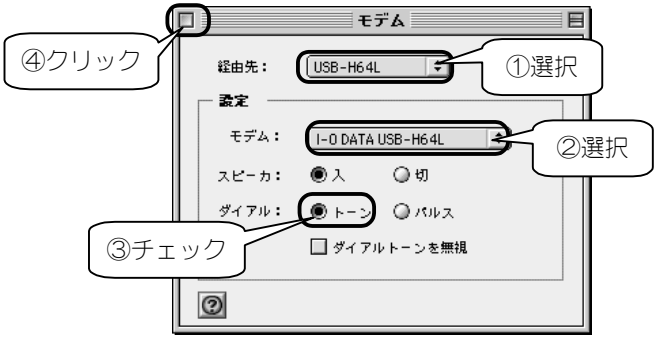
■ [PPP]の設定■

ここでは[PPP]として、[リモートアクセス]を使用する場合の手順を説明します。

1 アップルメニュー→[コントロールパネル]→[モデム]を順にクリックします。

2 以下の各設定を行い、画面左上の ボタンをクリックして画面を閉じます。

①[経由先]:[USB-H64L]を選択します。
②[モデム]:[I-O DATA USB-H64L]を選択します。
③[ダイアル:]は、[トーン]をチェックします。



[経由先]に[USB-H64L]が表示されない場合は…
【困ったときには】の 260 ページをご参照ください。

[モデム]に[I-O DATA USB-H64L]が表示されない場合は…
【困ったときには】の 259 ページをご参照ください。

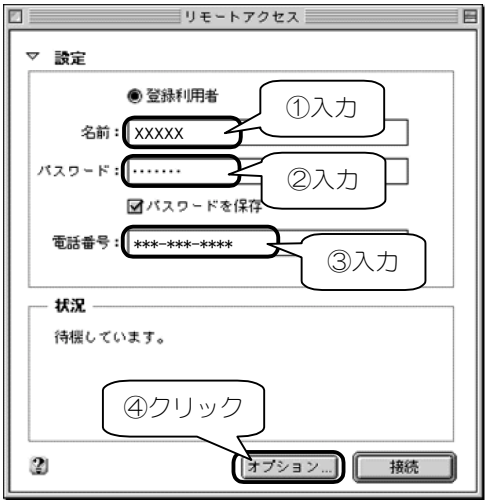
3 アップルメニュー→[コントロールパネル]→[リモートアクセス]を順にクリックします。

4 以下の各設定を行い、[オプション]ボタンをクリックします。

①[名前]:ご契約のプロバイダから案内されたユーザー名を入力します。

②[パスワード]:ご契約のプロバイダから案内されたパスワードを入力します。

③[電話番号]:アクセスポイントの電話番号を市外局番から入力します。



注意

・アクセスポイントの電話番号等、入力内容がわからない場合は、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。

・お使いのアクセスポイントによって追加設定が必要な場合があります。次ページの表を参照して追加設定してください。

●通信方式に応じた設定

本製品の初期設定時には、［PIAFS 2.1 方式］の設定になっていますが、［PIAFS 2.1 方式］でご利用になる場合は、以下のすべての条件を満たしていないと 64kbps での通信ができません。

- *プロバイダ(接続先の電話番号)が PIAFS 2.1 に対応している*
- *電話機が PIAFS 2.1 に対応している*
- *ご利用の場所が 64K サービスエリアである*

上記を満たしていない場合は、前ページ画面の電話番号入力欄を以下のお使いの通信方式に応じた電話番号に変更後、さらに電話番号の末尾に以下の【追加する文字】(すべて半角)を追加して設定してください。

・PIAFS 対応の電話番号の場合

	追加する文字
PIAFS 2.1 方式(初期設定)の場合→	追加なし （電話番号のみ）
PIAFS 1.0 方式の場合　→	##3

・ISDN 用の電話番号の場合

	追加する文字
無線インターネット方式の場合　→	##2

・アナログモデム用の電話番号の場合

	追加する文字
無線モデム/FAX 方式の場合　→	##1

入力例)上記[アナログモデム用の電話番号]の場合

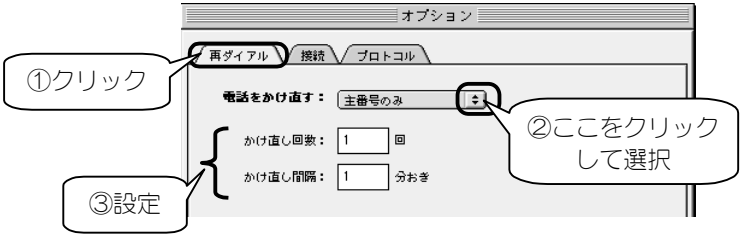


①[アナログモデム用]の電話番号に変更します。

②電話番号の後に ##1 （すべて半角）を入力します。

5 [再ダイヤル]タブをクリックして、以下の各設定を行います。

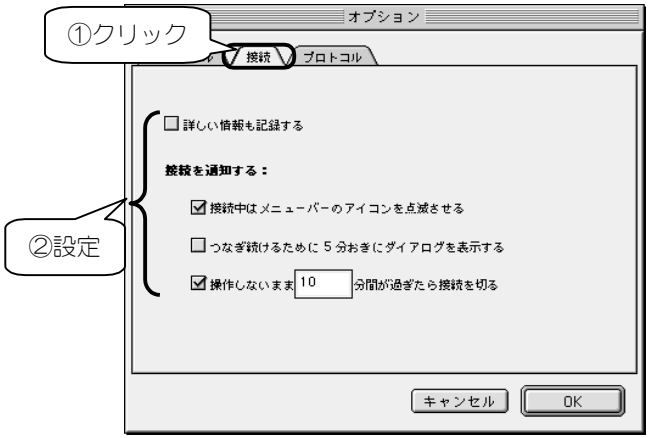
・[電話をかけ直す]:[主番号のみ]を選択します。
・[かけ直し回数]:任意の回数を設定します。
・[かけ直し間隔]:任意の時間を設定します。



※OSによっては画面が違います。

6 [接続]タブをクリックして、以下の各設定を行います。

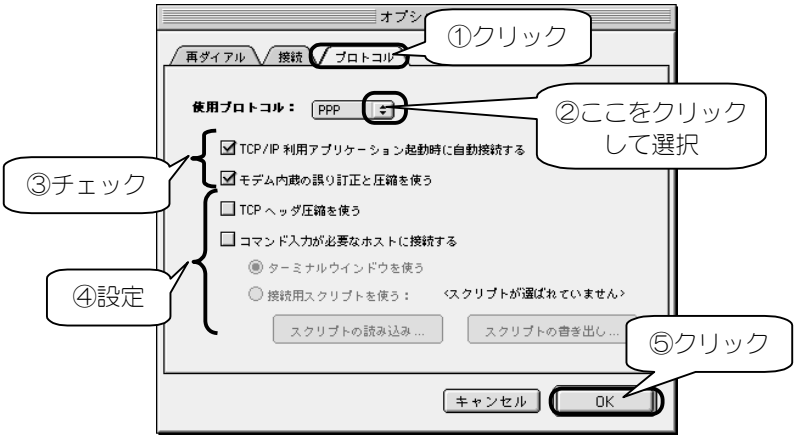
・[詳しい情報も記録する]:通常はチェックしません
・[接続中はメニューバーのアイコンを点滅させる]:接続時、
アップルメニューのりんごマークが点滅するように設定します。
・[つなぎ続けるために 5 分おきにダイアログを表示する]:通常はチェックしません。
・[操作しないまま□分間が過ぎたら接続を切る]:任意の時間を設定します。



※OSによっては画面が違いますが、同様に設定してください。

7 [プロトコル]タブをクリックして、以下の各設定を行います。
設定後、[OK]ボタンをクリックして画面を閉じます。

・[使用プロトコル]:[PPP]を選択します。
・[TCP/IP 利用アプリケーション起動時に自動接続する]:チェックします。
（オートダイヤルの設定です。）
・[モデム内蔵の誤り訂正と圧縮を使う]:チェックします。
・[TCPヘッダ圧縮を使う][コマンド入力が必要なホストに接続する]:ご契約のプロバイダにご確認ください。



※OSによっては[使用プロトコル]が表示されない場合があります。

以上で、インターネット接続の準備は完了しました。
次ページの【インターネットを楽しもう】を参照して、さっそくインターネットに接続しましょう。

ステップ
3

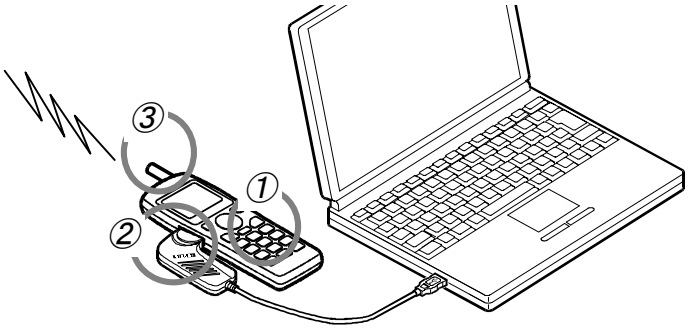
インターネット接続編

インターネットを楽しもう

ここまでの設定がすべて終了すれば、いよいよインターネットへの接続です。

接続する際のチェック項目

インターネットに接続する際は、電話機を操作する必要は特にありませんが、毎回以下を確認してからインターネットに接続してください。



チェック①：電話機の電源

電話機の電源が入っていることを確認してください。

チェック②：電話機と本製品の接続

電話機と本製品が接続されていることを確認してください。

※電話機の電源が入っている状態でも問題ありません。

チェック③：電話機の電波の状態

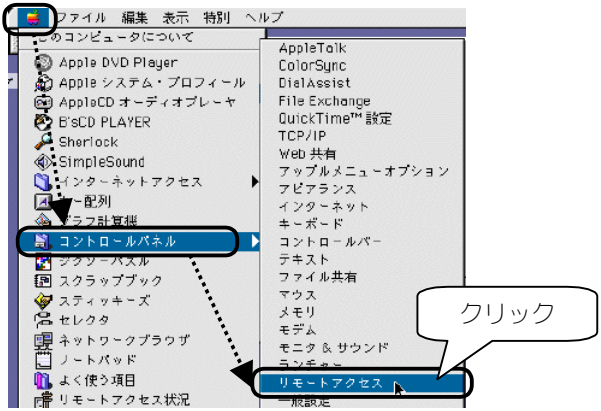
電話機の電波の状態が良好なことを確認してください。

※電話機でその場から正常に通話できることを確認しておいてください。

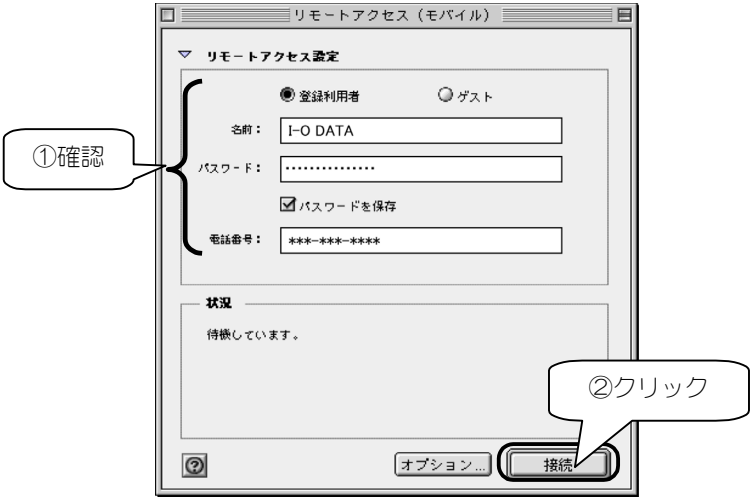
注意

電話機の電波が弱い場合は、正常にインターネットなどに接続できなかったり、通信中に切れる場合があります。アンテナレベルが最高になっていることを、電話機の液晶画面などで確認してから、インターネットなどに接続してください。

1 アップルメニュー→[コントロールパネル]→[リモートアクセス]をクリックします。



2 内容を確認して、[接続]ボタンをクリックします。



注意

[電話番号]欄の「*-***-****」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号が市外局番から表示されていることを確認してください。**

注意

お使いのアクセスポイントによって追加設定が必要な場合があります。
以下の表を参照して追加設定してください。

●通信方式に応じた設定

本製品の初期設定時には、［PIAFS 2.1 方式］の設定になっていますが、［PIAFS 2.1 方式］でご利用になる場合は、以下のすべての条件を満たしていないと 64kbps での通信ができません。

- *プロバイダ(接続先の電話番号)が PIAFS 2.1 に対応している*
- *電話機が PIAFS 2.1 に対応している*
- *ご利用の場所が 64K サービスエリアである*

上記を満たしていない場合は、前ページ画面の電話番号入力欄を以下のお使いの通信方式に応じた電話番号に変更後、さらに電話番号の末尾に以下の【追加する文字】(すべて半角)を追加して設定してください。

・PIAFS 対応の電話番号の場合

	追加する文字
PIAFS 2.1 方式(初期設定)の場合→	追加なし （電話番号のみ）
PIAFS 1.0 方式の場合 →	##3

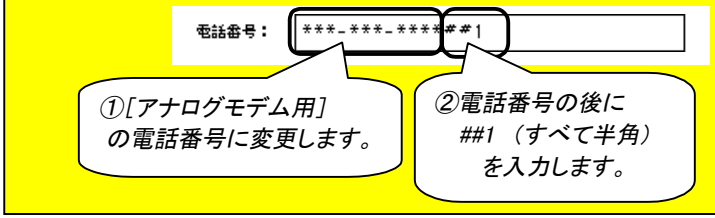
・ISDN 用の電話番号の場合

	追加する文字
無線インターネット方式の場合 →	##2

・アナログモデム用の電話番号の場合

	追加する文字
無線モデム/FAX 方式の場合 →	##1

入力例)上記[アナログモデム用の電話番号]の場合



3 [状況]欄に以下のように表示されたら、接続完了です。

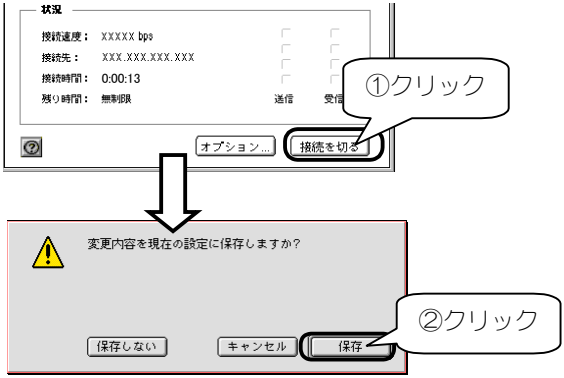


[状況]欄に「*この電話番号は話し中です*」と表示される場合は…

【困ったときには】の 257 ページをご参照ください。

4 ブラウザや電子メールを開いて、
インターネットをお楽しみください。

5 インターネットご利用後、[接続を切る]ボタンをクリックします。
これで電話機の通話が切断され、通信が終了します。



注意

・上記画面の変更内容とは、235 ページ*2* の手順の内容です。接続先の電話番号やユーザー名（名前）、パスワードなどを変更してから接続した場合は[保存]ボタンをクリックしてください。次回からその内容が最初に表示されます。



・ブラウザや電子メールを終わっただけでは電話回線は切断されません。必ず[接続を切る]ボタンをクリックしてください。電話機を確認して、通話が終わっていること、また、[状況]欄が[待機しています]となっていることを必ずご確認ください。
・ここで表示される接続速度はパソコンと本製品間の通信速度になります。
・電話機の通話だけを切ってもパソコン側の通信は終了しません。必ずパソコン側で切断してください。
・本製品と他の USB 機器（USB スピーカーや USB モデムなど）を同時に使用すると、処理速度が遅くなったり、送受信時にデータ抜けが発生する可能性があります。通信中にはそれらの USB 機器を使用しないことをおすすめします。

インターネットをご体験いただけましたか。
これからも、本製品でインターネットをお楽しみください。

ステップ 4

インターネット接続編

通信方式を変更する場合

本製品の初期設定時には、［PIAFS 2.1 方式］の設定になっていますが、［PIAFS 2.1 方式］でご利用になる場合は、以下のすべての条件を満たしていないと 64kbps での通信ができません。

- *プロバイダ(接続先の電話番号)が PIAFS 2.1 に対応している*
- *電話機が PIAFS 2.1 に対応している*
- *ご利用の場所が 64K サービスエリアである*

上記を満たしていない場合は、以下の手順で通信方式を変更クしてください。

1 アップルメニューから[コントロールパネル]→[リモートアクセス]をクリックします。

2 [リモートアクセス]画面の[電話番号]欄を次ページを参照して設定後、画面左上のチェックボックスをクリックします。

入力例)前ページ[無線モデム/FAX 方式]の場合



●通信方式に応じた設定

前ページ画面の電話番号入力欄を以下のお使いの通信方式に応じた電話番号に変更後、さらに電話番号の末尾に以下の【追加する文字】(すべて半角)を追加して設定してください。

・PIAFS 対応の電話番号の場合

	追加する文字
PIAFS 2.1 方式(初期設定)の場合→	追加なし (電話番号のみ)
PIAFS 1.0 方式の場合 →	##3

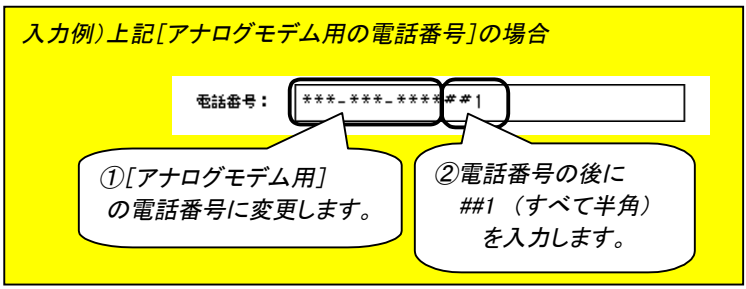
・ISDN 用の電話番号の場合

	追加する文字
無線インターネット方式の場合 →	##2

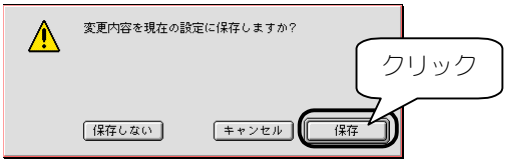
・アナログモデム用の電話番号の場合

	追加する文字
無線モデム/FAX 方式の場合 →	##1

入力例)上記[アナログモデム用の電話番号]の場合



3 以下の画面が表示されますので、
[保存]ボタンをクリックします。



以上で、変更は終了です。

付録1

困ったときには

本製品を使用して異常があった場合にご覧ください。

困ったときには（もくじ）

・インストール時のトラブル（Windows 編）

状態	参照頁
本製品の USB コネクタがパソコンの USB ポートに入らない	243
本製品を接続してもインストール画面が表示されない	
ケーブルが電話機の接続コネクタに入らない	245
「*お使いのデバイスに関する情報が見つかりませんでした*」と表示された	
「*関数ドライバがこのデバイスインスタンスに指定されなかったためインストールが失敗しました*」とインストールの途中で表示された（Windows 2000 のみ）	
「*このデバイス用のドライバが見つかりませんでした*」と表示された	246
[デバイスマネージャ]の[USB（Universal Serial Bus）コントローラ]や[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]の確認で、[I-O DATA USB-H64L Modem]が表示されない	
[デバイスマネージャ]の[モデム]の確認で[I-O DATA USB-H64L]が表示されない	247
[デバイスマネージャ]の確認で、[I-O DATA USB-H64L Modem]または[I-O DATA USB-H64L]の頭に[！]マークが表示されている	
端末速度設定時に[電話とモデムのプロパティ]（または[モデムのプロパティ]に、[I-O DATA USB-H64L]が表示されない	248

状態	参照頁
端末速度設定時に、「*ポートが開けません*」または*[ポートが開かれています]*と表示されたり、応答がない	248

・インターネット接続時のトラブル（Windows 編）

状態	参照頁
[*回線が使用中です*]と表示された	249
[*発信音が聞こえません*]と表示された	
[*ダイヤル先のコンピュータが応答しません*]と表示された	250
[*ダイヤル先のコンピュータから切断されました*]と表示された	251
接続動作はするようだが、[ダイヤルアップ接続モニタ]や[接続インジケータ]が表示されない	
接続を実行しても、電話機の反応がすぐ消えてしまい通信できない	
[ダイヤルアップネットワーク]が表示されない（Windows Me/98）	252
[ダイヤルアップアダプタ]や[TCP/IP]が表示されない（Windows Me/98）	254

・インターネット接続時のトラブル（Mac OS 編）

状態	参照頁
[状況]欄に[*この電話番号は話し中です*]と表示された	257
[*利用者として認証されませんでした*]と表示された	
[*お使いのモデムが正しく応答しません*]と表示された	258
[*情報がないか不適切*]と表示された	
[*搬送波が検出されませんでした*]と表示された	259
[モデム]欄に[I-O DATA USB-H64L]と表示されない	
[ポート]（[経由先]）欄に[USB-H64L]と表示されない	260
接続を実行しても、電話機の反応がすぐ消えてしまい通信できない	

・その他のトラブル

状態	参照頁
通信ソフトが起動できない	261
AT コマンドを使用して通信できない	

インストール時のトラブル
（Windows 編）

本製品の USB コネクタがパソコンの USB ポートに入らない

原因	本製品の USB コネクタの向きが正しくない。
対処	コネクタの向きを変えて、もう1度差し込んでください。向きが一致していれば、コネクタを差し込むのに大きな力を加える必要はありません。

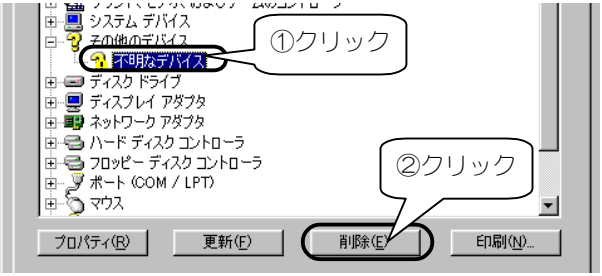
本製品を接続してもインストール画面が表示されない

原因1	パソコンの USB ポートに、本製品の USB コネクタがきちんとささっていない。
対処	パソコンの USB ポートに最後まできちんと本製品の USB コネクタがささっていることを確認してください。

原因2	すでにインストール済みである。
対処	本製品を1度インストールすると、本製品の USB コネクタを差しこんでもインストール画面は表示されません。USB コネクタを差し込むだけで接続準備完了となります。

原因3	本製品が誤認識されている。
対処	1.本製品を差したまま、【インストールは正常ですか？】（Windows XP は 19 ページ、Windows 2000 は 76 ページ、Windows Me は 126 ページ、Windows 98 は 171 ページ）の手順***1***, ***2***を行います。 2.[その他のデバイス]が表示されていれば、その下に表示されている[不明なデバイス]または [USB Device]を選択して、[削除]ボタンをクリックします。（次ページ画面参考） もしくは、[モデム]か[USB (Universal Serial Bus) コントローラ]または[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]に[USB-H64L]の表示がある場合は、その表示を選択して削除してください。 （次ページへ）

対処



※[その他のデバイス]が表示されていない場合は、[接続別に表示]をチェックして、[モデム]か[USB (Universal Serial Bus) コントローラ]または[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]の下に、[不明なデバイス]または[USB Device]、[I-O DATA USB-H64 …]がないかどうか探します。あれば、そのデバイスをクリックして、[削除]ボタンで削除します。

3.削除後、本製品をパソコンから取り外します。

4.（この 4.の手順はお使いの OS が Windows XP および Windows 2000 の場合のみ行います。）

・[スタート]-[検索]-[ファイルやフォルダ]を選択します。

・以下の条件を設定し、[検索開始]を実行してください。

[含まれる文字列]USB-H64L

[探す場所]

・*Windows XP の場合* C:¥WINDOWS¥INF

・*Windows 2000 の場合* C:¥WINNT¥INF

※Windows XP および Windows 2000 がインストールされているドライブが C: の場合

・検索で「oemxx.INF」というものが見つかりましたら、そのファイルを削除してください。

（検索でファイルが見つからなかった場合は、この操作はそのまま終了してください。）

5.以上で誤認識された情報が削除されますので、改めて本製品をパソコンに接続します。

6.ウィザード画面が表示されたら、【インストールする】

（Windows XP は 9 ページ、Windows 2000 は 65 ページ、Windows Me は 119 ページ、Windows 98 は 163 ページ）を参照して、インストールしてください。

ケーブルが電話機の接続コネクタに入らない

原因1	電話機の接続コネクタにカバーがかかっている。
対処	接続コネクタにはカバーがかかっている場合があります。カバーを開けてから差し込んでください。カバーの開け方は、電話機の取扱説明書を参照してください。

原因2	本製品のコネクタの向きが正しくない。
対処	コネクタの向きを変えて、もう1度差し込んでください。向きが一致していれば、コネクタを差し込むのに大きな力を加える必要はありません。

原因3	電話機の接続コネクタが違う。
対処	接続コネクタの位置は、電話機の取扱説明書を参照してください。

「*お使いのデバイスに関する情報が見つかりませんでした*」と表示された

原因	USB ポートに問題がある。
対処	拡張ボードなどの USB ポートでなく、パソコン本体の USB ポートに差し込んでみてください。 また、USB ハブの場合、他の USB ポートに差すか、別の USB ハブに変えてみてください。差し込んだときに表示される画面（Windows XP は 12 ページ、Windows 2000 は 68 ページ、Windows Me は 122 ページ、Windows 98 は 166 ページ参照）を確認し、インストールをすすめてください。

「*関数ドライバがこのデバイスインスタンスに指定されなかったためインストールが失敗しました*」とインストールの途中で、表示された（Windows 2000 のみ）

原因	以前に誤って Windows Me や Windows 98 用のドライバでインストールをした。それ以降は Windows 2000 用のドライバでインストールすると、このエラーが発生します。
対処	【本製品を接続してもインストール画面が表示されない】（243 ページ）の項目の【本製品が誤認識されている】の【対処】を参照して、もう1度 Windows 2000 用のドライバをインストールしてください。

「このデバイス用のドライバが見つかりませんでした」と表示された

原因	検索場所の指定が間違っている。
対処	[戻る]ボタンを押して、「USB-H64L サポートソフト」CD-ROM が CD-ROM ドライブにセットされているか確認して、もう一度、検索場所の指定を行ってください。

[デバイスマネージャ]の[USB（Universal Serial Bus）コントローラ]や[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]の確認で、[I-O DATA USB-H64L Modem]が表示されない

原因1	パソコンの USB ポートに、本製品の USB コネクタがきちんとささっていない。
対処	一度 USB ポートから本製品を抜き、もう一度パソコンの USB ポートに最後まできちんと本製品の USB コネクタがささるように取り付け直してみてください。（USB ポートが複数ある場合は、さしこむ USB ポートを変えてみることもお試しください。）

原因2	本製品が誤認識されている。
対処	【本製品を接続してもインストール画面が表示されない】（243 ページ）の項目の【本製品が誤認識されている】の【対処】を参照してください。

原因3	正しくインストールされていない。
対処	【インストールしたソフトを削除するには】（267 ページ）を実行し、いったんインストールしたサポートソフトを削除します。 その後、【インストールする】（Windows XP は 9 ページ、Windows 2000 は 65 ページ、Windows Me は 119 ページ、Windows 98 は 163 ページ）を参照して、インストールしてください。を参照して、インストールをやり直してください。

[デバイスマネージャ]の[モデム]の確認で、[I-O DATA USB-H64L]が表示されない

原因1	パソコンの USB ポートに、本製品の USB コネクタがきちんとささっていない。
対処	一度 USB ポートから本製品を抜き、もう一度パソコンの USB ポートに最後まできちんと本製品の USB コネクタがささるように取り付け直してみてください。（USB ポートが複数ある場合は、さしこむ USB ポートを変えてみることもお試しください。）

原因2	本製品が誤認識されている。
対処	【本製品を接続してもインストール画面が表示されない】（243 ページ）の項目の【本製品が誤認識されている】の【対処】を参照してください。

原因3	正しくインストールされていない。
対処	【インストールしたソフトを削除するには】（267 ページ）を実行し、いったんインストールしたサポートソフトを削除します。 その後、【インストールする】（Windows XP は 9 ページ、Windows 2000 は 65 ページ、Windows Me は 119 ページ、Windows 98 は 163 ページ）を参照して、インストールしてください。を参照して、インストールをやり直してください。

[デバイスマネージャ]の確認で、[I-O DATA USB-H64L]や[I-O DATA USB-H64L Modem]の先頭に「！」マークが付いている

原因	正しくインストールされていない。
対処	【インストールしたソフトを削除するには】（267 ページ）を実行し、いったんインストールしたサポートソフトを削除します。 その後、【インストールする】（Windows XP は 9 ページ、Windows 2000 は 65 ページ、Windows Me は 119 ページ、Windows 98 は 163 ページ）を参照して、インストールしてください。を参照して、インストールをやり直してください。

端末速度設定時に、[電話とモデムのオプション]（または[モデムのプロパティ]）画面に、[I-O DATA USB-H64L]が表示されない

原因	正しくインストールされていない。
対処	【インストールしたソフトを削除するには】（267 ページ）を実行し、いったんインストールしたサポートソフトを削除します。 その後、【インストールする】（Windows XP は 9 ページ、Windows 2000 は 65 ページ、Windows Me は 119 ページ、Windows 98 は 163 ページ）を参照して、インストールしてください。を参照して、インストールをやり直してください。

端末速度設定時に、[*ポートが開けません*]または[*ポートが開かれています*]と表示された

原因1	パソコンの USB ポートに、本製品の USB コネクタがきちんとささっていない。
対処	一度 USB ポートから本製品を抜き、もう一度パソコンの USB ポートに最後まできちんと本製品の USB コネクタがささるように取り付け直してみてください。

原因2	正しくインストールされていない。
対処	【インストールしたソフトを削除するには】（267 ページ）を実行し、いったんインストールしたサポートソフトを削除します。 その後、【インストールする】（Windows XP は 9 ページ、Windows 2000 は 65 ページ、Windows Me は 119 ページ、Windows 98 は 163 ページ）を参照して、インストールしてください。を参照して、インストールをやり直してください。

原因3	他のアプリケーションが本製品に割り当てられた COM ポートを既に利用中である。
対処	他のアプリケーション（COM ポートを選択して利用するようなアプリケーションソフトやツール）を削除（アンインストール）するか、それらのアプリケーションが他のポートを利用するように、アプリケーション側で設定を変更してください。

インターネット接続時のトラブル
（Windows 編）

[回線が使用中です]と表示された

原因	接続先のアクセスポイントが混雑している。
対処	[OK]ボタンをクリックし、接続画面が表示されたら、[キャンセル]ボタンをクリックします。 時間をおいてもう1度接続するか、アクセスポイントが複数ある場合は、別のアクセスポイントの電話番号を設定してください。

[発信音が聞こえません]と表示された

原因1	電話機の電源が入っていない。
対処	[OK]ボタンをクリックし、電話機の電源を入れてからもう1度接続してください。

原因2	電話機の接続コネクタに、本製品が正しく接続されていない。
対処	[OK]ボタンをクリックし、電話機の接続コネクタをきちんと差し込んでから（カチッと音がするまで）もう1度接続してください。

原因3	正しくインストールされていない。
対処	【インストールしたソフトを削除するには】（267 ページ）を実行し、いったんインストールしたサポートソフトを削除します。 その後、【インストールする】（Windows XP は 9 ページ、Windows 2000 は 65 ページ、Windows Me は 119 ページ、Windows 98 は 163 ページ）を参照して、インストールしてください。を参照して、インストールをやり直してください。

原因4	モデムの設定で、本製品が選択されていない。
対処	【設定を変更するとき】（Windows XP は 47 ページ、Windows 2000 は 99 ページ、Windows Me は 147 ページ、Windows 98 は 192 ページ）の手順を行い、**3**の手順で[接続の方法]欄に[I-O DATA USB-H64L]を選択してください。

原因5	ダイヤル方式に[パルス]が選択されている。
対処	【発信情報を設定する】（Windows XP は 29 ページ、Windows 2000 は 82 ページ、Windows Me は 132 ページ、Windows 98 は 177 ページ）を参照して、ダイヤル方式に[トーン]を選択してください。

[ダイヤル先のコンピュータが応答しません]と表示された

原因1	[ダイヤルのプロパティ]画面で設定した市外局番が「000」になっていない。
対処	[OK]ボタンをクリックし、接続画面が表示されたら、[プロパティ]ボタン（Windows Me/98 は[ダイヤルのプロパティ]ボタン）をクリックして、[市外局番]欄を「000」にしてください。

原因2	接続先の電話番号が違っている。
対処	[OK]ボタンを押し、接続画面が表示されたら、[キャンセル]ボタンをクリックします。 接続アイコンを右クリックして、[プロパティ]を選び、正しい電話番号を（市外局番を含めて）確認してください。 ※プロバイダに接続先の電話番号を確認してください。

原因3	接続先の電話番号が、PIAFS 2.0 方式のアクセスポイントである。
対処	本製品はPIAFS2.0方式に未対応です。 PIAFS 2.1方式のアクセスポイントに接続するか、またはPIAFS1.0方式のアクセスポイントに32Kbpsで接続※してください。PIAFS 2.1に対応しているかについては、ご契約しているプロバイダにご確認ください。 ※【通信方式を変更する場合】（Windows XPは60ページ、Windows 2000は114ページ、Windows Meは159ページ、Windows 98は204ページ）を参照して、電話番号の末尾に「##3」を追加入力して、32Kbpsで接続してください。

原因4	接続先のアクセスポイントが混雑している。
対処	[OK]ボタンを押し、接続画面が表示されたら、[キャンセル]ボタンを押します。 時間をおいてもう1度接続するか、アクセスポイントが複数ある場合は、別のアクセスポイントの電話番号を設定してください。 無い場合、PIAFS1.0 方式のアクセスポイントに 32Kbps で接続※してみてください。 ※【通信方式を変更する場合】（Windows XP は 60 ページ、Windows 2000 は 114 ページ、Windows Me は 159 ページ、Windows 98 は 204 ページ）を参照して、電話番号の末尾に「##3」を追加入力して、32Kbps で接続してください。

原因5	正しくインストールされていない。
対処	【インストールしたソフトを削除するには】（267 ページ）を実行し、いったんインストールしたサポートソフトを削除します。 その後、【インストールする】（Windows XP は 9 ページ、Windows 2000 は 65 ページ、Windows Me は 119 ページ、Windows 98 は 163 ページ）を参照して、インストールしてください。を参照して、インストールをやり直してください。

［ダイヤル先のコンピュータから切断されました］と表示された

原因1	接続先の電話番号が違っている。
対処	［OK］ボタンを押し、接続画面が表示されたら、［キャンセル］ボタンを押します。 接続アイコンを右クリックして、［プロパティ］を選び、正しい電話番号を（市外局番を含めて）入力してください。 ※接続先の電話番号が電話機でご利用可能な電話番号かを確認してください。（PIAFS 2.1 または PIAFS 1.0 対応の電話番号かもプロバイダに確認してください。）

原因2	パソコンの USB ポートに、本製品の USB コネクタがきちんとささっていない。
対処	一度 USB ポートから本製品を抜き、もう一度パソコンの USB ポートに最後まできちんと本製品の USB コネクタがささるように取り付け直してみてください。

接続動作はするようだが、［ダイヤルアップ接続モニタ］や［接続インジケータ］が表示されない

原因	接続先の電話番号が違っている。
対処	接続画面で、正しい電話番号を（市外局番を含めて）確認してください。 ※正しい電話番号は、プロバイダに確認してください。

接続を実行しても、電話機の反応がすぐ消えてしまい通信できない

原因	電話機に設定の切替がある。
対処	電話機に「データ通信ケーブル」に関する設定があれば、設定を［OFF］にしてください。

[ダイヤルアップネットワーク]が表示されない（Windows Me/98）

原因	ダイヤルアップネットワークがインストールされていない。
対処	以下の手順でダイヤルアップネットワークをインストールします。

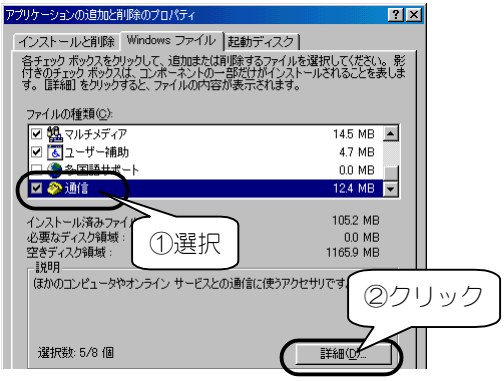
■ダイヤルアップネットワークのインストール手順

1 [アプリケーションの追加と削除]を起動します。
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]から、[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。

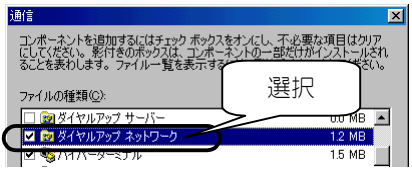
2 [Windowsファイル]タブをクリックします。
表示が切り替わるまでに時間がかかります。しばらくお待ちください。



3 [通信]を選択し、[詳細]ボタンをクリックします。

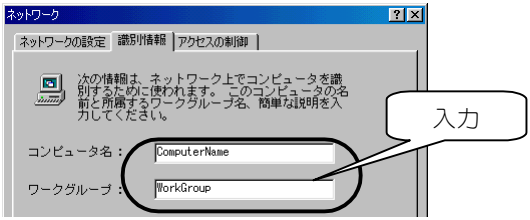


4 [ダイヤルアップネットワーク]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



5 手順*3* の画面に戻りますので、[OK]ボタンをクリックします。
Windows の CD-ROM を用意し、画面の指示にしたがって処理を進めます。

6 以下の画面になったら、[コンピュータ名]と[ワークグループ]名を入力し、[閉じる]ボタンをクリックします。これらの名称はインターネットを使うときには使用しないので、適当な名称を入力してください（[コンピュータの説明]は省略可）。



7 [OK]ボタンをクリックします。
インストールが終わったら、パソコンを再起動します。
[ケーブル接続]はインターネットを使うときには不要ですので、インストールは行いません。



8 Windows が再起動すると、下記の画面が表示されるので、[キャンセル]ボタンをクリックします。



[ダイヤルアップアダプタ]や[TCP/IP]が表示されない（Windows Me/98）

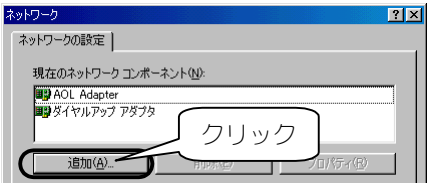
原因	TCP/IP がインストールされていない。
対処	以下の手順で TCP/IP をインストールします。

■[ダイヤルアップアダプタ]と[TCP/IP]の両方の表示が無い場合のインストール手順

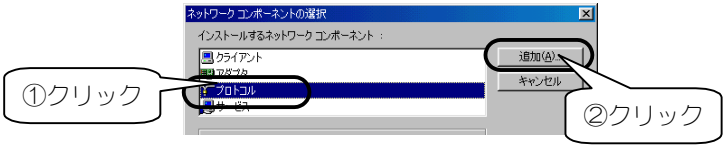
以下の手順で[TCP/IP]をインストールすることによって、両方とも（[ダイヤルアップアダプタ]と[TCP/IP]）がインストールされます。

1 [ネットワーク]を起動します。
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]から、[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。

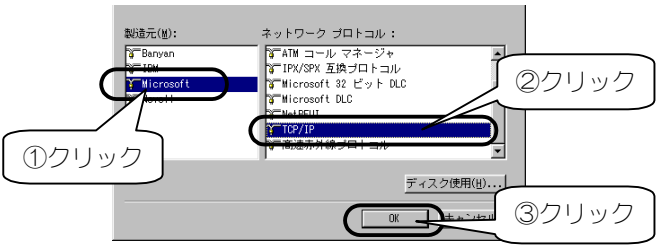
2 [追加]ボタンをクリックします。



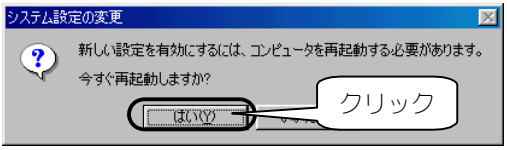
3 [プロトコル]を選択し、[追加]ボタンをクリックします。



4 [Microsoft]の[TCP/IP]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。後は画面の指示にしたがって、処理を進めてください。



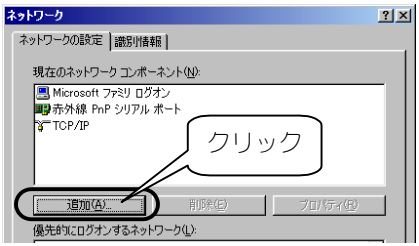
5 [はい]ボタンをクリックして、パソコンを再起動します。



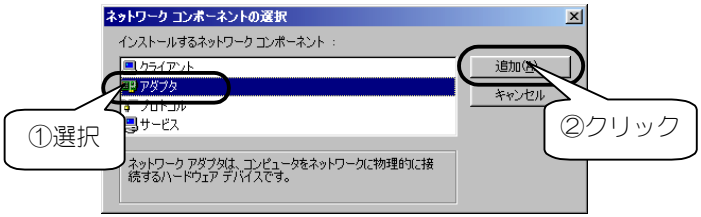
■[ダイヤルアップアダプタ]のみ表示が無い場合のインストール手順

1 [ネットワーク]を起動します。
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]から、[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。

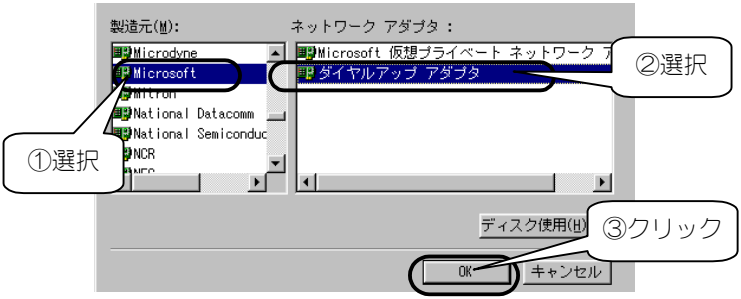
2 [追加]ボタンをクリックします。



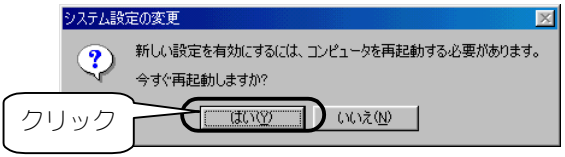
3 [アダプタ]を選択し、[追加]ボタンをクリックします。



4 [Microsoft]の[ダイヤルアップアダプタ]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。後は画面の指示にしたがって、処理を進めてください。



5 [はい]ボタンをクリックして、パソコンを再起動します。



インターネット接続時のトラブル
（Mac OS 編）

状況欄に[この電話番号は話し中です]と表示された

原因1	本製品に取り付けた電話機の「通話」ボタンをクリックしている。
対処	「HOLD」で通話を切り、電話機を切ってから、再度、通信ソフトの[接続]ボタンをクリックしてください。

原因2	接続先の電話番号が違っている。
対処	[OK]ボタンをクリックして、接続画面が表示されたら、正しい電話番号を（市外局番を含めて）確認してください。 ※正しい電話番号は、プロバイダに確認してください。

原因3	ダイヤル方法（トーン）の指定が違っている。
対処	ダイヤル方法が「トーン」になっているか確認してください。 ・インターネット接続アシスタント：222 ページ手順**5** ・PPP ダイヤラ：229 ページ手順**2**

原因4	接続先のアクセスポイントが混雑している。
対処	時間をおいてから、再度[接続]ボタンをクリックするか、アクセスポイントが複数ある場合は、別のアクセスポイントの電話番号を入力してから[接続]ボタンをクリックしてください。

[利用者として認証されませんでした]と表示された

原因	ユーザー名やパスワードが違っている。
対処	[OK]ボタンをクリックしてください。アルファベットの大文字や小文字に注意してユーザー名やパスワードを入力し、[接続]ボタンをクリックしてください。正しく入力してもこの画面が表示されるようなら、プロバイダにユーザー名やパスワードを確認してください。

[お使いのモデムが正しく応答しません]と表示された

原因1	本製品が正しく接続されていない。
対処	[OK]ボタンをクリックしてください。 本製品が正しく USB ポートに差されているかどうか、ケーブルが正しく電話機に接続されているかどうかをご確認ください。 正しく接続後、再度[接続]ボタンをクリックします。

原因2	ダイヤラでの設定が正しく行われていない。
対処	[経由先]や[モデム]の選択が正しく行われているか、確認してください。 （222 ページおよび 229 ページ参照）

「情報がないか不適切」と表示された

原因	接続に必要なソフトウェア「リモートアクセス」がインストールされていない。
対処	画面を閉じると、[本当に終了してよろしいですか]と表示されるので、[終了]ボタンをクリックします。 以下の操作を行って「リモートアクセス」をインストールしてください。

1 アップルメニューから[コントロールパネル]→[機能拡張マネージャ]を開きます。

2 「リモートアクセス」に[×]印をつけて、[再起動]ボタンをクリックします。画面の指示にしたがって、インストールを行ってください。



[搬送波が検出されませんでした]と表示された

原因1	本製品が正しく接続されていない。
対処	[OK]ボタンをクリックしてください。 本製品が正しく USB ポートに差されているかどうか、ケーブルが正しく電話機に接続されているかどうかをご確認ください。 正しく接続後、再度[接続]ボタンをクリックします。

原因2	本製品のケーブルとご利用の電話機との接続に問題がある。
対処	[OK]ボタンをクリックして警告画面を閉じてください。 電話機をいったん取り外し、接続し直してみてください。正しい接続後、再度[接続]ボタンをクリックします。

原因3	接続先の電話番号が違っている。
対処	プロバイダに接続先の電話番号をご確認ください。 （本製品は、PIAFS1.0(32Kbps)、PIAFS 2.1(64Kbps)に対応しています。） 一部地域では、PIAFS 2.1(64Kbps)サービスをご利用いただけません。 その場合は、PIAFS1.0(32Kbps)に対応した電話番号をご利用ください。

原因4	接続先アクセスポイントが PIAFS 2.1（64Kbps）対応の場合でも、電話機を使用する場所によっては、最寄りの基地局の状況や時間帯により、64Kbps 通信ができない場合がある。
対処	可能であれば、 ・時間帯を変えて接続してみる。 ・場所を移動して接続してみる。 ・PIAFS1.0(32Kbps）に対応した電話番号で接続してみる。 以上についてお試しください。 データ通信の場合、電話機のアンテナレベルが最高の状態にて、ご使用ください。

[モデム]欄に[I-O DATA USB-H64L]と表示されない

原因	[I-O DATA USB-H64L]が[システムフォルダ]の[機能拡張]フォルダ内の[Modem Scripts]にコピーされていない。
対処	[I-O DATA USB-H64L]を[システムフォルダ]の[機能拡張]フォルダ内の[Modem Scripts]にコピーしてください。 【設定ファイルをコピーする】(210 ページ)を参照。

[ポート]（[経由先]）欄に[USB-H64L]と表示されない

原因1	[USB-H64L]が[システムフォルダ]の[機能拡張]フォルダにコピーされていない。
対処	[USB-H64L]を[システムフォルダ]の[機能拡張]フォルダにコピーしてください。 【設定ファイルをコピーする】(210 ページ)を参照。

原因2	本製品が正しく接続されていない。
対処	本製品が正しく USB ポートに差されているかどうか、ケーブルが正しく電話機に接続されているかどうかをご確認ください。

接続を実行しても、電話機の反応がすぐ消えてしまい通信できない

原因	電話機に設定の切替がある。
対処	電話機に「データ通信ケーブル」に関する設定があれば、設定を[OFF]にしてください。

その他のトラブル

通信ソフトが起動できない

原因	通信ソフトの起動方法などが正しくない。
対処	インターネットへの接続が正しく動作すれば、通信ソフト側の問題が考えられます。通信ソフトの取扱説明書などをご参照ください。

AT コマンドを使用して通信できない

原因	AT コマンドに対するリザルトコードにより、エラー障害の切り分けができます。リザルトコードとは、エコーバックと呼ばれる応答信号のことです。
対処	リザルトコードの種類によって、以下のように、エラーの回復を試みてください。 ATコマンドに関しては、「USB-H64Lサポートソフト」CD-ROM内の¥manualフォルダ内のReadme.txtファイルを参照してください。 **※AT コマンドでの操作を行うためには、別途ターミナルソフトをご用意いただく必要があります。(Windows の場合は、次ページ参照)**

1. **ERROR**
   ATコマンドに誤りがあります。マニュアルをよく読んで、パラメータなどをチェックしてください。
2. **NO CARRIER**
   ダイアルコマンドを入力した時このエコーが表示された時は、回線が接続されていないか、こちらの呼び出しに対して接続先が応答信号を返さない状態です。先ず、本製品が正しく電話機やパソコンに接続されているかを確認してみてください。

補足1:ATコマンドによる通信の動作確認

通信できない、あるいはモデムが正常に動作しないなどのトラブルが発生した場合、例えば、以下の手順のようにWindows標準の「ハイパーターミナル」で操作をためすことができます。(以下の画面はWindows Meの例です。)

1 「ハイパーターミナル」を起動します。

・*Windows XP の場合*

[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ハイパーターミナル]を順にクリックします。

・*Windows 2000 および Windows Me/98 の場合*

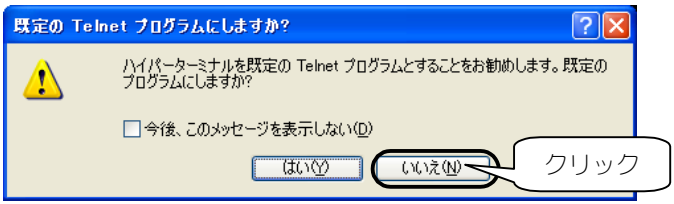
[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ハイパーターミナル]を順にクリックします。



参考

メニュー内に[ハイパーターミナル]が無い場合は、[コントロールパネル]の[アプリケーションの追加と削除]の[Windows ファイル]タブから追加してください。

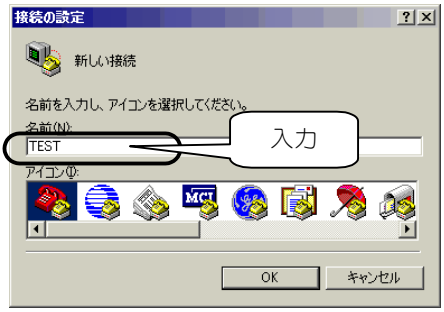
2 Windows XP の場合は、以下の画面が表示される場合があります。
ここでは[いいえ]ボタンをクリックします。



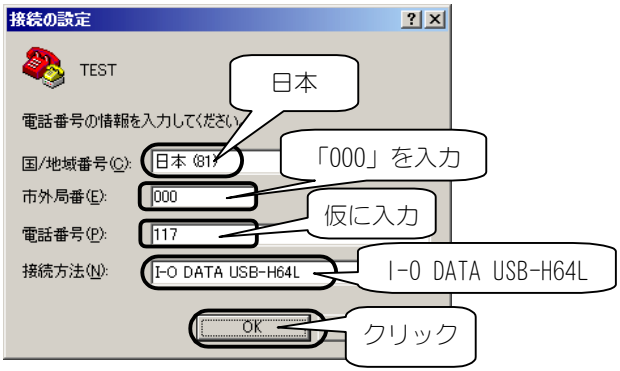
Windows 98 の場合は、[HyperTerminal]画面が表示されます。
[Hypertrm]アイコンをダブルクリックします。



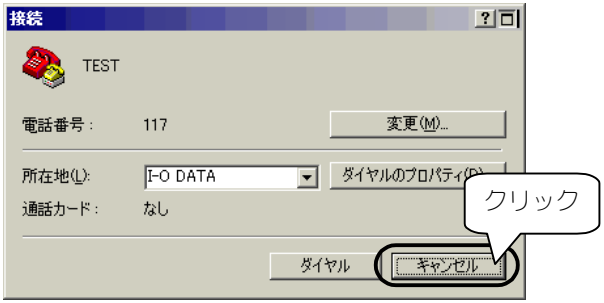
3 [名前]に適当な名前(例:TEST)を入力し、[OK]ボタンをクリックします。



4 以下を設定して[OK]ボタンをクリックします。



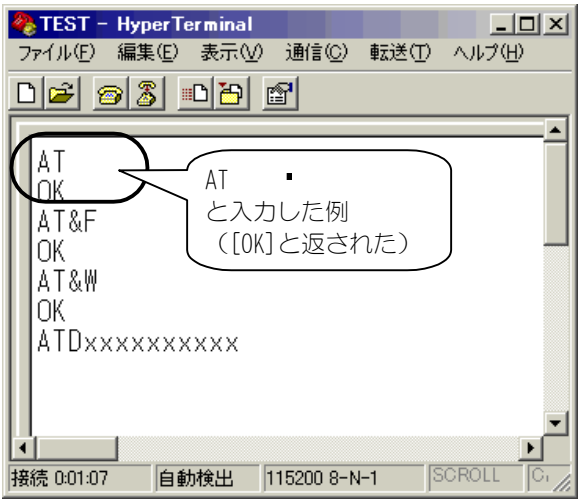
5 [キャンセル]ボタンをクリックします。



6 [ハイパーターミナル]画面が表示されます。

7 [ハイパーターミナル]画面内にATコマンドを入力して通信動作を確認することができます。
以下の画面例は、以下の AT コマンドを入力した例です。
※これらの文字は、半角文字で入力する必要があります。

AT ▪
AT&F ▪
AT&W ▪
ATDxxxxxxxxx ▪



付録2
サービス品について

本製品にはいろいろなソフトウェアが添付されています。ここではそれらの添付ソフトを目的別に紹介します。必要に応じてお使いください。

● 今すぐインターネットを始めたい

＜DIONオンラインサインアップ＞

今すぐインターネットを始めようという方のために、オンラインで簡単にプロバイダ契約ができる「DION オンラインサインアップ用 CD-ROM」をご用意しました。



対応 OS など詳しくは、「DION オンラインサインアップ用」CD-ROM をご覧ください。

● *feel H″*(フィールエッジ)、*H″*(エッジ)で簡単にインターネットしたい

＜PRIN＞

登録料や基本料、接続料などは一切不要。15 円/分の通話料だけで、*feel H″*(フィールエッジ)、*H″*(エッジ)を使って手軽にインターネットをご利用になれます。



対応 OS など詳しくは、「PRIN セットアップ」CD-ROM をご覧ください。

● Lotus NOTES で、モバイル通信をしたい

＜モデム設定ファイル＞

（Windows のみ対応）

サポートソフト CD-ROM に Lotus NOTES 用のモデムファイルが入っていますので、そちらをご利用ください。利用方法は以下の通りです。

サポートソフト CD-ROM の WIN98 フォルダに入っている「USBH64L.MDM」というファイルを、Lotus Notes がインストールされているフォルダの Notes¥data¥modems フォルダに、コピーします。
次に、Lotus NOTES を起動し、以下の設定を行います。

1. ［ファイル］→［ツール］→［ユーザーリファレンス...］を選択します。
2. ［ポート］をクリックします。
3. 本製品が接続されているポート（例えばCOM3）を選択します。
4. 必要に応じて［ポートを有効にする］を選択してポートを使用可能にします。
5. ［ポートオプション］をクリックします。
   ポートは、接続されているポート名です。例えば、［COM3オプション］をクリックします。
6. モデムの種類を選択します。
7. 追加するモデム設定があれば追加します（省略可）。
8. ［OK］をクリックします。
9. ［OK］をクリックして、［ユーザーリファレンス］画面を閉じます。



Lotus NOTES については、ロータス社にお問い合わせください。



・PIAFS 2.1 方式の対応機種で、PIAFS 1.0 方式のアクセスポイントへ接続する場合は、電話番号の末尾に「##3」を追加してください。
・無線モデム/FAX 方式で通信する場合は、電話番号の末尾に「##1」を追加してください。

付録3

インストールしたソフトを削除するには

本製品のサポートソフトのインストールをもう１度やり直すときは、インストールした「サポートソフト」を削除（アンインストール）してから行う必要があります。
ここでは、その削除方法（アンインストール方法）について説明します。

削除方法は使用しているOSによって異なりますので、以下の使用しているOSのページを参照ください。

Windows XP で削除する場合
→【Windows XP での削除】（次ページ）～
Windows 2000、Windows Me および Windows 98 で削除する場合
→【Windows 2000/Me/98 での削除】（270 ページ）～
Mac OS で削除する場合
→【Mac OS での削除】（271 ページ）～

Windows XP での削除

1 本製品が使用中ではないことを確認後、パソコンのUSBポートから本製品のケーブルを抜きます。

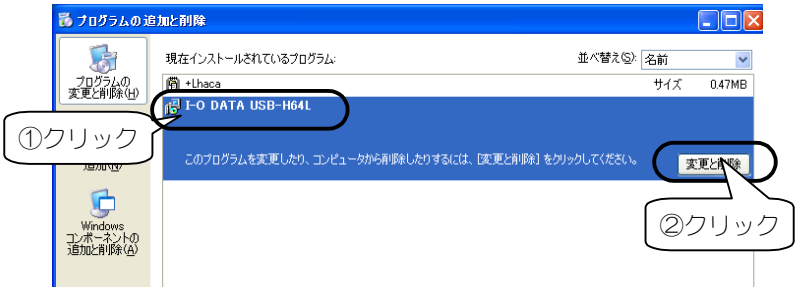
2 [スタート]→[コントロールパネル]を順にクリックします。

3 [コントロールパネル]が“クラシック表示”になっている場合は、[カテゴリ表示に切り替える]をクリックします。



4 [プログラムの追加と削除]をクリックします。

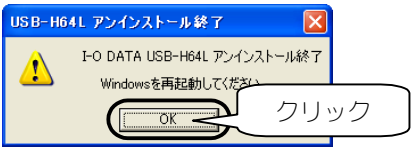
5 [I-O DATA USB-H64L]をクリックし、
[変更と削除]ボタンをクリックします。



6 [OK]ボタンをクリックします。



7 [OK]ボタンをクリックします。



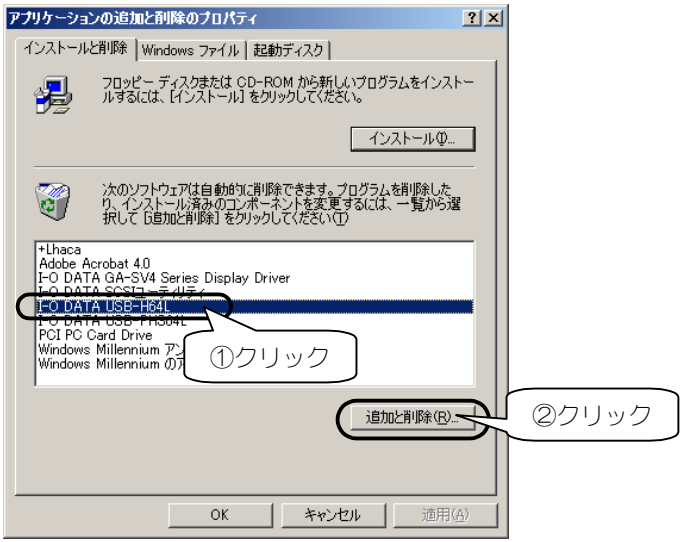
これで Windows XP での削除は完了です。

Windows 2000/Me/98 での削除

1 本製品が使用中ではないことを確認し、パソコンのUSBポートから本製品のケーブルを抜きます。

2 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、[アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックします。

3 [I-O DATA USB-H64L]をクリックし、[追加と削除]ボタンをクリックします。



4 後は画面の指示に従い、順に[OK]ボタンをクリックしてください。

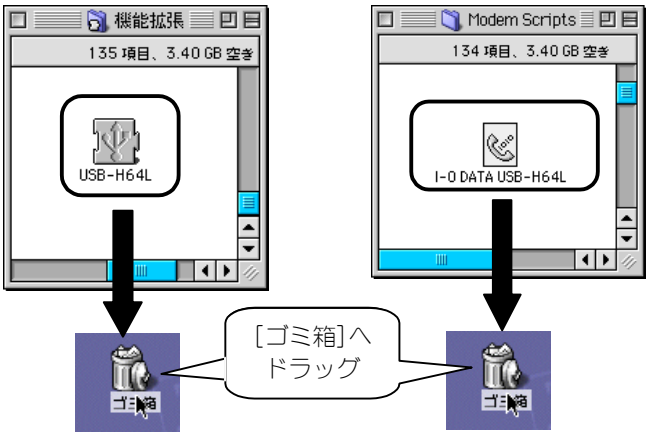
これで Windows 2000/Me/98 での削除は完了です。

Mac OS での削除

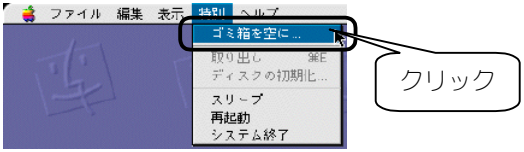
1 本製品が使用中でないことを確認し、パソコンのUSBポートから本製品のケーブルを抜きます。

2 [機能拡張]フォルダ※内の[USB-H64L]、[Modem Scripts]フォルダ内の[I-O DATA USB-H64L]の2ファイルを[ゴミ箱]に入れて削除します。

※[機能拡張]フォルダは、Mac OSをインストールしたドライブの[システムフォルダ]の中にあります。



3 [特別]メニューの[ゴミ箱を空に…]をクリックします。



付録4

仕　様

■ アダプタ部

制御コマンド	ATコマンド準拠
回線接続方式	12芯プラグ
通信方式	64K PIAFS（PIAFS 2.1版準拠） 32K PIAFS 無線インターネット 無線モデム 無線FAX
通信速度	64Kbps（MAX）

■ 一般仕様

機器名	USB-H64L
端末インターフェイス	USB Specification Rev.1.1準拠
電源電圧	バスパワー/5.0V
消費電力	140mW（typ※）
使用温度湿度範囲	温度：0～40℃（パソコンの動作温度範囲であること） 湿度：35～85%（ただし、結露なきこと）
ケーブル長	約34cm
コネクタ寸法	W33×H51×D11（mm）
質量	約22.0g

※typ:　使用中の標準的な数値

付録5

用語解説

bps（ビーピーエス） *(Bit per Second)*

データ通信速度の単位です。1 秒間に送受信できるビット数を表します。
例）64Kbps は 1 秒間に 65536bit（64×1024bit）の情報を送受信します。

COM ポート（コムポート）

Windows ではシリアルインターフェイスを COM ポートと呼びます。

PIAFS（ピアフ） *(PHS Internet Access Forum Standard)*

PHS の端末を使ったデジタルデータ通信規格のことです。

PPP（ピーピーピー） *(Point-to-Point Protocol)*

同期および非同期式のポイント・ツー・ポイント・シリアルリンク回線方式に関するパケット通信規約です。
不特定多数の人が、たまにしか利用しない場合に、IP アドレスを一義的に割り当てるのは不経済なため、PPP では利用時に一時的に割り当てる方式をとります。
ダイヤルアップネットワークのための IP 接続用の通信規約で、ファイルやデータの転送が可能です。

TCP/IP（ティーシーピーアイピー） *(Transmission Control Protocol/Internet Protocol)*

Advanced Research Projects Agency(ARPA)によって開発されたプロトコル（＝通信規約）一式です。
主にネットワーク層プロトコル(IP)と、トランスポートプロトコル(TCP)を含みます。
インターネットでは一般的に使われています。

USB(ユーエスビー) (*Universal Serial Bus*)

パソコンと周辺機器を接続する規格の1つ。パソコンと電話回線の接続性向上、接続のしやすさ、増設のしやすさなどを主な目的として 1995 年に公開されました。

・コネクタ形状の一元化により、周辺機器のインターフェイスが統一されます。
・デスクトップパソコンでもノートパソコンでも使用できます。
・Hot Plug対応でパソコン起動中でも抜き差しできます。
・USBポートから電源供給が可能です。
・複数のIRQを使用しないので機器間の競合が少なくなります。

などの特長を持っています。
転送速度は、高速用に 12Mbps(シールド付きケーブルで最長5m まで)と、低速用に 1.5Mbps の2種類あります。本製品は 1.5Mbps タイプです。

アクセスポイント

プロバイダが設けたインターネット接続用の電話番号。
アクセスポイントにはインターネットに通じるサーバが接続され、ダイヤルアップ接続してきたユーザーをインターネットに接続します。

キャリア

「コモンキャリア」と呼ばれる自前の通信設備(特に回線網)を所有している通信事業者(第一種電気通信事業者)のことです。日本では NTT、KDDI、日本テレコムなどがこれにあたります。

ダイヤルアップ

電話回線などの公衆網を利用して、インターネットに接続できる通信業者(プロバイダ)に接続することです。

プロトコル

通信規約のことです。コンピュータ同士が相互で通信を行うための様々な取り決め(通信速度や通信方式、エラーチェックの方法、データの形式など)です。
インターネットでは、TCP/IP プロトコルを使用します。

プロバイダ

(インターネット)プロバイダとは、インターネットへの接続サービスを行っている接続業者のことです。インターネットを利用するためには、利用者もしくは所属する組織が各種学術研究ネットワークに加入するか、インターネットプロバイダと呼ばれる接続業者に加入する必要があります。

PLANT コールセンターへのお問い合わせ

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及び FAX 番号
2. ご使用の弊社製品名と、ハードウェアシリアル No.
3. ご使用のパソコン本体と電話機の機種。
4. ご使用の OS とアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

■オンライン

インターネット　http://www.iodata.co.jp/support/
「PLANT コールセンターお問い合わせ」内のフォームを使用して、E-Mail をお送りください。

■郵便

〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地　ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
PLANT コールセンター「USB-H64L」係宛

■電話

電話番号　金沢　076-260-3644
東京　03-3254-1144
受付時間　9:30～19:00　月～金曜日(祝祭日を除く)

■FAX

FAX 番号　金沢　076-260-3360
東京　03-3254-9055
宛先　株式会社アイ・オー・データ機器
PLANT コールセンター「USB-H64L」係　宛

本製品に関するお問い合わせは、PLANT コールセンターのみで行っています。
予めご了承ください。

サポートソフトのバージョンアップ

「サポートソフト」がバージョンアップした場合は、以下の方法で入手できます。

■オンライン

インターネット　　http://www.iodata.jp/lib/

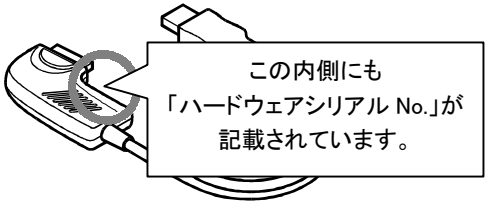
■サービス窓口からの郵送

以下の窓口までお問い合わせください。（**送料および手数料はお客様負担**）

住所　　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「USB-H64L」サービス窓口　宛
電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

■ご注意

・インターネットによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
・ダウンロードの際は、本製品のハードウェアシリアル No.を入力する必要があります。ダウンロードをする前に、お持ちの本製品のハードウェアシリアル No.をご確認ください。
※ハードウェアシリアル No.は、同梱の「ハードウェアシリアル No.シール」（またはシールを貼った「ハードウェア保証書」または「ユーザー登録カード」）にて確認することができます。
（本製品のケーブルのコネクタ側面にも記載されています。）



保証について

■保証期間

保証期間は、添付のハードウェア保証書をご確認ください。
保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有償修理となります。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。
弊社が販売終了を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

■保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

- ・本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。
- ・本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。
- ・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

修理について

弊社製品の修理につきましては、以下の事項をご確認の上、販売店へご依頼いただくか、または下記「修理品送付先」までお送りくださいます様、お願い致します。

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
- 修理品にはご使用の環境や現在の状態(『PLANT コールセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」)をお書き添えください。
- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合
- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化(一体化)されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。

■修理品送付先

住所　〒920-8513
石川県金沢市桜田町2丁目84番地　アイ･オー･データ第2ビル
株式会社アイ･オー･データ機器
「USB-H64L」修理係　宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱･梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、***宅配便***または***書留郵便小包***でのご送付をお願いいたします。

■修理品納期問い合わせについて

受付窓口 「USB-H64L」サービス窓口
電話番号 本社　076-260-3663
受付時間 9:30～12:00　13:00～17:00　月～金曜日(祝祭日を除く)

※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、上記までお問い合わせください。

USB-H64L 取扱説明書
2001.Nov.13　98710-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町３丁目１０番地

© 2001 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。